

第三章 まとめ

本調査地点一帯は、源頼朝が大倉の地に造営した御所の西門に当たることから「西御門」の地名が残る地域である。大倉幕府は、「西御門」のほか「東御門」「南御門」の地名からおおよその範囲が推定されており、北限を頼朝の墓が建つ丘陵下の東西道、南限を筋替橋から六浦へ向かう道（現県道金沢鎌倉線）、東限を二階堂大路への分岐点から東御門川に沿い、西限は筋替橋から小町大路の延長線上に北上する西御門川沿いが、その範囲であったと考えられている。

筋替橋より北に延びる西限の道は、明治期の神奈川師範学校（現横浜国立大学附属小学校）設立に伴って失れているが、本調査地点はこの道と大倉幕府北限の道が交錯する幕府北西角となる場所に隣接する。調査地南に接する道路を西に向かったところには、赤橋北条氏から足利氏へと嫁いだ清江禅尼の菩提寺である禅宗の保寿院（廃寺）があり、大臣山を背に抱えている。また調査地西側の道路を北に向かえば時宗来迎寺へと行きつく。この付近にはもと禅宗の太平寺や真言系の大門寺があったという。大門寺という寺名は付近に大きな門が存在したことを示唆するとの指摘がある。本調査地点は保寿院跡、来迎寺へと続く道路の辻となる場所に近く、重要な地点であることが窺える。

また西御門の辺りは大倉の御所に近いいためか、三浦義村ほか天野景村や後藤基綱など有力御家人の屋敷が存在したといわれている。特に後藤氏からは大門寺に住する僧侶が出ており、当地域との関係が深い。以下、発見した遺構・遺物について簡単なまとめを行う。

検出した遺構と遺物

本調査では第1面から第7面までを検出したが、建築予定建物の構造上、家屋面積全体を調査したのは第4面までであり、第5面以降は範囲を縮小した北側1/3ほどの面積において調査を行なった。また第6面以降は調査の安全を考慮し、トレンチでの調査を実施した。なお掘削深度との兼ね合いにより第7面で調査を終了したため、中世地山を確認するには至っていないことを明記しておく。

第1面で検出した遺構は少なくとも2時期の遺構が切り合っており、多くのピットを発見したにもかかわらず、建築址を想定することはできなかった。生活面を構成する地業は破碎泥岩を敷き詰めた版築がなされており、各種遺構を切る形で溝1と池状遺構が掘削されている。池状遺構は用途不明の遺構であり池である確証はないが、溝とするには大型であるため付した名称である。東西に流れる流路なのかもしれないが、東西での高低差は確認できなかった。池状遺構は遺物から見れば15世紀後半～16世紀ごろまで存続したと考えられ、本調査地点中最も新しい遺構である。なお溝1も同様の時期に掘削されたものとみられる。溝1を挟んだ東西の地業には版築の構成土に明らかな違いがあり、第3面の溝2が同じような位置にあることから見ても、前時代の区画が踏襲されていた可能性が考えられる。また溝1と溝状土坑1・2・3で囲まれた範囲がみられるが、区画されたものとみるか判断は難しい。この面の出土遺物は特に池状遺構から多く出土し、舶載や瀬戸製品、特に袋物の多さが目立つ。1面の年代は出土遺物から概ね15世紀代の年代を与えている。溝1と池状遺構の出土遺物には大窯製品や16世紀に至る常滑製品までが散見されることから、1面存続期間以降に掘削された可能性も否定できない。のちに調査区全面が削られたため、同じ面での検出となったと考えられる。

第2面は2時期が切り合っている。調査区全面の地業には破碎泥岩を敷き詰めた版築がなされる。上の面から掘削された溝1を挟んだ東西の区画で検出されるピット数などに明らかな差異が見られ、第2面の時代に第1面溝1と同様の溝が存在したことを窺わせる。溝1西側はピットが少なく凝灰岩片が多く散乱することから、これらを使用した建築物が存在したのかもしれないが、検出遺構から位置を想定することはできない。第2面の年代は出土遺物から概ね14世紀代の年代を与えている。

また第2面で特筆すべき出土遺物は土製人形(図24-84)であろう。神奈川県立歴史博物館館長の薄井和男氏より巫女で間違いはないだろうとのご意見をいただいた。後ろ髪が表現されないのは襟の中に入れて背中には垂らさないため、手に持つものについては不明とのこと。なにか儀式用の品であろうか。造作は確実に職人の手によるもので、使用用途も玩具ではなく神事に用いたのではないかという。顔は墨で書いておらず、ヘラで切った様子もない。制作年代も室町期になるともっとぼてっとした印象になるようで、鎌倉時代後半で良いのではないかと判断されている。

第3面は3時期が切り合っている。調査区全面の地業には破碎泥岩を敷き詰めた版築がなされる。調査区を南北に走る溝2によって区画された東西で遺構の数に違いが見られる。この溝2が第1面溝1まで踏襲される区画溝と判断される。溝2で隔たれた西側はピット数が少ないのに対し、東側ピット数は多く東西区画での差が見られる。東区画の中央には広範囲に炭化物が広がり、隣接するようにかわらけが集中廃棄されていることは、地鎮や祭祀などの行事が行われた痕跡である可能性を想起させる。第2面では炭化物範囲と同様の位置に大型の土坑17が検出されているのもこれに関連しているのであろうか。同位置での建て替えと祭祀などが行われたようにも見える。なお、第3面で特筆すべき遺物に五銖銭がある。鎌倉での出土例は管見の限り初めてのことである。また口径17cmを超える特大のかわらけ皿も出土している。第3面の年代は出土遺物から概ね14世紀前半ごろの年代が与えられる。

第4面は2時期が切り合っている。地業は他の生活層に比べて弱く、上層で見られた溝と区画も、当生活面では見られない。また底部に礎板を敷いたピットが一定数検出されたものの、建物規模の想定には至らなかった。上層と比べて土地利用に大きな差があり、第1面池状遺構の南面あたりにピットが集中する。また、調査区中央西端に切石を並べた遺構が検出されている。第1面から第2面への掘り下げ時に、近い位置から礎石が計4基重なって検出されており、建物の造り替えが同じ位置で行われていたことを示すものと考えているが、この切石列も関係する可能性が高い。切石が東側に延びる様子は見られず、切石を用いた建物は西側に延びるものと考えられる。あるいは大倉幕府北西角となる辻に接する建物の一部となる可能性もあろう。第4面の年代は出土遺物から概ね14世紀初頭ごろの年代が与えられる。

第5面は建設予定建物の構造上、範囲を縮小した北側1/3ほどの面積で調査を行なっている。遺構は3時期が切り合う。地業は破碎泥岩を用いた強固な版築がなされており、多くのピットと溝、井戸などを検出したが、建物の想定には至っていない。調査区北壁に沿って水抜きのための溝を掘った際に東西2間分となる伊豆石を3基検出した。北面に延びる建物と想定できる。井戸1もこれに付属するものであろうか。また調査区南壁に沿って礎板を有するピットを3基検出し、南面に延びる建物と想定している。この2つの建物は調査区中央のやや南寄りを東西に走る溝3によって隔たれており、あるいはここに区画があるとも考えられる。2つの建物は構造こそ違うものの同じ方向軸で建てられている。この方

向軸は溝3にも共通するが、調査区の南に接する現代の東西道の軸線とは一致せず、この時代に南面していた東西道の軸線を導き出す手がかりにもなると考えられる。また、この面より出土遺物に手づくねかわらけが含まれるようになる。第5面の年代は出土遺物から概ね13世紀後半ごろの年代が与えられる。なお井戸1は掘削深度の制限により完掘していない。

第6面以下は調査の安全を考慮しトレンチのみの調査となった。地業は破碎泥岩を用いた地盤で、遺構の切合いは見られない。狭い範囲であるため検出された遺構は少なく、生活面の様相は不明瞭である。ピットには柱や礎板が残存する。

第7面は最終調査面である。掘削深度超過のため調査を終えたが、中世地山の検出には至らなかった。トレンチ調査のため検出した遺構は少ないが、地業は破碎泥岩を用いた地盤にピットや建材を確認している。東西に延びる溝4は小規模ながら土地の区画を考える上で重要な遺構になるだろう。第7面の年代は第6面と合わせて出土遺物から概ね13世紀前半～中ごろの年代が与えられる。

遺構の変遷

面積の限られた調査であるため、限られた空間内での様相しか提示することができないが、第7面までの生活層から、およそ13世紀前半～15世紀代、場合によっては16世紀に至るまでの土地利用を確認することができた。地業は破碎泥岩を用いた強固な造成が繰り返され、14世紀前半代より調査区の東西で区画された様相も窺える。この区画は15世紀まで踏襲されたと見るべきであろう。なお、生活層は調査した面からさらに下層にも広がっているとみられ、鎌倉時代初期から土地が利用されていたものと推定される。

13世紀前半から後半まで掘立柱建物が造り替えられていたようであるが、13世紀後半には礎石建物も建造される。井戸も付属し居住空間であったことが推測される。また、少なくとも14世紀初頭までには建造されていた切石を伴う建物は、調査区より西側に立っていたと見られ、筋替橋から北に延びる大倉幕府西限の道と、頼朝法華堂の下を東西に走る北限の道が交錯する辻に位置した建物の一部である可能性もある。建物の性格は不明だが、盤石な基礎を有する高級な建築物が存在したことを窺わせる。この建物のすぐ東隣には掘立柱建物が存在したと見られ、調査区の南に接する道路から少し奥まった位置に建物が並ぶ様相が垣間見える。14世紀前半には調査区の東西が区画され、活用状況に差が見られる。奥まった場所から南に接する道路までの空閑地に柱穴が多く並ぶようになり、土地利用にも前代から大きく変わるように見受けられる。この区画は15世紀代まで踏襲され、1面の溝1へとつながる。また時期を同じくして調査区北側に池状遺構が掘られる。この遺構の用途は不明であるが、15世紀代に舶載の壺・水注や瀬戸製品の袋物が少なからず出土する様相は、鎌倉幕府滅亡以降に有力者による土地利用があったことを窺わせる。大倉は御所が移転する嘉禄元年(1225)までは幕府中心地であったが、移転後は活用されない土地となったかといえ、そうではない。三浦一族は宝治元年(1247)に滅亡しているがそれまでは代々の土地に住み続け、後藤一族のように西御門の寺院に僧侶を輩出する家もある。また足利尊氏は鎌倉幕府滅亡後に大倉に居を構えたともいい、多く移転を行った鎌倉公方の御所は応永十四年(1407)には「大蔵」、享徳三年(1454)には「西御門」に造営されていたことが知られる。本調査で確認された15世紀の出土遺物の多彩さは、これらが反映されている可能性も考えられよう。

なお、検出した遺構からは炭化物や炭が多く混入する覆土や、火災痕の残る建築部材が確認されている。史料上では弘安三年(1280)、応永四年(1296)、延慶三年(1310)、正和四年(1315)などの火災記

事が見られ、あるいはこれらの火災による影響も考慮せねばなるまい。

最後に、本調査地点の特徴として舶載陶磁の出土量が多いことはすでに指摘したが、特に褐釉が多い点が気にかかる。褐釉は輸送容器としての性格が指摘されているが、あるいはこれが本調査地点の性格を探る手掛かりとなるか。ほか、かわらけの中皿や墨書かわらけが他の遺跡に比べて多いことも指摘しておく。

(古田土 俊一)

参考文献

- 小野正敏 2003「威信財としての貿易陶磁と場—戦国期東国を例に—」『戦国時代の考古学』高志書院
高柳光寿ほか1959『鎌倉市史 総説編』吉川弘文館
高橋慎一郎2005『武家の古都、鎌倉』山川出版社
高橋慎一郎 1999『中世の都市と武士』吉川弘文館
長塚 孝 2009「鎌倉御所に関する基礎的考察」『禅と地域社会』吉川弘文館
貫達人ほか1959『鎌倉市史 社寺編』吉川弘文館
貫達人・川副武胤1980『鎌倉廃寺辞典』有隣堂
山村亜紀1997「中世鎌倉の都市空間構造」『史林』80(2) 史学研究会

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
6	1	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.8)	(5.8)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
6	2	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.9)	(5.6)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外面、底部煤付着
6	3	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.1	5.1	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	4	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	5	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.4)	(4.9)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	6	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.8	5.8	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	7	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	8.0	6.2	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	8	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.7	5.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	9	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.5	5.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い f.口唇部油煤痕
6	10	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.0)	(4.9)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.歪み強い
6	11	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.7)	(5.6)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い
6	12	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.9)	(6.2)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
6	13	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.2	5.3	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
6	14	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.6	4.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味良土 c.黄橙色 e.良好
6	15	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.2)	(5.5)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外面煤付着
6	16	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.1	4.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味良土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	17	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.3)	(4.8)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.甘い f.内面薄く墨書痕か
6	18	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	8.0	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	19	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(6.9)	(4.2)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	20	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.6	4.8	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
6	21	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(6.2)	(4.3)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
6	22	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(5.8)	(3.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
6	23	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(8.7)	(6.2)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	24	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(9.4)	(6.8)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕不明瞭 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 小石粒・粗い胎土 c.黄橙色 e.不良 f.口唇部油煤痕 二次焼成受け器壁剥離
6	25	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(9.0)	4.8	2.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.甘い f.口唇部油煤痕
6	26	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	10.2	6.0	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質良土 c.黄橙色 e.良好 f.薄手の器壁
6	27	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	10.4	6.4	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
6	28	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	10.5	6.5	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	29	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	13.8	8.2	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 内面煤付着で灰色 e.やや甘い f.外面口唇部～内面全体煤付着
6	30	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	14.0	8.7	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕不明瞭 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い
6	31	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	12.7	8.9	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	32	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.7)	(8.3)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
6	33	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.1)	(7.1)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	34	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.0)	(7.5)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	35	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.5)	(8.3)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	36	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(11.8)	(6.7)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	37	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(11.4)	(6.6)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好 f.口唇部煤付着
6	38	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(11.7)	(5.0)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.内底煤付着
6	39	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.8)	(6.8)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.白かわらけ
6	40	第1面・池状遺構(1)	瓦器碗	(11.2)	—	—	a.ロクロ b.白色粒 良土 c.灰白色 e.良好
6	41	第1面・池状遺構(1)	青磁 鎗蓮弁文碗	—	—	口縁部片	a.ロクロ 底部糸切り痕 b.灰色 黒色微砂 精良土 d.明灰緑色透明 やや厚手施釉 貫入あり e.堅緻 f.竜泉窯
6	42	第1面・池状遺構(1)	青磁 鎗蓮弁文碗	—	—	口縁部片	a.ロクロ b.灰白色 黒色微砂わずか 精良土 d.青緑色半透明 やや厚手施釉 e.堅緻 f.外面蓮弁文を片切彫 竜泉窯

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
6	43	第1面・池状遺構(1)	青磁 鎗蓮弁文碗		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 黒色微砂 精良土 d.緑褐色半透明 やや厚手施釉 e.堅緻 f.外面蓮弁文を片切彫 竜泉窯
6	44	第1面・池状遺構(1)	青磁 碗	—	4.6	—	a.ロクロ b.黄灰色 黒色粒 精良土 c.緑灰色不透明 内面～外面高台脚までやや厚めに施釉 気泡多め e.堅緻 f.高台削り出し 高台皿付き～高台内底部にかけて露胎
6	45	第1面・池状遺構(1)	白磁 口元皿	(9.9)	—	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.灰白色半透明 薄手施釉 気泡あり 口唇部露胎
6	46	第1面・池状遺構(1)	白磁 口元皿	(10.8)	(6.0)	2.8	a.ロクロ b.白色 黒色粒少量含む 精良堅緻 d.青味灰白色透明 薄手施釉 口唇部露胎 e.堅緻
6	47	第1面・池状遺構(1)	白磁 口元皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.灰白色不透明 内面やや厚手施釉 口唇部露胎 e.堅緻 f.口唇部煤付着
6	48	第1面・池状遺構(1)	白磁 皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.緑白色透明 口唇部露胎 e.堅緻 f.内面上部に2条の沈線・下部に印花文
6	49	第1面・池状遺構(1)	白磁 皿		口縁部片		a.ロクロ b.白色 夾雑物なし 精良土 d.青灰白色透明 口唇部露胎 e.堅緻 f.内面印花文
6	50	第1面・池状遺構(1)	白磁 皿	—	(2.1)	—	b.白色 精良堅緻 d.灰味白色半透明 内面～外面胴真中まで施釉 外底部露胎 e.堅緻 f.見込み内部に草花紋(牡丹紋)型押し
6	51	第1面・池状遺構(1)	白磁 小壺		口縁部片		a.ロクロ 側面型押し b.白色 精良土 d.灰青色半透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 口唇部～内面中央露胎 e.堅緻 f.外面花文の型押し
6	52	第1面・池状遺構(1)	白磁 小壺	—	(2.8)	—	a.ロクロ 側面型押し b.白色 精良土 d.白色透明釉 薄手施釉 外底付近露胎
6	53	第1面・池状遺構(1)	白磁 小壺		胴部片		a.ロクロ 中央部貼付 側面型押し b.白色 精良土 d.灰青色半透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 口唇部～内面中央露胎 e.堅緻 f.宝相華文の型押し
6	54	第1面・池状遺構(1)	青白磁 梅瓶		胴部片		a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.灰青色透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 内外貫入あり e.堅緻 f.二次焼成の為器壁剥離
6	55	第1面・池状遺構(1)	青白磁 壺		胴部片		b.灰白色 黒色粒 精良 d.釉剥離 e.堅緻
6	56	第1面・池状遺構(1)	青白磁 器種不明		胴部片		a.ロクロ 文様型押し b.灰白色 黒色粒 精良土 d.水青色半透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 e.堅緻 f.合子の蓋か 宝相華文の型押し
6	57	第1面・池状遺構(1)	青白磁 梅瓶	(4.8)	2.8	—	a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.灰青色半透明 薄く施釉 外面やや薄手 内面薄手施釉 f.天井部回転を利用した一条沈線施文蓋
6	58	第1面・池状遺構(1)	青白磁 水注		注口片		b.灰色 黒色粒 精良土 d.灰青色不透明 注口内部まで施釉 二次焼成受ける e.堅緻 注口径0.9・孔幅0.35
6	59	第1面・池状遺構(1)	青白磁 香炉		口縁部片		a.玉縁貼付け b.灰白色 黒色粒 精良 d.灰青色不透明の釉をやや厚手施釉 e.堅緻 f.外面口縁下部に珠文貼り付け
6	60	第1面・池状遺構(1)	天目茶碗	(11.8)	3.9	5.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 高台部露胎・ヘラ削り b.灰色 砂粒多い 良土 d.暗褐色～茶褐色やや厚手施釉 e.硬質
6	61	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺				a.ロクロ 内面露胎 b.灰色 精良土 d.暗褐色～茶褐色薄手施釉 e.硬質
6	62	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺	(10.9)	—	—	b.灰色 白色粒 黒色粒 精良土 d.暗茶褐色 内外共に施釉 内面流下の濃液あり e.堅緻 f.長胴壺か?
6	63	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺		胴部片		a.ロクロ b.黄灰～灰色 白色粒 黒色粒 焼きムラあり 粗雑 d.暗茶褐色 内面釉垂れ e.内面にかけてやや軟質 外面堅緻 f.筒型の形になるタイプか
6	64	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺	(14.0)	—	—	a.ロクロ 耳の付く大型のもの b.灰色 白色粒やや多め やや粗雑 d.茶褐色 外面～内面頸部まで施釉 e.堅緻
7	65	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	(6.0)	(3.5)	1.8	a.ロクロ b.黄灰色 微砂 良土 c.黄灰色 e.良好 f.内面底部黒色物質付着 鉄漿か
7	66	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	(5.1)	(3.5)	1.6	a.ロクロ b.黄灰白色 砂粒 e.軟質
7	67	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	—	(4.8)	—	a.ロクロ b.灰褐色 白色粒 良土 e.堅緻 f.内面磨滅し赤色に変色 紅が付着か
7	68	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子		(3.4)		a.ロクロ b.灰色 精良土 e.良好 硬質 f.3点の雑な粘土貼り付けによる脚
7	69	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	—	2.9	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 3か所に粘土貼付け高台 b.黄灰色 微砂 良土 c.黄灰色 e.良好
7	70	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 緑釉小皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 良土 d.口縁部緑灰色釉つけ掛け e.堅緻
7	71	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 緑釉小皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 良土 d.黄灰緑色半透明 口縁部緑灰色釉つけ掛け e.堅緻
7	72	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 皿	—	5.2	—	a.ロクロ 外底部糸切り痕 b.灰色 黒色粒 精良土 d.黄灰緑色半透明釉 内面付着 e.良好 f.内面摩耗
7	73	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 皿	—	5.4	—	a.ロクロ 外底部糸切り痕 b.灰色 黒色粒 精良土 d.緑灰色透明釉つけ掛け 釉垂れて底に付着 e.良好 f.内面摩耗
7	74	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 碗		口縁部片		a.ロクロ b.灰色 精良土 d.内外面緑黄灰色透明釉つけ掛け e.堅緻
7	75	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 碗	—	2.8	—	a.ロクロ 削り出し高台 b.黄灰色 精良土 d.内面灰緑色釉刷毛塗り 貫入あり e.やや軟質 f.重ね焼きの粘土目積みが内底に張り付いている 古瀬戸Ⅲ期か
7	76	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 碗	—	5.0	—	a.ロクロ 貼付け高台 b.黄灰白色 黒色粒 良土 d.黄灰緑色透明釉つけ掛け 貫入あり e.堅緻 f.重ね焼きの粘土目積みが内底に張り付いている
7	77	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 折縁皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 白色粒 良土 d.淡灰緑色釉刷毛塗り e.良好 f.古瀬戸Ⅲ期
7	78	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 折縁皿		底部片		a.ロクロ b.灰色 黒色粒 夾雑物少ない 良土 d.灰緑色釉 内部一部暗灰緑色 外面釉垂れ e.良好 f.重ね焼き時の粘土目積みが内底に張り付いている
7	79	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 折縁皿	—	(9.6)	—	a.ロクロ 底部露胎 底部糸切り痕 b.黄味灰色 白色粒 黒色粒 夾雑物少ない 良土 d.淡灰緑色釉 内底外面薄く刷毛塗り e.軟質
7	80	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 砂粒やや多め 良土 c.黄灰色 d.口縁部～胴部中程まで緑灰色不透明の灰釉つけ掛け e.良好
7	81	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿	—	(8.2)	—	a.ロクロ 外底部糸切り痕 b.黄灰色 砂粒 精良土 d.灰白色の釉卸目まで刷毛塗り 外底にも付着 e.やや軟質 f.削目浅め
7	82	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		底部片		a.ロクロ b.黄灰白色 良土 d.黄灰緑色の灰釉をつけ掛けか、剥離して不鮮明
7	83	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰褐色 白色粒 黒色粒 d.二次焼成受けただれている e.良好 f.後期Ⅳ
7	84	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		底部片		a.ロクロ b.黄灰色 黒色粒 良土 d.黄灰緑色透明 内面～外面胴部までつけ掛け 外底釉垂れ e.やや軟質 f.外底重ね焼きの粘土目積みあり 内面釉共に剥離

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
7	85	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 底銅目皿	—	(11.2)	—	a.ロクロ 貼付け高台 b.灰色 砂粒 精良土 d.淡緑灰色不透明釉内面までつけ掛け 外面高台脇まで刷毛塗り 外底にも付着 e.やや軟質
7	86	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		a.ロクロ b.灰色 精良土 d.外面に緑黄灰色透明釉 e.堅緻 f.花瓶Ⅰb類のⅣ期か
7	87	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 水注		胴部片		a.ロクロ b.黄味灰白色 白色粒 良土 d.灰緑色釉つけ掛け e.良好 f.巴文の押印
7	88	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		a.輪積み ロクロ b.灰色 夾雑物少ない 精良土 d.暗茶褐色釉 頸部の内面釉垂れ 外面二次焼成受けただれている e.良好 f.胴部の菊花唐草文は印花文 頸部は沈線で区画し花弁文
7	89	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		b.黄灰色 精良土 d.緑褐色鉄釉薄手施釉 e.堅緻 f.巴文
7	90	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		a.ロクロ b.黄味灰白色 白色粒 黒色粒 良土 d.灰緑色釉つけ掛け e.やや軟質 f.瓶子唐草文
7	91	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色～芯部にかけて灰色 c.褐色 降灰部灰白色 e.良好 f.9型式
7	92	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 白色粒やや多め 黒色粒 長石 石英 c.暗褐色 降灰部緑灰色だが、外面二次焼成の為に白く爆ぜている e.良好 f.6b型式
7	93	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 長石 石英 c.暗灰色～黄褐色 降灰部暗灰色～灰白色 e.良好 f.8型式
7	94	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 小石多く含む 砂粒 粗土 c.褐色 e.良好 f.10型式
7	95	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 小石粒多く含む c.茶褐色 e.良好 f.10型式
7	96	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英多く含む c.内面暗灰褐色 外面茶褐色 e.良好 f.9型式
7	97	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 白色粒 黒色粒 良土 c.褐色 降灰部灰白色 e.良好 f.11型式
7	98	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 長石 石英 良土 c.灰色 e.良好 f.口唇部自然降灰
7	99	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 c.内面茶褐色 外面橙色 降灰部灰白色 e.良好
7	100	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 良土 c.暗赤褐色 e.良好 f.13c後葉
7	101	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 砂粒 c.暗褐色 e.良好 f.内面一部磨滅
7	102	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.暗灰褐色 長石 石英 c.暗灰色 降灰部黄灰色 e.良好 f.8型式
7	103	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.暗灰褐色 e.良好 f.内面口縁下摩耗 8型式か
7	104	第1面・池状遺構(2)	備前 播鉢		底部片		a.ロクロ b.黄灰色 白色粒 小石粒 c.外面:暗灰色摩耗 内面:灰白色磨滅 e.軟質 f.6条の櫛目
7	105	第1面・池状遺構(2)	東播系 鉢		口縁部片		c.灰色 口縁部暗灰色 b.灰色 粗砂 小石粒
7	106	第1面・池状遺構(2)	東播系 鉢		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 良土 c.灰色 e.良好
7	107	第1面・池状遺構(2)	瓦器質 火鉢	(36.4)	—	—	a.輪積み技法 b.灰褐色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 小石粒 やや粗土 c.暗灰褐色(黒色処理) e.やや軟質
8	108	第1面・池状遺構(3)	瓦器質 火鉢		胴部片		a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 粗土 c.灰黒色(黒色処理) e.軟質 f.沈線で区画した中に珠文貼り付け
8	109	第1面・池状遺構(3)	瓦器質 火鉢		底部片		a.輪積み技法 外底面砂おこし痕 b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 c.灰黒色(黒色処理) e.やや軟質
8	110	第1面・池状遺構(3)	瓦器質 火鉢		底部片		a.輪積み技法 内面丁寧な回転ナデ b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 c.灰黒色(黒色処理) e.やや軟質 f.15c
8	111	第1面・池状遺構(3)	土風炉		口縁部片		a.輪積み技法 内面口縁の下より横方向の削り b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 c.灰黒色(黒色処理剥離気味) e.やや軟質 f.胴部下部に二本の凸線貼り付け 15c
8	112	第1面・池状遺構(3)	吉備系 土器碗	(9.6)	(2.3)	3.4	a.ロクロ 高台部貼り付け b.微砂 海綿骨針 やや粗土 c.淡黄灰色 e.良好 f.内面煤付着
8	113	第1面・池状遺構(3)	吉備系 土器碗	(10.5)	(4.4)	3.6	a.貼付け高台 b.微砂 白色粒 黒色粒 良土 c.淡黄灰色～灰白色 e.良好
8	114	第1面・池状遺構(3)	吉備系 土器碗	—	4.9	—	a.貼付け高台 b.微砂 白色粒 黒色粒 良土 c.内面二次焼成受け暗灰色 外面灰白色 e.良好 f.内面器壁剥離
8	115	第1面・池状遺構(3)	瓦器碗	(9.9)	—	—	b.微砂 海綿骨針 白色粒 やや粗土 c.内面灰色 外面口唇部にかけて暗灰色 e.良好
8	116	第1面・池状遺構(3)	瓦器碗		口縁部片		a.ロクロ b.黒色粒 c.黄灰白色 e.やや甘い 軟質
8	117	第1面・池状遺構(3)	不明陶器	—	(6.9)	—	a.輪積み技法 底部糸切り痕 b.微砂 白色粒 良土 c.黄褐色 e.良好 f.内底外面胴部煤付着・内底回転ナデ 底部糸切りの回転が緩い 須恵器か?
8	118	第1面・池状遺構(3)	軒平瓦	—	—	1.1～1.5	b.灰褐色 白色粒 小石粒 粗土 c. e. f.凸面:布目痕 凹面:格子目状叩き 離れ砂 永福寺Ⅲ期以降
8	119	第1面・池状遺構(3)	平瓦	—	—	2.1～2.3	b.灰色 白色粒 砂粒 良土 c.灰色 e.軟質 f.凸面:糸切痕 離れ砂付着 凹面:縦位糸切痕 布目痕 離れ砂付着 f.永福寺Ⅰ期か
8	120	第1面・池状遺構(3)	常滑 転用品	9.4	5.7	0.8～1.8	a.甕の胴部片周囲が摩耗 b.灰色 白色粒多め c.茶褐色 e.良好
8	121	第1面・池状遺構(3)	常滑 転用品	7.5	6.5	0.7～0.9	a.片口鉢Ⅰ類胴部の周囲が摩耗 b.灰色 白色粒 c.灰色 e.良好 f.断面だけでなく平面も摩耗
8	122	第1面・池状遺構(3)	常滑 転用品	4.5	4.7	1.4	a.外面以外内面側面全て磨滅
8	123	第1面・池状遺構(3)	石製品 砥石	(4.9)	4.5	(4.1)	c.灰白色 f.砥面2面 1面削痕強く残る 伊予産 中砥
8	124	第1面・池状遺構(3)	石製品 砥石	(10.2)	3.3	1.3～1.7	c.黄味灰色 やや軟質 f.砥面2面 側面3面削り出し 痕残り 鳴滝 中山産 仕上砥
8	125	第1面・池状遺構(3)	石製品 砥石	(2.1)	(3.6)	(0.8)	c.黄味灰色 やや軟質 f.鳴滝 中山産 仕上砥
8	126	第1面・池状遺構(3)	石製品 基石	1.6	1.9	0.3	b.黒色安山岩質 c.黒色

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
8	127	第1面・池状遺構(3)	銅銭	外径25.32mm 内径21.3mm 孔幅6.72mm 厚さ1.49mm			f.開元通寶 唐 初鑄845年
8	128	第1面・池状遺構(3)	銅銭	外径23.53mm 内径19.95mm 孔幅6.56mm 厚さ1.29mm			f.祥符元寶 北宋 初鑄1008年 真書
8	129	第1面・池状遺構(3)	銅銭	外径23.85mm 内径6.99mm 孔幅7.00mm 厚さ1.19mm			f.嘉定通寶 南宋 初鑄1208年 背十二
9	130	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	22.4	0.7	0.5	f.端部丁寧な整形
9	131	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	21.4	0.5	0.3	
9	132	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	(19.4)	0.6	0.3	
9	133	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	(13.7)	0.7	0.4	
9	134	第1面・池状遺構(4)	木製品 折敷	(15.7)	(3.1)	0.2	f.刃物痕 孔2箇所 折敷によくある材だが孔の間隔が近い
9	135	第1面・池状遺構(4)	木製品 折敷	(11.5)	(2.8)	0.2	
9	136	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	15.8	12.4	0.5	f.0.4cmの孔が3箇所あり 中心に1.0×0.7cmの穴あり 蓋か 円盤状
9	137	第1面・池状遺構(4)	木製品 曲物	径 (21.0)	—	0.4	f.紐痕 底板 焼痕
9	138	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	径 (16.0)	—	0.5	f.側面4面とも加工されている 円盤状
9	139	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	7.0	1.3	0.9	
9	140	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	6.0	0.8	0.8	f.端部に丘痕あり
9	141	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	8.3	1.2	1.1	
9	142	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	(13.6)	1.4	1.2	
9	143	第1面・池状遺構(4)	木製品 草履芯	(7.7)	4.2	0.2	f.孔(φ0.4cm)あり
9	144	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(9.5)	0.6	0.4	f.籌木か
9	145	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(11.0)	0.6	0.4	f.籌木か
9	146	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(11.4)	0.7	0.7	f.籌木か
9	147	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	11.3	0.7	0.8	f.籌木か
9	148	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(12.5)	(0.8)	(0.5)	f.籌木か
9	149	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(12.9)	0.9	0.4	f.籌木か
9	150	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	16.1	0.6	0.5	f.端部が焼けている 火付棒か?
9	151	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	(16.6)	1.2	0.7	
9	152	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	(26.5)	1.0	0.8	
9	153	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	8.5	4.6	0.8	f.貫通孔(釘穴)あり 板状
9	154	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(10.0)	2.6	0.4	f.刃物痕 孔2箇所 折敷によくある材だが孔の間隔が近い 部材
9	155	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	24.0	2.4	2.1	f.両端部加工痕
9	156	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	7.1	2.8	1.8	f.端面切断痕 端材
9	157	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(12.5)	1.8	0.5	f.削り痕 部材
9	158	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(12.1)	1.5	0.7	f.斜めに貫通する小孔(φ0.1cm)あり 部材
9	159	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(14.8)	5.5	1.3	f.端部が焼けている 部材
9	160	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	17.7	2.8	0.5	
9	161	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	15.2	3.4	1.0	
9	162	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	16.4	3.9	2.2	f.貫通してない孔あり 部材
10	163	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(13.5)	1.6	(0.7)	f.削り痕 部材
10	164	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	6.2	3.0	2.0	f.端面切断痕 端材
10	165	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(52.3)	2.0	1.0~0.5	f.釘穴が斜めに貫通している 部材
10	166	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	8.0	5.1	1.9	f.釘穴痕 端材
10	167	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	9.3	5.1	3.2	f.切断痕あり 端材
10	168	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	5.0	5.3	1.4	f.切断痕あり 端材

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
10	169	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	11.7	2.7	1.6	f.端面切断痕 端材
10	170	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	38.4	3.7	1.9	f.杭
10	171	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(17.6)	2.0	0.8	f.部材
10	172	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(16.2)	1.1	0.7	f.串状
10	173	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(5.2)	(5.4)	(3.6)	f.側面・端部焼痕
10	174	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(16.8)	(4.0)	1.2	f.削り痕あり 部材
10	175	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	11.0	2.5	0.6	f.切断痕あり 端材
10	176	第1面・池状遺構(5)	木製品 形代	12.9	1.3	1.0	f.陽物
10	177	第1面・池状遺構(5)	木製品 呪符	8.3	2.1	0.5	f.側面に切りこみを入れ頭部は圭頭 下部にも切り込みが入る
11	1	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	2	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.6)	(5.9)	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面黒色に変色
11	3	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.6	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.淡黄色 e.良好
11	4	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.7)	(4.0)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	5	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内底面煤付着
11	6	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	7	第1面・溝1(1)	かわらけ	(8.1)	(5.1)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味良 土 c.黄灰色 e.やや甘い
11	8	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.7	5.3	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.淡黄色 e.良好 f.内面一部煤付着
11	9	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.6	5.3	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強く b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い f.口唇部油煤痕1ヶ所打ち掻き痕
11	10	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.1)	(4.4)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	11	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.3)	(5.3)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部煤付着
11	12	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.5	5.1	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外煤付着
11	13	第1面・溝1(1)	かわらけ	8.1	5.6	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	14	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.8	4.6	2.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	15	第1面・溝1(1)	かわらけ	(8.1)	(5.4)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.歪み強い
11	16	第1面・溝1(1)	かわらけ	8.2	4.7	2.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	17	第1面・溝1(1)	かわらけ	(9.0)	(5.3)	2.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	18	第1面・溝1(1)	かわらけ	(6.9)	(5.3)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	19	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.0	4.9	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.内外面片側に油煤痕二ヶ所打ち掻き痕
11	20	第1面・溝1(1)	かわらけ	(6.8)	(4.5)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	21	第1面・溝1(1)	かわらけ	6.4	4.7	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部3ヶ所油煤痕
11	22	第1面・溝1(1)	かわらけ	(6.3)	(4.5)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.胴部に正円形の穿孔
11	23	第1面・溝1(1)	かわらけ	5.9	3.9	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	24	第1面・溝1(1)	かわらけ	5.6	3.5	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	25	第1面・溝1(1)	かわらけ	5.5	4.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	26	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.1	7.1	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	27	第1面・溝1(1)	かわらけ	(9.9)	(6.1)	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	28	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.0	5.9	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 や や粗土 c.黄橙色 e.良好
11	29	第1面・溝1(1)	かわらけ	9.7	6.6	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.外面一部煤付着
11	30	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.0	6.1	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 や や粗土 c.橙色 e.良好
11	31	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.1	6.1	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
11	32	第1面・溝1(1)	かわらけ	(11.0)	(6.6)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	33	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.8	6.2	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗 土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
11	34	第1面・溝1(1)	かわらけ	(11.1)	(5.8)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
12	35	第1面・溝1(2)	かわらけ	(11.8)	(7.1)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部煤付着
12	36	第1面・溝1(2)	かわらけ	(11.6)	(7.3)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
12	37	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.8	8.4	4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
12	38	第1面・溝1(2)	かわらけ	(12.5)	(7.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好 f.内底面煤付着
12	39	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.3	7.8	3.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
12	40	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.2	7.1	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄褐色 e.良好
12	41	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.3	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粗土 c.黄褐色 e.良好
12	42	第1面・溝1(2)	青磁 鍋蓮弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰褐色 黒色粒 精良土 d.灰青緑色不透明 厚手施釉 二次焼成受け不鮮明 e.堅緻
12	43	第1面・溝1(2)	青磁 器種不明	体部～脚部片			a.脚部貼付け b.灰色 黒色粒 精良緻密土 d.青灰色不透明 内外厚手施釉 二次焼成受け e.堅緻 f.香炉か
12	44	第1面・溝1(2)	白磁 口瓦皿	(8.6)	(5.0)	2.6	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良緻密土 d.灰緑色半透明 薄手施釉 口唇部底部露胎ピンホール有り e.堅緻 f.口唇部煤付着
12	45	第1面・溝1(2)	白磁 皿	(9.6)	—	—	a.ロクロ b.淡黄褐色 黒色粒 良土 d.乳白色不透明 薄手施釉 ピンホール 貫入あり f.15世紀明代D類 森田勉編年
12	46	第1面・溝1(2)	瀬戸 碗	口縁部片			a.ロクロ b.黄灰色 微砂やや多い 良土 d.内面～外面中央まで黄灰緑色透明の灰釉つけ掛け e.堅緻 f.古瀬戸後期I期か
12	47	第1面・溝1(2)	瀬戸 緑釉小皿	口縁部片			a.ロクロ b.黄灰色 夾雑物なし 砂粒 良土 d.黄灰緑色つけ掛け e.やや軟質 f.大窯I前半か(藤澤)
12	48	第1面・溝1(2)	瀬戸 折縁皿	—	(5.5)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.灰色 微砂 精良土 d.内底灰緑色透明釉つけ掛け e.硬質 良好 f.中期IV期
12	49	第1面・溝1(2)	瀬戸 卸皿	口縁部片			b.黄灰色 黒色粒 良土 d.灰緑色釉刷毛塗りか e.良好
12	50	第1面・溝1(2)	瀬戸 卸皿	口縁部片			b.黄灰色 微砂 白色粒 良土 d.黄灰緑色透明釉刷毛塗りか e.やや軟質 f.古瀬戸中期II期か
12	51	第1面・溝1(2)	山茶碗	—	(4.5)	—	b.灰色 精良土 f.高台に粉殻痕残る
12	52	第1面・溝1(2)	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 砂粒 c.茶褐色 e.良好 f.肩部に○に十字の押印文と格子目?の押印が重なっている 故意か?
12	53	第1面・溝1(2)	常滑 片口鉢II類	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 c.赤褐色 降灰部:灰白色斑 e.良好
12	54	第1面・溝1(2)	常滑 片口鉢II類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰色 長石 石英 c.赤褐色 降灰部 黄灰色斑 e.良好 f.8形式
12	55	第1面・溝1(2)	備前 播鉢	底部片			a.輪積み技法 回転横ナデ 内面に8条以上の筋目、磨減あり 底部摩擦している b.灰色 白色粒 良土 c.内面:灰色 外面:灰褐色 e.良好
12	56	第1面・溝1(2)	亀山 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面:ナデ調整 外面:格子叩き b.灰褐色 微砂 黒色粒 良土 c.内外灰色 e.硬質
12	57	第1面・溝1(2)	瓦器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 白色粒 黒色粒 c.灰黒色(黒色処理) 剥離気味 e.やや軟質 f.輪花型になる 器形と思われる
12	58	第1面・溝1(2)	石製品 硯	(6.9)	(3.9)	2.2～2.5	b.陸部分のみ残る f.赤間
12	59	第1面・溝1(2)	石製品 砥石	5.6	3.1	—	a.砥面1面 側面切り出し痕 b.風化して軟質気味 c.橙白色 f.鳴滝産 仕上げ
12	60	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	(9.4)	0.5	0.3	f.鍛造 断面四角形
12	61	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	5.9	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
12	62	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	5.6	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
12	63	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	(6.6)	0.3	0.2	f.鍛造 断面四角形
12	64	第1面・溝1(2)	鉄製品 鍋	口縁部片			a.厚さ0.8～0.9 f.外面文様がありそうだが不鮮明
12	65	第1面・溝1(2)	銅銭	外径22.86mm 内径19.07mm 孔幅6.51mm 厚さ1.09mm			f.開元通寶 唐 初鑄621年
12	66	第1面・溝1(2)	銅銭 磨り銭	外径23.6mm 内径18.07mm 孔幅6.95mm 厚さ1.06mm			f.明道元寶 篆書 北宋 初鑄1032年 銭周圍を磨り加工している 千葉地遺跡でも同じ明道元寶が磨り加工されている
12	67	第1面・溝1(2)	銅銭	外径24.23mm 内径18.70mm 孔幅6.95mm 厚さ1.18mm			f.元祐通寶 行書 北宋 初鑄1086年
12	68	第1面・溝1(2)	銅銭	外径24.53mm 内径19.72mm 孔幅6.62mm 厚さ1.30mm			f.紹聖元寶 行書 北宋 初鑄1094年
13	1	第1面・土坑6	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.暗褐色 d.外面自然降灰 e.硬質 f.緑帯幅2.9
13	2	第1面・土坑6	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質 f.緑帯幅4.8
13	3	第1面・土坑6	常滑 甕	—	22.8	—	a.輪積み技法 内面:指頭痕 横ナデ 外面:へら調整 押印あり b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.茶褐色 e.硬質 f.接合できない同一の欠片あり
13	4	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質
13	5	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質
13	6	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			b.白色粒 黒色粒 砂粒
13	7	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
13	8	第1面・土坑6	亀山 甕	(21.0)	—	—	a.内面:ナデ 外面:縄目状の叩き b.白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
13	9	第1面・土坑6	瓦器質 火鉢	口縁部片			a.外面に亀甲文の押印 b.灰白色 赤色粒 白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
13	10	第1面・土坑6	瓦器質 火鉢	口縁部片			a.外面に輪花文の押印 b.灰白色 赤色粒 白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
13	11	第1面・土坑6	石製品 硯	6.2	—	—	a.部位不明 c.灰色 f.産地不明
14	1	第1面・土坑40	かわらけ	(7.6)	(5.2)	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
14	2	第1面・土坑40	常滑 甕	—	18.3	—	a.輪積み技法 焼きあげの前に形が変形したのか凹みあり 底部に籐のような痕 b.長石 石英 砂粒 c.明褐色 e.良好 f.
16	1	第1面・溝状土坑3	かわらけ	7.6	4.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外煤付着
16	2	第1面・溝状土坑3	常滑 甕	底部片			a.輪積み技法 底部砂目底 b.灰褐色 長石 石英 砂粒 c.外面:明褐色 内面:褐色 e.良好
16	3	第1面・溝状土坑3	石製品 硯	—	6.1	0.9~1.0	b.黒色粘板岩 f.鳴滝産
16	4	第1面・土坑12	かわらけ	7.5	5.1	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外面底部煤付着
16	5	第1面・土坑12	かわらけ	(11.3)	(6.6)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
16	6	第1面・土坑12	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.不明 d.不明 e.良好 f.二次焼成受け、器壁剥離 d.釉薬不明 6b型式
16	7	第1面・土坑15	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.不明 d.不明 e.良好 f.二次焼成受け、器壁剥離 d.釉薬不明 8型式
16	8	第1面・ビット8	かわらけ	7.0	4.0	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好
16	9	第1面・ビット8	天目茶碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 黒色粒少量 精良緻密 d.褐色~暗灰黒色 錆釉施釉 e.堅緻
16	10	第1面・ビット47	かわらけ	12.1	7.6	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
16	11	第1面・ビット49	骨製品 環状	外径(3.7) 内径(2.3) 幅0.7 厚さ0.4			a.表面に菱形の文様が毛彫されている 一部残っているが二次焼成を受けた為剥離している
16	12	第1面・ビット52	かわらけ	7.5	5.2	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部打ち掻き痕
16	13	第1面・ビット56	備前 掃鉢	(27.9)	(16.8)	13	a.輪積み技法 回転横ナデ 内面に6条の櫛目あり 底部籐の様なものに置いた痕跡 b.灰褐色 白色粒 礫 良土 c.暗灰色 e.良好
16	14	第1面・ビット61	かわらけ	8.3	5.7	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
16	15	第1面・ビット61	かわらけ	(7.5)	(4.5)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面一部黒色に変色
17	1	第1面・面上出土	かわらけ	(7.5)	(4.8)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
17	2	第1面・面上出土	かわらけ	7.7	4.7	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	3	第1面・面上出土	かわらけ	7.6	5.0	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好
17	4	第1面・面上出土	かわらけ	5.5	4.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好
17	5	第1面・面上出土	かわらけ	(6.9)	(3.6)	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
17	6	第1面・面上出土	かわらけ	(9.3)	(6.0)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	7	第1面・面上出土	かわらけ	11.7	6.7	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好 f.外面斑に煤付着
17	8	第1面・面上出土	かわらけ	(11.0)	(6.7)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	9	第1面・面上出土	かわらけ	(13.6)	(8.3)	4.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	10	第1面・面上出土	かわらけ	12.5	7.5	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	11	第1面・面上出土	青磁 折腰皿	高台部片			b.灰色 精良緻密 d.青緑色透明釉 厚く施釉 高台量み付き露胎 e.堅緻
17	12	第1面・面上出土	白磁 皿	口縁部片			a.型捺し作り b.黄味白色 精良土 d.灰白色半透明 薄手施釉 底部露胎 e.堅緻 f.内面印花文
17	13	第1面・面上出土	褐釉 壺	口縁部片			a.輪積み技法 b.赤褐色 微砂 白色粒 褐色粒 d.褐色釉 e.良好 堅緻
17	14	第1面・面上出土	瀬戸 器種不明	—	(4.2)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内面摩耗 b.黄灰色 白色粒 黒色粒 良土 d.無釉 e.やや軟 f.入子か
17	15	第1面・面上出土	瀬戸 折縁皿	底部片			a.ロクロ b.灰白色 微砂 良土 d.灰緑色透明灰釉底部まで刷毛塗り 貫入あり e.やや軟質 f.内底に重ね焼きの粘土痕
17	16	第1面・面上出土	瀬戸 壺	胴部片			a.ロクロ b.灰色 精良土 d.暗灰色の灰釉つけ掛けか e.堅緻 f.梅花の押印文 二次焼成を受け内面煤付着
17	17	第1面・面上出土	瀬戸 銅皿	底部片			b.灰褐色 砂粒 黒色粒 d.二次焼成を受けてやや不鮮明だが緑灰色の灰釉つけ掛けか e.やや軟質
17	18	第1面・面上出土	瀬戸 底卸目皿	—	(9.2)	—	b.灰色 精良土 d.内面灰緑色釉施釉 外面剥離 e.堅緻 f.古瀬戸中期Ⅱ期か 外面脚部まで放射状に切り込み入る
17	19	第1面・面上出土	瀬戸 碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 黒色粒 良土 d.灰緑色透明の灰釉つけ掛け 貫入あり e.堅緻 f.古瀬戸後期Ⅳ期か
17	20	第1面・面上出土	瀬戸 緑釉小皿	(11.5)	(6.4)	2.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.灰白色 黒色粒少量 精良土 d.外面口縁部~内面にかけて 緑黄色透明釉つけ掛け 内面釉垂れ 貫入あり e.堅緻
17	21	第1面・面上出土	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.明茶褐色 e.良好 f.8型式

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
17	22	第1面・面上出土	常滑片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.橙色～暗灰褐色 長石 石英 c.茶褐色 e.堅緻 f.8型式
17	23	第1面・面上出土	常滑片口鉢Ⅱ類		底部片		a.輪積み技法 外底砂目底 内面摩擦 b.黄灰色～灰色 長石 石英 良土 c.外面:茶褐色 内面:灰色 e.良好 f.外底に近い胴部へ削り調整
17	24	第1面・面上出土	瓦器質火鉢		底部片		a.輪積み技法 脚部貼付け 内面底部近くまで縦位の削り 内面磨減 b.灰褐色 白色粒多い e.良好
17	25	第1面・面上出土	瓦器質火鉢		口縁部片		a.輪積み技法 外面:縦位の削り 内面:指頭痕 縦位の削り b.黄灰色 白色粒多い c.外面:黒色(黒色処理) e.良好 f.輪花型
17	26	第1面・面上出土	平瓦加工品	—	—	1.7～1.8	b.灰色 白色粒 砂粒 良土 c.灰色 f.凸面:縄目の叩き 離れ砂付着 凹面:糸切痕 布目痕 縦方向のナデ調整 端面:狭いへ削り 側面:半面調整 釘などで叩いて割っているのか、叩き割をした後に磨っているのか、割れ目が整っている f.永福寺1期 平面を叩き割って二次加工しようとしたのか
17	27	第1面・面上出土	石製品 硯	(10.1)	—	1.4	b.円面硯か 器面剥離 c.灰黒色
17	28	第1面・面上出土	滑石鍋 転用品	6.1	2.2	1.0～1.2	a.側面削り出し 痕残る 加工途中
17	29	第1面・面上出土	鉄製品 釘	(4.8)	0.6	0.3	f.鍛造 断面四角形
17	30	第1面・面上出土	鉄製品 釘	(5.3)	0.2	0.3	f.鍛造 断面四角形
17	31	第1面・面上出土	鉄製品 釘	4.8	0.3	0.3	f.鍛造 断面四角形
17	32	第1面・面上出土	須恵器 甕 転用硯		胴部片		a.暗灰褐色 b.灰色 長石 石英 c.灰色 e.硬質 f.転用で硯に使用されているため摩耗している 外面叩きが不鮮明
18	1	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.6	5.5	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好
18	2	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	4.5	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	3	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	5.5	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	4	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.4	4.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.淡黄色 e.良好
18	5	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.9	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.やや甘い
18	6	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.1	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	7	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	6.7	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	8	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	4.6	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
18	9	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	10	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	8.1	6.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	11	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	5.5	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	12	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	8.2	5.3	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底弱い横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部厚く油煤痕
18	13	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(9.3)	(4.7)	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
18	14	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.7	5.7	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	15	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.3	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
18	16	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.7	4.7	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
18	17	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.2	4.4	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口縁部二ヶ所油煤痕
18	18	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.3	4.3	2.2	a.ロクロ 内外器表荒れる 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部部分的に油煤痕
18	19	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.9	4.9	2.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部・外側面・内面一部に油煤痕
18	20	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	8.3	5.3	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
18	21	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	6.9	4.6	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	22	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	6.5	4.0	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
18	23	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(10.8)	(6.6)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
18	24	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	11.1	7.4	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
18	25	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	10.6	5.3	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	26	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.4)	(6.6)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	27	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(13.0)	(8.4)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部・外側面油煤痕
18	28	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.3)	(7.4)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 小石粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内底部・外側面から外底部にかけて油煤痕
18	29	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	11.9	6.3	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	30	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	12.4	6.6	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
18	31	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(11.7)	(8.1)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面・外面底部黒色に変色
18	32	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.5)	(7.6)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
18	33	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	11.8	7.3	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
18	34	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.5)	(7.7)	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
18	35	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	12.9	8.3	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
18	36	第1面・構成土出土遺物(1)	白かわらけ	—	(7.4)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 強い板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.灰白色 e.良好
18	37	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 鎚連弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.青灰色 気泡貫入多く不透明 厚く施釉 外面一部剥げ落ちる
18	38	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 皿	—	5.2	—	b.灰色 精良堅緻 d.灰緑色 やや薄く施釉 内底面気泡多く不透明 外底部露胎 e.堅緻 f.内底二次焼成か釉剥離
18	39	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 折縁鉢	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 黒色粒少量 精良堅緻 d.青緑色不透明釉を厚く施釉 e.堅緻
18	40	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 折縁鉢	口縁部片			b.灰白色 精良堅緻 d.青灰色 やや厚く施釉 細かい気泡多く不透明 外底部露胎 e.堅緻
18	41	第1面・構成土出土遺物(1)	青白磁 合子	蓋 胴部片			a.文様型捺し 蓮弁紋 b.灰白色 黒色微砂少量 緻密土 d.灰緑色不透明釉を薄く施釉 e.堅緻 f.蓋
18	42	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 入子	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.黄灰色 長石 礫 良土 e.硬質
18	43	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 入子	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.灰色 精良土 c.灰色 e.良好 硬質 f.外底に3ヶ所土をえぐり立たせた脚がある
18	44	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 入子	—	4.1	—	a.ロクロ 底部回転糸切り b.砂粒 良土 e.良好 d.内面降灰釉
18	45	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 折縁皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良土 d.灰緑色灰釉つけ掛け e.堅緻 f.古瀬戸後期Ⅱ期か
18	46	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 折縁皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良土 d.黄灰緑色半透明 剥離してほとんど残っていない 刷毛塗り
18	47	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸皿	口縁部片			b.灰色 精良土 d.剥離して卸目部分のみ残る 灰緑色透明釉つけ掛け e.堅緻
18	48	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸皿	口縁部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 外面露胎 b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 d.灰オリブ釉 卸目施釉 e.良好 硬質
18	49	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸目付大皿	—	(11.8)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 脚部が付くのか b.黄灰色 微砂 良土 e.やや軟質 f.割れたのち内外ともに二次焼成を受けている 古瀬戸後期Ⅲ期か
18	50	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸皿	底部片			a.外底部糸切り痕 灰色 砂粒 精良土 d.剥離して卸目部分的に残る 灰緑色透明釉塗り方不明 e.良好
18	51	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 壺	胴部片			a.内面指頭による調整 b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 d.オリブ灰～暗緑灰色 f.凸対の筋文 櫛掻による連弁文合子の可能性もある
18	52	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 水注	取手部片			b.灰白色 精良土 c.灰色 e.良好 硬質 d.オリブ釉 f.円文の押印
18	53	第1面・構成土出土遺物(1)	常滑 壺	—	(8.4)	—	a.輪積み技法 内面指頭痕 外面横ナデ 離れ砂付着 b.黒灰色 白色粒多め 黒色粒少量 砂粒 c.灰褐色～黒灰色 d.外面肩部自然降灰 e.硬質
18	54	第1面・構成土出土遺物(1)	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 c.茶褐色 d.口縁～内部、外面肩部自然降灰で灰白色 e.良好 f.二次焼成をうけるか? 外面口縁煤付着
18	55	第1面・構成土出土遺物(1)	常滑 片口鉢Ⅱ類	(35.6)	(16.4)	14	a.輪積み技法 b.黄灰色 微砂 長石 石英 c.赤褐色 e.良好 f.内底にかけて磨滅
19	56	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	(35.4)	(16.4)	11.2	a.輪積み技法 内面横ナデ 外面へラ調整 離れ砂付着 b.橙色 白色粒多め 砂粒 小石粒 c.暗茶褐色～茶褐色 e.硬質
19	57	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.赤褐色 e.良好 f.内面下部磨滅
19	58	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ 外面へラ調整 b.灰色 白色粒多め 砂粒 c.茶褐色 d.口縁に自然降灰 e.良好 f.内面一部磨滅
19	59	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面自然降灰 外面ランダムに押し成形 離れ砂付着 b.黒灰色 白色粒 砂粒 c.赤褐色 e.硬質
19	60	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面自然降灰 外面へラ調整 離れ砂付着 b.暗灰色 白色粒多め 砂粒 c.灰色 e.硬質 f.胎土はⅠ類に近似
19	61	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	(15.2)	—	a.輪積み技法 b.淡橙色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒多め やや粗土 c.橙色 e.良好 f.内面磨滅
19	62	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	底部片			a.輪積み技法 内面摩擦 外面へラ削り横ナデ 外底離れ砂付着 b.灰色 白色粒多め 黒色粒少量 砂粒 c.茶褐色 e.良好 f.内面一部磨滅
19	63	第1面・構成土出土遺物(2)	備前 播鉢	口縁部片			a.輪積み技法 回転横ナデ 内面に9条の櫛目 b.灰色 長石 石英 礫 良土 c.暗茶褐色 e.良好 f.片口鉢の痕跡あり
19	64	第1面・構成土出土遺物(2)	東播系 鉢	口縁部片			b.灰色 白色粒多め 小石粒 良土 c.暗灰色 e.良好 硬質
19	65	第1面・構成土出土遺物(2)	龜山 甕	胴部片			b.灰色 白色粒 黒色粒 良土 c.灰色 e.良好 硬質 d.オリブ釉
19	66	第1面・構成土出土遺物(2)	瓦器質 火鉢	脚部片			a.輪積み技法 脚部貼付け 内面ナデ b.淡橙色～灰色 白色粒 黒色粒 礫 c.内面:灰黒色(黒色処理) 外面:火を受けはつれている 剥離気味 f.脚部
19	67	第1面・構成土出土遺物(2)	平瓦	—	—	2.4	b.灰色 砂粒 小石粒 良土 c.暗灰色 e.良好 f.凸目:糸切り痕 離れ砂付着 凹面:不規則ナデ 離れ砂付着 水殿瓦窯 永福寺Ⅱ期か
19	68	第1面・構成土出土遺物(2)	瓦器質 燗台	(3.8)	—	—	a.最大幅(3.8) 孔幅 底部:0.2 胴軸回り:1.1 b.灰色 白色粒 黒色粒 c.外面磨き痕 e.良好 f.脚部
19	69	第1面・構成土出土遺物(2)	土器質 壺	3.4	4.1	5.2	a.外底部ナデにより糸切り痕を消している b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
19	70	第1面・構成土出土遺物(2)	かわらけ 転用品	径3.55	—	0.5～0.65	b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.円盤状を呈する
19	71	第1面・構成土出土遺物(2)	滑石鍋 転用品	胴部片			a.内面縦位の削り調整 f.温石に転用か?
19	72	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 硯	(7.0)	(5.3)	1.9	a.長方硯 f.鳴滝産

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
19	73	第1面・構成土出土遺物(2)	石材	(7.1)	2.7	2.2	a.側面切り出し痕 f.鳴滝系の石材加工品 用途不明
19	74	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 砥石	9.6	3.5	1.9	a.砥面2面 側面切り出し痕 f.上野産 中砥
19	75	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 砥石	(9.3)	3.1	0.3~0.7	a.砥面2面 側面切り出し痕 c.淡黄灰白色 f.鳴滝 中山産 仕上げ砥
19	76	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 砥石	7.9	3.3	1.5	a.砥面2面 側面切り出し痕 f.鳴滝 中山産 仕上げ砥
19	77	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 火打石	2.4	2.1	1.4	f.使用痕あり
19	78	第1面・構成土出土遺物(2)	鉄製品 釘	(5.8)	1.0	0.7	f.鍛造 断面四角形
19	79	第1面・構成土出土遺物(2)	鉄製品 釘	(6.4)	0.8	0.5	f.鍛造 断面四角形
19	80	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径23.6mm 内径19.8mm 孔幅6.4mm 厚さ1.12mm			f.開元通寶 唐初鑄年621年か南唐初鑄年960年 隸書
19	81	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径25.3mm 内径20.3mm 孔幅6.5mm 厚さ1.2mm			f.天聖元寶 北宋 初鑄1023年 篆書
19	82	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径22.11mm 内径18.22mm 孔幅0.72mm 厚さ6.19mm			f.元豐通寶 北宋 初鑄1078年 行書
19	83	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径24.5mm 内径20.2mm 孔幅7mm 厚さ1.13mm			f.元祐通寶 北宋 初鑄年1086年 行書
21	1	第2面・土坑17	かわらけ	(7.8)	(4.6)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	2	第2面・土坑17	かわらけ	7.6	5.5	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	3	第2面・土坑17	かわらけ	7.6	5.2	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部・内面全体が黒色に変色
21	4	第2面・土坑17	かわらけ	7.4	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	5	第2面・土坑17	かわらけ	(7.5)	(4.6)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
21	6	第2面・土坑17	かわらけ	7.0	4.2	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良好 c.黄橙色 e.良好
21	7	第2面・土坑17	かわらけ	(8.2)	(5.0)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	8	第2面・土坑17	かわらけ	7.8	4.9	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
21	9	第2面・土坑17	かわらけ	7.8	4.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内面ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	10	第2面・土坑17	かわらけ	8.4	5.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
21	11	第2面・土坑17	かわらけ	8.0	5.2	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
21	12	第2面・土坑17	かわらけ	7.4	4.6	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面全体に黒色に変色
21	13	第2面・土坑17	かわらけ	(11.0)	(6.3)	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.器壁内面・外底～側面にかけて黒色に変色
21	14	第2面・土坑17	かわらけ	10.7	6.5	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	15	第2面・土坑17	かわらけ	(11.1)	(6.7)	3.25	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
21	16	第2面・土坑17	かわらけ	12.2	7.8	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
21	17	第2面・土坑17	かわらけ	13.1	8.2	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	18	第2面・土坑17	かわらけ	13.1	8.3	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
21	19	第2面・土坑17	かわらけ	13.5	7.3	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	20	第2面・土坑17	かわらけ	13.2	7.5	3.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	21	第2面・土坑17	かわらけ	(13.0)	(6.4)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
21	22	第2面・土坑17	白磁 壺	口縁部片			a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.灰白色透明 e.堅緻
21	23	第2面・土坑17	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面:摩耗 自然降灰 外面:横ナデ 縦横に調整 b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質 f.8形式
21	24	第2面・土坑17	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面:摩耗 外面:自然降灰 横ナデ 縦横に調整 b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.茶褐色 e.硬質 f.8形式
21	25	第2面・土坑17	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面:横ナデ 摩耗 外面:へら調整 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.茶灰色 e.硬質 8形式
21	26	第2面・土坑17	かわらけ 加工品	2.8	2.3	0.8	a.底部中央穿孔 b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
21	27	第2面・土坑17	鉄製品 釘	(2.8)	0.6	0.4	f.鍛造 断面四角形 錆付着
21	28	第2面・土坑17	銅銭	外径25.1mm 内径19.2mm 孔幅5mm 厚さ1mm			f.元豐通寶 北宋 初鑄1078年 行書
22	1	第2面・溝状4	かわらけ	7.0	4.7	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.一部内外面口唇部黒色に変色
22	2	第2面・溝状4	かわらけ	13.4	7.2	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	3	第2面・土坑22	かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
22	4	第2面・土坑22	かわらけ	7.8	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部厚く油煤痕
22	5	第2面・土坑24	白磁 壺	(6.4)	—	—	a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.灰白色 やや不透明 薄手施釉 貫入有り e.堅緻
22	6	第2面・ピット106	かわらけ	7.6	4.9	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	7	第2面・ピット106	かわらけ	10.4	5.8	3.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	8	第2面・ピット122	かわらけ	(6.9)	(4.7)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	9	第2面・ピット122	かわらけ	(12.3)	(8.4)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
22	10	第2面・ピット122	石製品 砥石	(6.8)	3.1	0.75～ 0.2	a.砥面1面 側面切り出し痕 c.灰白色 f.鳴滝産 仕上げ
22	11	第2面・ピット141	かわらけ	8.1	5.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.歪みはげしい
23	1	第2面・面上	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	2	第2面・面上	かわらけ	8.0	5.5	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	3	第2面・面上	かわらけ	(7.6)	(4.4)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	4	第2面・面上	かわらけ	(7.2)	(4.8)	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内側面黒色に変色、煤痕か
23	5	第2面・面上	かわらけ	7.3	4.4	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	6	第2面・面上	かわらけ	(7.8)	(3.4)	2.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
23	7	第2面・面上	かわらけ	(12.3)	(8.0)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外底黒色に変色
23	8	第2面・面上	かわらけ	(12.0)	(7.1)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
23	9	第2面・面上	かわらけ	(12.7)	(8.0)	3.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内外口唇部油煤痕
23	10	第2面・面上	かわらけ	12.0	7.3	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	11	第2面・面上	かわらけ	(12.2)	(7.0)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	12	第2面・面上	かわらけ	11.9	7.4	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	13	第2面・面上	瀬戸 皿	口縁部片			a.ロクロ 内面:横ナデ 外面:自然降灰 b.灰白色 砂粒 精良土 c.灰色 e.良好 硬質 f.内側面に縦位の櫛掻痕
23	14	第2面・面上	常滑 壺	(5.3)	—	—	a.輪積み技法 b.灰白色～灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰色 d.口縁～内部、外面肩部 自然降灰で灰緑色 e.良好 f.内面に黒い凝固した物質付着・小型
23	15	第2面・面上	常滑 片口鉢Ⅱ類	(26.5)	—	—	a.輪積み技法 口唇部欠損 内面:横ナデ 外面:へら調整 b.灰褐色 白色粒少量 黒色粒少量 c.灰褐色 e.硬質 8形式
23	16	第2面・面上	銅銭	外径25.5mm 内径20.0mm 孔幅0.71mm 厚さ1.0mm			f.天禧通寶 北宋 初鑄1017年 真書
23	17	第2面・面上	銅銭	外径23.9mm 内径20.5mm 孔幅6.0mm 厚さ0.95mm			f.紹熙元寶 南宋 初鑄1190年 真書
23	18	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(5.4)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
23	19	第2面・構成土(1)	かわらけ	8.4	6.4	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	20	第2面・構成土(1)	かわらけ	8.05	5.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	21	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.9	5.3	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	22	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.5	5.0	1.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
23	23	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.2	4.4	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	24	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.9	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
23	25	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.8	4.9	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	26	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	27	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.1	4.15	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	28	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
23	29	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.55	4.9	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	30	第2面・構成土(1)	かわらけ	(8.3)	(4.9)	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	31	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.55	5.65	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
23	32	第2面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	(4.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 不明瞭な板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	33	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	34	第2面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
23	35	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	36	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.3	4.5	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部1ヶ所油煤痕
23	37	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.4	4.35	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	38	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	(4.4)	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	39	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.0	4.9	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	40	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.7)	(4.3)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	41	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.6)	(5.0)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 良土 c.黄橙色 e.良好
23	42	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.5	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内底部釘付着 外側面黒色に変色
23	43	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.1	4.95	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	44	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	(4.4)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外面煤ける
23	45	第2面・構成土(1)	かわらけ	6.75	4.25	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	46	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.2	4.2	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	47	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.0	4.7	1.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	48	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.0)	(4.0)	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 不明瞭な板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	49	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.3)	(5.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
23	50	第2面・構成土(1)	かわらけ	(10.3)	(5.6)	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	51	第2面・構成土(1)	かわらけ	10.3	6.2	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	52	第2面・構成土(1)	かわらけ	10.7	6.1	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	53	第2面・構成土(1)	かわらけ	10.2	5.8	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ 薄手の器壁 b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	54	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.8)	(7.7)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	55	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.5)	(7.8)	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	56	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.4	8.8	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	57	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.5	7.7	3.15	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	58	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.8	7.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	59	第2面・構成土(1)	かわらけ	(13.2)	(7.1)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	60	第2面・構成土(1)	かわらけ	6.2	7.4	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	61	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.6	8.4	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	62	第2面・構成土(1)	かわらけ	12.0	6.4	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	63	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.4)	(7.4)	3.15	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	64	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.0)	(6.7)	3.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	65	第2面・構成土(1)	かわらけ	12.5	7.6	3.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
24	66	第2面・構成土(2)	かわらけ	12.9	6.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 粉質良土 c.黄橙色 e.良好
24	67	第2面・構成土(2)	かわらけ	(12.7)	(7.6)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
24	68	第2面・構成土(2)	かわらけ	(12.8)	(6.8)	3.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
24	69	第2面・構成土(2)	青磁 櫛搔文碗	底部片			a.ロクロ 内面に櫛搔き文 b.灰白色 精良堅緻 d.緑灰色半透明 細かい気泡多く 外面は貫入多い e.堅緻
24	70	第2面・構成土(2)	褐釉 壺	胴部片+耳			a.輪積み技法 b.灰色 微砂 黒色粒 白色粒 良土 d.茶褐色釉 e.良好
24	71	第2面・構成土(2)	褐釉 壺	胴部片			a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 赤色粒 黒色粒 白色粒 緻密精良土 d.茶褐色釉 e.良好 硬質 f.内面釉垂れあり
24	72	第2面・構成土(2)	瀬戸 入子	(7.7)	(3.7)	2.95	a.外底回転糸切痕 内面摩擦 外面へら調整 残存1/8 輪花一ヶ所残る b.灰色 白色粒 砂粒 良土 d.無釉 e.良好 硬質 f.内底に朱色の顔料残る
24	73	第2面・構成土(2)	瀬戸 入子	5.7	3.7	1.8	a.外底回転糸切痕 八弁輪花状 b.灰色 白色粒 砂粒 良土 d.無釉 e.良好 硬質
24	74	第2面・構成土(2)	瀬戸 折縁皿	口縁部片			a.ロクロ 内面:横ナデ 外面:自然降灰 b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 d.灰オリーブ 薄手施釉 e.良好 硬質 f.二次焼成で白濁する
24	75	第2面・構成土(2)	瀬戸 鈿皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 d.灰白色 極薄く施釉 e.良好 硬質 f.口唇部より外側面にかけて釉剥離
24	76	第2面・構成土(2)	瀬戸 瓶子	胴部片			b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 e.良好 硬質 d.灰オリーブ釉 外面のみ薄く施釉

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
24	77	第2面・構成土(2)	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.灰色 白色粒多め 砂粒 c.褐色 d.暗褐色 e.硬質 f.6a形式
24	78	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片			a.輪積み技法 横ナデ 内面摩耗してツルツル b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.灰色 e.硬質
24	79	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 横ナデ b.灰褐色 白色粒多め 砂粒 c.赤褐色 d.自然降灰 e.硬質 f.6a形式
24	80	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 口唇部禿げている b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.茶褐色 e.硬質 f.内面に一ヶ所竹管文あり
24	81	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	底部片			a.輪積み技法 内面摩耗 外面へラ削り横ナデ b.灰色 白色粒多め 黒色粒多め 砂粒 c.褐色～暗褐色 e.硬質
24	82	第2面・構成土(2)	土器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 内外横位ナデ b.灰橙色 微砂多く、白色粒・小石粒を含む c.黄褐色 e.軟質 f.D類
24	83	第2面・構成土(2)	かわらけ	10.0	5.1	3	a.ロクロ内底ナデ b.微砂 白色粒 小石粒 やや粗土 c.白色 e.良好 f.口唇部全体に油煤痕 1ヶ所打ち掻き痕 外底部糸切り痕不明瞭 手づくね成形のようにも思えるが、内面不明瞭ながら回転整形の痕跡もみえる 器肌は白色を呈する 産地不明
24	84	第2面・構成土(2)	かわらけ質 人形	3.2	2.1	1.8	b.微砂 赤色粒 良土 c.にぶい橙色 e.良好 f.巫女・後ろ髪は襟の中に入れるため背中には垂らさない・玩具ではなく神事に利用か。手に持っているものは不明・儀式用の品か・顔は墨で書いておらず、へらで切った様子もない
24	85	第2面・構成土(2)	石製品 硯	4.9	3.9	0.8	b.頁岩 赤間ヶ石製 四葉硯(鎌倉手) f.原材搬入し、鎌倉で作硯
24	86	第2面・構成土(2)	石製品 硯	(5.1)	(3.5)	0.6	b.装飾部一部残る c.暗灰色 f.産地不明
24	87	第2面・構成土(2)	石製品 砥石	(3.4)	2.4	0.6	a.砥面2面 c.灰白色 f.鳴滝産 仕上げ
24	88	第2面・構成土(2)	鉄製品 釘	(5.1)	0.6	0.4	f.鍛造 断面四角形 錆付着
24	89	第2面・構成土(2)	鉄製品 釘	(3.0)	0.6	0.3	f.鍛造 断面四角形
26	1	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.8)	(4.5)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
26	2	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.5)	(4.8)	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
26	3	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	7.3	4.9	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部2か所に油煤今
26	4	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	7.8	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部油煤痕
26	5	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.6)	(4.8)	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
26	6	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.4)	(4.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
26	7	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(6.6)	(3.9)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄褐色 e.良好
26	8	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.3)	(3.8)	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄褐色 e.良好
26	9	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(10.9)	(6.0)	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
26	10	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(10.8)	(6.5)	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.外側面に工具による引き掻きのような痕跡
26	11	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	12.7	7.8	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
26	12	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	12.8	7.9	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
26	13	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(13.5)	(7.3)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
26	14	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(12.6)	(8.2)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 小石粒 良土 c.黄褐色 e.良好
26	15	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(13.1)	(8.1)	3.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
26	16	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	12.8	6.8	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
26	17	第3面・かわらけ集中遺構	鉄製品 釘	(4.1)	0.8	0.7	f.鍛造 断面四角形
26	18	第3面・かわらけ集中遺構	鉄製品 釘	4.4	0.7	0.6	f.鍛造 断面四角形
26	19	第3面・かわらけ集中遺構	鉄製品 釘	3.2	0.7	0.6	f.鍛造 断面四角形
27	1	第3面・土坑26	かわらけ	7.2	5.3	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	2	第3面・土坑26	かわらけ	11.1	6.4	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質良土 c.橙色 e.良好
27	3	第3面・土坑26	かわらけ	12.2	7.1	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.内面器壁が黒色に変色
27	4	第3面・土坑29	かわらけ	(7.0)	(4.5)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	5	第3面・土坑29	かわらけ	10.3	4.9	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 粉質気味良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.器肌色が白かわらけに近似する色調
27	6	第3面・土坑30	かわらけ	7.4	5.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
27	7	第3面・土坑30	かわらけ	7.5	5.9	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	8	第3面・土坑30	かわらけ	10.3	5.9	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	9	第3面・土坑31	かわらけ	8.1	4.9	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
27	10	第3面・土坑31	かわらけ	7.8	5.2	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部一部に油煤痕

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
27	11	第3面・土坑31	かわらけ	7.5	5.1	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内側面一部が黒色に変色
27	12	第3面・土坑31	かわらけ	7.6	5.0	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口縁削り込む加工を施す
27	13	第3面・土坑31	かわらけ	(12.6)	(8.3)	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
27	14	第3面・土坑31	かわらけ	(13.5)	(7.5)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
27	15	第3面・土坑31	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.25	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
27	16	第3面・土坑31	かわらけ	(13.1)	(7.3)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 小石粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
28	17	第3面・土坑32	かわらけ	(7.7)	(5.8)	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
28	18	第3面・土坑32	かわらけ	10.9	6.3	3.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.器壁内湾する
28	19	第3面・土坑32	かわらけ	12.4	7.1	3.25	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
28	20	第3面・土坑32	かわらけ	12.4	7.25	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	21	第3面・土坑32	かわらけ	12.7	8.1	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	22	第3面・土坑32	かわらけ	12.7	7.1	3.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
28	23	第3面・土坑32	かわらけ	13.5	7.9	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
28	24	第3面・土坑32	かわらけ	13.2	7.8	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
28	25	第3面・土坑32	かわらけ	(13.2)	(7.5)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙 色 e.良好 f.内側面部分的に黒色に変色
28	26	第3面・土坑32	滑石 鍋	口縁部片			b.内外面削り加工
28	27	第3面・土坑33	かわらけ	7.75	4.95	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部から内側面にかけて厚く油煤痕
28	28	第3面・土坑33	かわらけ	8.05	5.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄 橙色 e.良好 f.内外面共に器壁剥離 口唇部油煤痕
28	29	第3面・土坑33	かわらけ	7.3	5.15	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一部打ち掻き痕 口唇部油煤痕
28	30	第3面・土坑33	かわらけ	7.7	5.3	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	31	第3面・土坑33	かわらけ	7.1	4.5	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
28	32	第3面・土坑33	かわらけ	7.3	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや 粗土 c.橙色 e.良好
28	33	第3面・土坑33	かわらけ	7.75	3.1	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	34	第3面・土坑33	かわらけ	7.05	4.7	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部一部油煤痕
28	35	第3面・土坑33	かわらけ	7.0	4.6	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粉質 気味良土 c.橙色 e.良好
28	36	第3面・土坑33	かわらけ	10.5	6.4	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 赤色粒 やや粉質良土 c.橙色 e.良好
28	37	第3面・土坑33	かわらけ	10.75	6.0	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒多め 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
28	38	第3面・土坑33	かわらけ	10.6	5.8	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 赤色粒多め 良土 c.灰白色 e.甘い
28	39	第3面・土坑33	かわらけ	12.0	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良 好
28	40	第3面・土坑33	かわらけ	11.8	7.5	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	41	第3面・土坑33	かわらけ	11.8	7.3	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒多め 泥岩粒 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口縁部一部に削痕
28	42	第3面・土坑33	かわらけ	11.9	7.8	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良 好
28	43	第3面・土坑33	かわらけ	12.9	8.6	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好 f.内底黒色に変色
28	44	第3面・土坑33	かわらけ	12.1	7.45	3.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒多め 泥岩粒多め やや粗土 c.橙色 e.良好
28	45	第3面・土坑33	かわらけ	12.6	6.7	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	46	第3面・土坑33	銅銭	外径25.1mm 内径22.3mm 孔幅10mm 厚さ1.1mm			f.五銖銭 後漢 初鑄A.D.24年
28	47	第3面・ビット176	青磁 鉢	底部片			b.灰白色 精良堅緻 d.青灰色不透明 厚く施釉 気泡あり 貫入あり 高台接地面のみ露胎 e.堅緻 f.内底二次焼成か釉剥離
28	48	第3面・ビット177	かわらけ	12.6	6.7	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	49	第3面・ビット185	常滑 片口鉢Ⅱ類	(35.6)	(19.6)	(14.4)	a.輪積み技法 内面:指頭痕・横ナデ 外面:横ナデ・ヘラ調整・離れ砂付着 b.暗灰色 白色 粒 黒色粒 砂粒 石粒 c.橙色 e.硬質
28	50	第3面・ビット190	かわらけ	7.5	4.7	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	51	第3面・ビット190	瀬戸 入子	—	(3.8)	—	a.ロクロ 横ナデ b.灰白色 砂粒 良土 d.外面に自然降灰 e.良好 硬質
28	52	第3面・ビット198	かわらけ	7.4	5.7	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
28	53	第3面・ビット198	かわらけ	7.3	4.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
28	54	第3面・ビット198	銅銭	外径24.4mm 内径20.8mm 孔幅6.74mm 厚さ1.1mm			f.元祐通寶 北宋 初鑄1086年 行書
28	55	第3面・ビット198	銅銭	外径23.8mm 内径18.9mm 孔幅6.2mm 厚さ0.9mm			f.至和元寶 北宋 初鑄1054年 篆書
29	1	第3面・面上(1)	かわらけ	8.0	5.7	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
29	2	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.1)	(4.5)	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	3	第3面・面上(1)	かわらけ	7.2	5.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	4	第3面・面上(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	5	第3面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	6	第3面・面上(1)	かわらけ	7.15	4.5	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	7	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(4.9)	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	8	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(4.35)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.内外側面黒色に変色
29	9	第3面・面上(1)	かわらけ	7.75	5.15	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面・内底面黒色に変色
29	10	第3面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.5	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
29	11	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	(4.8)	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	12	第3面・面上(1)	かわらけ	7.9	4.65	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 小石粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面一部が黒色に変色
29	13	第3面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	14	第3面・面上(1)	かわらけ	7.4	4.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯少量 赤色粒少量 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
29	15	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.60)	(4.65)	(1.5)	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	16	第3面・面上(1)	かわらけ	6.9	4.3	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
29	17	第3面・面上(1)	かわらけ	7.1	4.7	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	18	第3面・面上(1)	かわらけ	7.7	5.2	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
29	19	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.5)	(4.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.内外面口唇部黒色に変色
29	20	第3面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	21	第3面・面上(1)	かわらけ	7.5	4.75	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底弱いナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	22	第3面・面上(1)	かわらけ	(8.15)	(5.4)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	23	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.6)	(4.8)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	24	第3面・面上(1)	かわらけ	7.3	4.1	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
29	25	第3面・面上(1)	かわらけ	7.55	4.9	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒少量 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	26	第3面・面上(1)	かわらけ	7.1	5.0	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
29	27	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.2)	(4.15)	(1.95)	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	28	第3面・面上(1)	かわらけ	11.15	5.8	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	29	第3面・面上(1)	かわらけ	(10.95)	(6.4)	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯少量 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	30	第3面・面上(1)	かわらけ	11.15	6.3	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
29	31	第3面・面上(1)	かわらけ	(17.4)	9.95	4.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	32	第3面・面上(1)	かわらけ	(14.0)	(7.6)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	33	第3面・面上(1)	かわらけ	(12.7)	(6.9)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	34	第3面・面上(1)	かわらけ	12.7	7.4	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	35	第3面・面上(1)	かわらけ	(12.4)	(7.65)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 小石粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内面口唇部と内底から側面・外側面が黒色に変色
29	36	第3面・面上(1)	かわらけ	11.85	7.1	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒少量 泥岩粒少量 良土 c.黄橙色 e.やや甘い f.口唇部全体に油煤痕
29	37	第3面・面上(1)	青磁 鎗蓮弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.オリーブ灰色透明釉 厚く施釉 気泡あり
29	38	第3面・面上(1)	白磁 碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.白色透明 薄手施釉 e.堅緻
29	39	第3面・面上(1)	白磁 口元皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.灰白色半透明 薄手施釉 貫入有り e.堅緻

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
29	40	第3面・面上(1)	白磁皿		口縁部片		a.ロクロ 内面印花文 b.白色 精良堅緻 d.無色透明釉 薄手施釉 e.堅緻 f.小皿
29	41	第3面・面上(1)	青白磁皿		口縁部片		a.口縁輪花状 内面僅かに櫛搔文が残る 文様不明 b.白色 精良堅緻 d.灰白色透明 薄手施釉 e.堅緻 f.小皿
29	42	第3面・面上(1)	瀬戸入子		口縁部片		a.ロクロ 内面横ナデ b.灰白色 砂粒 精良土 d.灰白色自然釉 e.良好 硬質
29	43	第3面・面上(1)	瀬戸卸皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 砂粒 良土 d.オリーブ灰色 薄く施釉 e.良好 硬質
29	44	第3面・面上(1)	瀬戸卸皿		底部片		a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.淡灰褐色 砂粒 良土 d.卸目部分灰白色自然釉 e.良好 硬質
29	45	第3面・面上(1)	常滑甕		口縁部片		a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.暗赤褐色 e.硬質 f.7形式
29	46	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅰ類		口縁部片		a.輪積み技法 横ナデ b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰色 e.硬質 f.5形式
29	47	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅰ類	—	(11.0)	—	a.輪積み技法 横ナデ 内面摩耗器壁剥離 b.灰色 白色粒少なめ 黒色粒 砂粒 c.灰色 d.内側のみ降灰による自然釉 e.硬質
29	48	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅱ類	(31.6)	(15.2)	(11.35)	a.輪積み技法 横ナデ 内面:摩耗・剥離あり 外面:へら調整 b.灰~暗灰色 白色粒多い 黒色粒 砂粒 小石粒 c.褐色~黒褐色 e.硬質 f.7形式
29	49	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 内外面横ナデ b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質 f.8形式
29	50	第3面・面上(1)	土器質火鉢		口縁部片		a.横ナデ 板状圧痕 b.橙色 海綿骨芯 赤色粒 白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
29	51	第3面・面上(1)	瓦器質火鉢		口縁部片		b.灰白色 白色粒 砂粒 c.灰色 e.硬質 f.外側面上部から二条の沈線・雷文・二条の沈線・珠文貼り付け 内面上部に横方向の磨き痕・角火鉢
29	52	第3面・面上(1)	常滑甕転用品	8.7	6.7	1.5	a.側面揺られ丸みを帯びる b.灰褐色 白色粒多め 黒色粒 c.灰色 e.硬質
29	53	第3面・面上(1)	泥岩加工品	径7.2	—	1.8	a.土丹を磨き円盤状に成形一部破損
29	54	第3面・面上(1)	土製品用途不明	(5.3)	2.6	1.5	b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 小石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.円盤状 鋳型か
29	55	第3面・面上(1)	滑石製スタンプ	(2.6)	0.9	0.9	f.極小片の為 文様不明
29	56	第3面・面上(1)	石製品砥石	(7.2)	6.4	3.9	a.砥面2面 側面切り出し痕 c.白色 f.伊予産 中砥
29	57	第3面・面上(1)	石製品砥石	(5.3)	3.4	0.6	a.砥面2面 c.淡黄色 f.鳴滝産 仕上げ
29	58	第3面・面上(1)	石製品砥石	(3.0)	3.1	0.7	a.砥面2面 側面1面切り出し痕 c.灰白色 f.鳴滝産 仕上げ
29	59	第3面・面上(1)	骨角製品弁	(2.6)	1.7	0.3	a.磨き加工されている
29	60	第3面・面上(1)	骨角製品	(4.3)	1.2	0.4	a.磨き加工されている・用途不明
30	61	第3面・面上(2)	鉄製品用途不明	(3.9)	7.5	0.3	f.遺存状態が悪く大半が錆に覆われる
30	62	第3面・面上(2)	鉄製品釘	5.3	1.5	1.5	f.鍛造 錆付着
30	63	第3面・面上(2)	鉄製品釘	5.0	0.8	0.8	f.鍛造 錆付着
30	64	第3面・面上(2)	鉄製品釘	(4.2)	0.5	0.4	f.鍛造 断面四角形
30	65	第3面・面上(2)	鉄製品釘	4.7	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
30	66	第3面・面上(2)	銅銭	外径25.5mm 内径21.0mm 孔幅7.3mm 厚さ1.0mm			f.景祐元寶 北宋 初鑄1034年 真書
30	67	第3面・面上(2)	銅銭	外径25.0mm 内径19.5mm 孔幅7.0mm 厚さ1.0mm			f.皇宋通寶 北宋 初鑄1038年 真書
30	68	第3面・面上(2)	銅銭	外径24.3mm 内径20.3mm 孔幅4.8mm 厚さ1.3mm			f.政和通寶 北宋 初鑄1111年 分楷
30	69	第3面・炭化物層	かわらけ	(7.7)	(4.7)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.二次焼成受け黒色に変色
30	70	第3面・炭化物層	かわらけ	(7.9)	(4.9)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 砂質やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	71	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	5.3	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	72	第3面・炭化物層	かわらけ	(7.4)	(4.9)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 砂質やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	73	第3面・炭化物層	かわらけ	7.15	4.8	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質良土 c.橙色 e.良好
30	74	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	5.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部一ヶ所に油煤痕
30	75	第3面・炭化物層	かわらけ	6.8	5.3	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部一部黒色に変色
30	76	第3面・炭化物層	かわらけ	7.95	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	77	第3面・炭化物層	かわらけ	7.45	5.95	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	78	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	4.7	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	79	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	5.2	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	80	第3面・炭化物層	かわらけ	7.95	5.1	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	81	第3面・炭化物層	かわらけ	7.4	5.0	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 小石粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
30	82	第3面・炭化物層	かわらけ	7.3	5.2	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	83	第3面・炭化物層	かわらけ	7.2	5.0	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	84	第3面・炭化物層	かわらけ	7.15	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
30	85	第3面・炭化物層	かわらけ	6.6	4.25	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	86	第3面・炭化物層	かわらけ	6.85	4.1	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
30	87	第3面・炭化物層	かわらけ	10.95	6.4	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一ヶ所に油煤痕
30	88	第3面・炭化物層	かわらけ	(11.0)	(5.8)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部一ヶ所に油煤痕
30	89	第3面・炭化物層	かわらけ	(10.7)	(6.2)	2.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	90	第3面・炭化物層	かわらけ	(10.7)	(6.4)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	91	第3面・炭化物層	かわらけ	(10.7)	(6.5)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	92	第3面・炭化物層	かわらけ	10.7	5.7	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面一部栗色に変色
30	93	第3面・炭化物層	かわらけ	13.2	7.3	3.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
30	94	第3面・炭化物層	かわらけ	12.1	7.6	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部油煤痕
30	95	第3面・炭化物層	かわらけ	12.0	8.1	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内面一部黒色に変色
30	96	第3面・炭化物層	かわらけ	13.1	8.8	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	97	第3面・炭化物層	かわらけ	13.1	7.3	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	98	第3面・炭化物層	かわらけ	12.75	7.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.内外口唇部黒色に変色
30	99	第3面・炭化物層	青白磁 梅瓶	胴部片			a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.青白色透明 薄手施釉 e.堅緻 f.二次焼成の為かややあれぬ味
30	100	第3面・炭化物層	山茶碗	(13.4)	(6.6)	4.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.白色粒 砂粒 精良土 c.灰黒色 e.やや甘い f.胎土は東遼系の胎土に近似
30	101	第3面・炭化物層	常滑甕 転用品	(7.0)	6.2	1.5	a.側面摩耗 b.暗灰色 白色粒 砂粒 c.茶褐色 e.硬質
30	102	第3面・炭化物層	鉄製品 釘	5.2	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
30	103	第3面・炭化物層	銅銭	外径24.3mm 内径17.8mm 孔幅5.8mm 厚さ1.2mm			f.至道元寶 北宋 初鑄995年 草書
30	104	第3面・炭化物層	銅銭	外径25.0mm 内径19.5mm 孔幅5.7mm 厚さ1.2mm			f.景德元寶 北宋 初鑄1004年 真書
30	105	第3面・構成土(1)	かわらけ	3.8	3.0	0.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 やや粉質 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部やや内折れ
30	106	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	107	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.2)	5.4	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	108	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	(4.6)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕不明瞭 内底強くナデ b.微砂多 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面見込み浅く 外底磨減
30	109	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.1	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.まだらな 橙色 e.良好 f.内外面一部に灰色の物質付着 一ヶ所打ち掻き痕
30	110	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一ヶ所油煤痕
30	111	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	112	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
30	113	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.8	4.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	114	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 橙色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	115	第3面・構成土(1)	かわらけ	8.2	6.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	116	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.6)	(6.4)	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 橙色粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.低い器高
30	117	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.やや甘い f.低い器高・内外面一部黒色に変色
30	118	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 白色粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.低い器高
30	119	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外口唇部油煤痕
30	120	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強く横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	121	第3面・構成土(1)	かわらけ	8.0	5.5	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	122	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.4)	5.0	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
30	123	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 小石粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
30	124	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.2	5.2	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底雑ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 小石粒 粉質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	125	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
30	126	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.9	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 粉質 気味 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	127	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.3	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面一部が黒色に変色
30	128	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	6.0	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 やや粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	129	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.6)	(6.0)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
30	130	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.0)	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
30	131	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.0	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕? 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 粉質 良土 c.黄橙色
30	132	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや良 土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面約半分が黒色に変色
30	133	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.0	5.4	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 囊状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	134	第3面・構成土(1)	かわらけ	8.0	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	135	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.2	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	136	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 泥岩粒 粉質気 味 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	137	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	138	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	139	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良 土 c.黄橙色 e.良好
30	140	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.0	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
30	141	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	5.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
30	142	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(4.4)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	143	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
31	144	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.8	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.淡黄橙色 e.良好
31	145	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.6)	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良 土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面一部に油煤痕
31	146	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.4)	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良 土 c.黄橙色 e.良好
31	147	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.2	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 小石粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
31	148	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.0)	(4.8)	1.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好
31	149	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.4	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
31	150	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.4	4.8	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 泥岩 粒 やや粉質砂質気味 やや粗土 良土 c.淡黄橙色 e.良好
31	151	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.4)	4.6	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良 土 c.淡黄橙色 e.良好
31	152	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.4	4.7	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 やや 粗土 c.淡黄橙色 e.良好
31	153	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.0)	4.8	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
31	154	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.0	4.4	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良 土 c.淡黄橙色 e.良好
31	155	第3面・構成土(2)	かわらけ	6.3	3.7	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 粉質気味 良土 c.淡黄色 e.やや甘い f.口唇部全体に油煤痕
31	156	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.8	7.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.器壁内湾
31	157	第3面・構成土(2)	かわらけ	11.0	6.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 粉質気味 良 土 c.淡黄橙色 e.良好
31	158	第3面・構成土(2)	かわらけ	11.0	6.4	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 粉質 良土 c.黄橙色 e.良 好 f.器壁内湾
31	159	第3面・構成土(2)	かわらけ	(11.0)	(6.0)	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質気味 良土 c. 橙色 e.良好
31	160	第3面・構成土(2)	かわらけ	(10.8)	3.0	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好
31	161	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.2	6.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 やや砂質 良土 c.橙 色 e.良好
31	162	第3面・構成土(2)	かわらけ	(11.0)	(6.8)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好 f.器壁内湾 口唇部油煤痕
31	163	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.4	6.4	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好
31	164	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.4	6.8	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好 f.器壁内湾 内外側面に厚く油煤痕
31	165	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.6)	9.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質気味 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
31	166	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.3)	(8.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多い 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 粗土 c.灰橙色 e.やや甘い f.内外面黒色に変色
31	167	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.4	6.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 砂質土 c.黄橙色 e.良好 f.内外側面黒色に変色
31	168	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.8)	8.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.内外底面黒色に変色
31	169	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.0)	8.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
31	170	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.4)	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.器壁内湾
31	171	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.8	7.6	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙 色 e.良好
31	172	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.4	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面上部にやや強い回転ナデ
31	173	第3面・構成土(2)	かわらけ	13.8	8.8	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.器壁薄く内湾する
31	174	第3面・構成土(2)	かわらけ	13.0	7.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙 色やや白っぽい e.良好
31	175	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.6	8.2	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 やや粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
31	176	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.4)	7.6	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.器壁内湾
31	177	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.0)	(7.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
31	178	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.4	7.6	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 や や粗土 c.黄橙色 e.良好
31	179	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.6)	7.0	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
31	180	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.2)	7.6	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
31	181	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.0)	(3.6)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良 土 c.橙色 e.良好
31	182	第3面・構成土(2)	かわらけ	(11.8)	(7.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 やや粗土 c.淡橙色 e.良好
31	183	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.0)	7.2	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 白色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
31	184	第3面・構成土(2)	青磁 鍋連弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.黒色粒 精良土 c.暗灰色 d.灰緑色 薄い e.良好 硬質 竜泉窯
31	185	第3面・構成土(2)	青磁 鍋連弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.黒色粒 精良土 c.暗灰色 d.灰緑釉 不透明 薄い e.良好 硬質 f.Ⅱa 竜 泉窯
31	186	第3面・構成土(2)	青磁 鉢	(12.6)	—	—	a.ロクロ b.精良土 c.灰色 d.灰緑釉 不透明 厚い e.良好 硬質 f.Ⅲ-2 内面-見込 みは不明、体部は無文 外面-体部に蓮弁文 口縁部上端は平面 貫入あり 竜泉窯 器高 低い
31	187	第3面・構成土(2)	白磁 口元小碗	口縁部片			a.ロクロ b.精良緻密 c.白色 d.やや青みのある透明釉 ツヤあり e.堅緻 f.内面印 花文文型押し IX 2bか
31	188	第3面・構成土(2)	白磁 皿	—	(2.2)	—	a.型づくり b.やや黄味がかかる白色 精良緻密 d.透明釉 ツヤあり e.堅緻 f.外側面 の釉はつけ掛 内面は全釉で均一 景德鎮か
31	189	第3面・構成土(2)	青白磁 梅瓶	(4.0)	—	—	a.ロクロ b.砂粒 黒色粒 c.灰白色 d.灰青色 e.硬質 f.景德鎮か 文様不明 貫入あり
31	190	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	—	3.4	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底ナデ b.灰白色 精良土 d.降灰釉 白釉 (内面立ち上がり 部分に) e.良好
31	191	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	—	3.0	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.灰白色 微砂 黒色粒 d.降灰釉 灰釉 e.良好 f.内底中心を指頭でやや強く押ししている
31	192	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	—	(3.0)	—	a.ロクロ 外底へら削り b.灰白色 精良土 d.降灰釉 黄緑色 e.やや甘い
31	193	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	(6.0)	(3.0)	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕をへらにより整形 b.灰白色 精良土 d.降灰釉 灰釉 e.良好
31	194	第3面・構成土(2)	瀬戸 卸皿	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.微砂 白色粒 やや粘質 良土 c.灰色 d.灰釉 緑灰色 e.良 好 f.編年不明
31	195	第3面・構成土(2)	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 長石 小石粒 c.赤褐色 e.良好 硬質 f.灰緑色の自然 降灰釉が厚い 縦長正方形の押印文
31	196	第3面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片			a.輪積み技法 b.赤灰色 黒色粒 白色粒 長石 d.赤灰色 e.良好 f.酸化のため赤味がか つている 外側面高台より上に丸味がある
31	197	第3面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	(11.0)	—	a.輪積み技法 外底回転糸切 b.微砂 黒色粒 白色粒 長石 小石粒 c.灰色 d.降灰釉 白色 e.良好 硬質
32	198	第3面・構成土(3)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.橙色 砂粒 白色粒 長石 c.暗赤褐色 e.良好 硬質 f.7期
32	199	第3面・構成土(3)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.茶褐色 微砂 白色粒 c.暗赤褐色 e.良好 硬質 f.中野7～8型式
32	200	第3面・構成土(3)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 砂粒 白色粒 長石 c.暗赤褐色 e.良好 硬質 f.8形式
32	201	第3面・構成土(3)	土器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰色～橙色 砂粒 白色粒 小石粒 c.橙灰色 e.良好 f.河野Ⅰb類(河 野分類に土器質とあったので土器質にした)内外熱の為に剥離 煤痕あり
32	202	第3面・構成土(3)	土器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 雲母 c.黄橙色 e.硬め 胎芯灰黒色 f.河野分類Ⅰa類
32	203	第3面・構成土(3)	かわらけ質 円盤	径(6.0)厚1.4中心孔径(1.0)			b.微砂 雲母 白色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 鋳型か
32	204	第3面・構成土(3)	土器質 片口鉢	(20.6)	11.0	7	a.輪積み技法 外底輪状の物で調整 b.微砂 黒色粒 白色粒 赤色粒 c.橙色 e.良好 硬質 f.内面炭化している 火鉢河野分類Ⅰ類に似ている 接合できないが同一個体と思われる 片口鉢片があり土器質片口鉢とした 煤の滴が底部から口縁部に流れている様に見える ので蓋として使っていたかとの指摘があった
32	205	第3面・構成土(3)	滑石鍋 転用品	13.3	6.0	2.0	c.内外-白色 断面-茶褐色 f.外底面一部剥離 斜めに切断痕 転用途中か

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
32	206	第3面・構成土(3)	滑石製 スタンプ	6.4	5.2	0.8	f.穿孔右径0.6×1.0cm 左径0.5×1.2cm 葉文か
32	207	第3面・構成土(3)	石製品 硯	(8.1)	(5.1)	1.6	b.緑泥岩 f.温石からの転用品か やや黒ずみ磨滅している 埼玉県西都産
32	208	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	6.3	3.1	3.6	b.流紋岩質細粒凝灰岩 c.白灰色 f.伊予産 手に握って使ったのか多面的で安定しない 砥面2面 刃先0.5cm位矢尻状の物を砥いでいる 中砥
32	209	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	2.5	3.6	0.6	b.流紋岩質細粒凝灰岩 頁岩 やや硬質 c.黄色 f.鳴滝産 切り出し痕 砥面2面 仕上げ
32	210	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	(3.1)	(3.1)	(1.0)	b.頁岩 やや軟質感あり c.灰白色 f.鳴滝産 産地加工痕 砥面2面 仕上げ
32	211	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	(3.2)	3.1	0.7	a.砥面は表裏2面 側面は削り出し痕(産地加工痕) b.凝灰岩(頁岩) c.黄白色 f.鳴滝 産山中 仕上げ
32	212	第3面・構成土(3)	チャート	3.5	3.8	2.3	b.油石(石英) f.多角形 緑灰色一部白色で濁る
32	213	第3面・構成土(3)	チャート	2.7	2.2	1.5	b.油石 f.切り出し痕あり
32	214	第3面・構成土(3)	骨製品 用途不明	3.1	1.1	0.7	f.切断痕あり
32	215	第3面・構成土(3)	骨製品 用途不明	4.2	(1.3)	0.2	f.筒状 鞍(馬具)とも言われているが、化粧刷毛の軸にも似る
32	216	第3面・構成土(3)	銅銭	外径(23.0)mm 内径(19.0)mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.咸平元寶 北宋 初鑄998年 真書
32	217	第3面・構成土(3)	銅銭	外径(24.0)mm 内径(20.0)mm 孔幅7.0mm 厚さ1.0mm			f.景祐元寶 北宋 初鑄1034年 真書
32	218	第3面・構成土(3)	銅銭	外径26.0mm 内径20.0mm 孔幅不明 厚さ1.0mm			f.不明
32	219	第3面・構成土(3)	銅銭	外径(24.0)mm 内径(20.0)mm 孔幅不明厚さ1.0mm			f.皇宋通寶 北宋 初鑄1038年
32	220	第3面・構成土(3)	木製品 串状	(14.2)	1.0	0.7	
35	1	第4面・土坑34	木製品 杭	23.4	2.9	2.0	f.端部削り出し
35	2	第4面・土坑36	白かわらけ	口縁部片			a.手づくね b.微砂 粉質気味 精良 c.白やや肌色 e.良好 f.内湾気味 底部うすい
35	3	第4面・土坑36	瀬戸 壺	胴部片+耳			a.輪積み技法 b.灰色 微砂 精良 d.緑灰色 うすい 刷毛塗り e.良好 f.粘土の粘りじ わがのこる
35	4	第4面・土坑38	木製品 串状	(8.1)	1.3	0.6	f.先端が串状にとがる 貫通孔あり
35	5	第4面・土坑39	木製品 曲物	(18.0)	(24.0)	(1.0)	f.穴?1箇所あり 底板
35	6	第4面・ビット201	かわらけ	12.6	7.6	3.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	7	第4面・ビット206	かわらけ	11.6	7.2	3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 気味 良土 c.黄橙色 e.良好
35	8	第4面・ビット208	かわらけ	7.2	5.6	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
35	9	第4面・ビット209	かわらけ	(7.4)	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	10	第4面・ビット209	かわらけ	7.4	5.2	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗 土 c.橙色 e.良好 f.内外面剥離
35	11	第4面・ビット209	かわらけ	(13.8)	7.6	3.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
35	12	第4面・ビット213	石製品 硯	(5.2)	(5.0)	(0.5)	b.頁岩 c.黒灰色 f.文殊と菊?の陽刻 硯背部は欠損
35	13	第4面・ビット214	かわらけ	(7.4)	4.8	1.4	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂 質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
35	14	第4面・ビット214	かわらけ	12.6	7.8	3.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
35	15	第4面・ビット214	青磁 無文鉢	底部片			a.ロクロ b.微砂 黒色少ない 精良緻密 c.灰白色 d.緑灰色 不透明 厚い ツヤあり e.良好 f.高台置付~内底部軸掻き取り 露胎
35	16	第4面・ビット216	かわらけ	(7.6)	(5.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 気味 良土 c.橙色 e.良好
35	17	第4面・ビット216	かわらけ	7.2	5.4	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	18	第4面・ビット216	かわらけ	(11.0)	7.0	3.3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
35	19	第4面・ビット216	かわらけ	12.0	8.4	3.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好
35	20	第4面・ビット216	チャート	2.5	3.7	2.0	b.油石
35	21	第4面・ビット217	かわらけ	8.0	5.8	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好
35	22	第4面・ビット218	かわらけ	7.2	5.4	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	23	第4面・ビット219	褐釉 壺	胴部片			a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 c.灰黒色 e.硬質
35	24	第4面・ビット225	かわらけ	7.6	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂 質 良土 c.橙色 e.良好
35	25	第4面・ビット225	瀬戸 壺	胴部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 良土 c.灰白色 d.灰緑色 e.良好 f.釉薬剥離・三筋壺
35	26	第4面・ビット226	かわらけ	7.6	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
35	27	第4面・ビット227	白磁 口兀皿	—	(7.0)	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒少量 精良緻密 やや粘りあり d.不明 e.堅緻 f.残存部に釉 はない IX-2類か

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
35	28	第4面・ビット227	青白磁 水注	胴部片+耳			a.輪積み技法 b.白色 黒色粒少量 精良緻密 d.緑灰色 不透明 ツヤあり e.堅緻
35	29	第4面・ビット228	かわらけ	13.6	8.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好
35	30	第4面・ビット228	かわらけ	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好 f.内外面墨書あり
35	31	第4面・ビット229	常滑 片口鉢I類	口縁部片			a.輪積み技法 b.砂粒 黒色粒 長石 精良 c.灰色 e.硬質 f.5期末～6a期
35	32	第4面・ビット231	かわらけ	口縁部片			a.ロクロ b.微砂 赤色粒 白色粒 精良 c.肌色 なめらか e.良好 f.硬質な胎土 在地 のかわらけではない
35	33	第4面・ビット231	瓦器碗	口縁部片			a.ロクロ b.微砂 白色粒 やや粗土 c.白色 e.良好 f.内面に重ね焼きの跡
35	34	第4面・ビット231	石製品 砥石	(8.0)	2.0～3.3	1.5～1.8	b.頁岩 砂粒混じる c.白色 f.伊予産 中砥
35	35	第4面・ビット232	かわらけ	12.2	7.0	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	1	第4面・面上(1)	かわらけ	4.4	4.0	0.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙 色 e.良好 f.口唇部内折
36	2	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	5.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	3	第4面・面上(1)	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
36	4	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	(5.4)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	5	第4面・面上(1)	かわらけ	7.2	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙 色 e.良好
36	6	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	7	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	6.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 や やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	8	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.2	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	9	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.2	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	10	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナテの後側壁を回転ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	11	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(5.8)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	12	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良 土 c.黄橙色 e.良好
36	13	第4面・面上(1)	かわらけ	8.4	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外側面黒色に変色
36	14	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
36	15	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 や やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部一部油煤痕
36	16	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 小石粒 砂質 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
36	17	第4面・面上(1)	かわらけ	8.0	5.4	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	18	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.2	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	19	第4面・面上(1)	かわらけ	8.0	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	20	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好 f.口唇部薄く油煤痕
36	21	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部1ヶ所厚く油煤痕
36	22	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	23	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(5.6)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
36	24	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙 色 e.良好
36	25	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	(4.6)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	26	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	27	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
36	28	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.6)	(5.8)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.赤橙色 e.良好
36	29	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(5.0)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
36	30	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.0)	(4.6)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
36	31	第4面・面上(1)	かわらけ	7.2	4.6	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切り痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄 橙色 e.良好
36	32	第4面・面上(1)	かわらけ	7.0	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	33	第4面・面上(1)	かわらけ	6.8	4.2	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.器壁薄く内湾する
36	34	第4面・面上(1)	かわらけ	(10.6)	6.0	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
36	35	第4面・面上(1)	かわらけ	11.0	6.4	2.74	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	36	第4面・面上(1)	かわらけ	10.8	6.2	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	37	第4面・面上(1)	かわらけ	13.4	8.8	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	38	第4面・面上(1)	かわらけ	(11.8)	(8.0)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 小石粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	39	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	7.6	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 小石粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色
36	40	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	8.2	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
36	41	第4面・面上(1)	かわらけ	12.0	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粉質 砂質気味 やや粗土 良土 c.淡黄橙色 e.良好
36	42	第4面・面上(1)	かわらけ	(12.4)	7.6	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	43	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	7.8	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	44	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.0)	(7.2)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	45	第4面・面上(1)	かわらけ	12.4	7.2	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	46	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	7.0	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	47	第4面・面上(1)	かわらけ	(11.8)	7.6	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	48	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.0)	(6.4)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 白砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	49	第4面・面上(1)	かわらけ	(12.6)	(8.0)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
36	50	第4面・面上(1)	かわらけ	13.0	8.5	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	51	第4面・面上(1)	かわらけ	13.2	7.0	4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	52	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.0)	7.6	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質気味 良土 c.橙色 e.良好
36	53	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.4)	8.0	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	54	第4面・面上(1)	かわらけ	13.6	7.3	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	55	第4面・面上(1)	かわらけ	(12.4)	(7.4)	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	56	第4面・面上(1)	かわらけ	11.8	6.2	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	57	第4面・面上(1)	かわらけ	12.6	7.0	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	58	第4面・面上(1)	青磁 鎚蓮弁文碗	—	(5.0)	—	a.ロクロ 外底回転糸切 高台部・外底部露胎 b.微砂 黒色粒 精良緻密 c.灰色〜黄橙色 d.緑灰色 不透明 e.やや甘い f.釉ダレ強く蓮弁文がはっきりしない II b型式か 器形はII-cに似る
36	59	第4面・面上(1)	白磁 口元皿				口縁部片 a.ロクロ b.灰白色 少量黒色粒 精良緻密 d.緑灰色 不透明釉 e.堅緻 f.皿Ⅲc
36	60	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
36	61	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 c.灰黒色 e.硬質
36	62	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰黒色 e.硬質 f.内面輪積み痕・指頭痕
36	63	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
37	64	第4面・面上(2)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
37	65	第4面・面上(2)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
37	66	第4面・面上(2)	瀬戸 入子	3.2	2.0	0.74	a.ロクロ 内底ナデ b.微砂 白色粒 精良土 c.灰色 d.降灰釉 緑灰色 e.良好 f.外底に粘土片付着
37	67	第4面・面上(2)	常滑 甕				口縁部片 a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 長石 黒色粒多い d.降灰釉 緑灰色 e.良好 硬質 f.中野編年6a
37	68	第4面・面上(2)	土器質 火鉢				口縁部片 a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 精良 c.黄橙色 e.堅緻 f.I c類 外面口縁部下に二条の沈線
37	69	第4面・面上(2)	吉備系 土器碗				口縁部片 a.手づくね b.微砂 小石粒 砂質 良土 c.やや橙色の入る乳白色 e.良好
37	70	第4面・面上(2)	吉備系 土器碗				底部片 a.手づくね b.微砂 砂質 良土 c.うすい黄橙色 e.良好
37	71	第4面・面上(2)	滑石 鍋				口縁部片 a.ノミ状工具の削り加工 b.緑がかった乳白色 c.煤痕あり 黒灰色
37	72	第4面・面上(2)	石製品 硯	(13.5)	(5.0)	(1.6~2.9)	a.削り出し b.頁岩 やや粘性 c.黒灰色 f.鳴滝産系 海部欠損 海〜陸に波紋がでる 硯頭はやや狭まり上に上がる
37	73	第4面・面上(2)	鉄製品 釘	(3.5)	0.5	0.3	f.鍛造 断面四角形
37	74	第4面・面上(2)	鉄製品 製品不明	8.7	1.5	0.4	f.全体的に腐食・刀子か
37	75	第4面・面上(2)	銅銭	外径25.0mm 内径21.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.景祐元寶 北宋 初鑄1034年 篆書
37	76	第4面・面上(2)	木製品 杭	35.3	3.4	1.5	f.片端削り痕あり

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
37	77	第4面・面上(2)	木製品 建材	35.2	6.4～8.1	5.0～6.5	f.断面方形
37	78	第4面・面上(2)	木製品 用途不明	13.9	9.4	6.5	f.削り痕あり 端材 片端焼痕
37	79	第4面・面上(2)	木製品 用途不明	3.7	4.8	4.2	f.削り痕あり 端材
37	80	第4面・面上(2)	木製品 用途不明	(12.1)	0.8～1.1	0.4～0.7	f.縁を削った加工痕あり 両端が欠損 先端が曲がっている 端材
38	1	第4面・構成土(1)	かわらけ	4.4	3.0	0.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ
38	2	第4面・構成土(1)	かわらけ	5.0	4.0	0.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底中心を強くナデ b.微砂 粉質 精良 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ
38	3	第4面・構成土(1)	かわらけ	(5.2)	(4.0)	0.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ・口唇部油煤痕
38	4	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.0	4.6	1.3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
38	5	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	(5.2)	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
38	6	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	7	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	(5.2)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 や やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口縁部黒色に変色
38	8	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	6.2	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
38	9	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	6.0	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 c.黄橙色 e.良好
38	10	第4面・構成土(1)	かわらけ	8.0	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	11	第4面・構成土(1)	かわらけ	(8.2)	(6.2)	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
38	12	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(5.8)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.内外面黒色に変色
38	13	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.8	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部2か所に油煤痕
38	14	第4面・構成土(1)	かわらけ	8.2	5.0	2	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 やや粉質気 味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	15	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
38	16	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
38	17	第4面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	(5.6)	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
38	18	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.2	4.8	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
38	19	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.9)	(5.2)	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 や やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い
38	20	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.8	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好
38	21	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	6.0	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙 色 e.やや甘い
38	22	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.2	1.4	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗 土 c.橙色 e.良好
38	23	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	(5.4)	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好
38	24	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.口唇部2か所油煤痕
38	25	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 粉質気味 やや 粗土 c.橙色 e.良好
38	26	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
38	27	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 橙色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	28	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
38	29	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.口唇部・内面に油煤痕
38	30	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	31	第4面・構成土(1)	かわらけ	6.8	4.6	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良 土 c.黄橙色 e.良好 f.外底中心に円錐状の孔あり
38	32	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.黄橙 色 e.良好
38	33	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.0	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 橙色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
38	34	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.8	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.外面黒色に変色
38	35	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	4.4	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好
38	36	第4面・構成土(1)	かわらけ	(8.5)	(4.6)	2.1	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	37	第4面・構成土(1)	かわらけ	(6.4)	(5.8)	2.2	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.内外面ともに黒色に変色
38	38	第4面・構成土(1)	かわらけ	11.0	6.3	3.3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 混じりもの少なく粉質精良 c.黄 橙色 e.良好 f.白色を呈するが白かわらけではない 薄手の器壁を持つ

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
38	39	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.2)	(7.0)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	40	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.0)	(7.5)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	41	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.2)	8.0	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面・内側面一部と口唇部に油煤痕
38	42	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.4)	(9.0)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多い 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩 粒 粗土 c.淡橙色 e.良好
38	43	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.0)	(7.0)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	44	第4面・構成土(1)	かわらけ	12.8	8.2	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	45	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.6)	(7.4)	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 橙色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	46	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	47	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.橙色 e.良好
38	48	第4面・構成土(1)	かわらけ	12.6	8.6	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	49	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(7.6)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い f.外面全体が黒色に変色
38	50	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.4)	(8.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗 土 c.黄橙色 e.やや良好
38	51	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.2)	7.8	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良 土 c.黄橙色 e.やや甘い
38	52	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	8.0	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 や や粗土 c.橙色 e.良好
38	53	第4面・構成土(1)	かわらけ	12.6	7.4	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 粗土 c.淡黄橙色 e.良好
38	54	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
38	55	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.8)	(7.4)	3.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 混じりもの少なく粉質精良 c.黄 橙色 e.良好 f.白色を呈するが白かわらけではない 宇津宮辻子近辺の中世地山の上層 から出るタイプに似る
38	56	第4面・構成土(1)	かわらけ				a.ロクロ b.微砂 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面に墨書 判読不明
38	57	第4面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.5)	(7.5)	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 ～黄褐色(ムラ) e.良好
38	58	第4面・構成土(1)	かわらけ	(10.5)	(6.4)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕不明瞭 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 長石 良土 c.淡黄色 e.良好 硬質 f.薄手の器壁を持ち硬質な胎土 在地のかわらけにはないタイプ
38	59	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.暗灰色 精良 気孔あり d.緑褐色釉 半透明 ツヤあり やや厚い e.良好 f.碗II-b 竜泉窯
38	60	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰白色 精良緻密 d.緑灰色釉 やや厚い e.堅緻 f.II-b 竜泉窯
38	61	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰色 微砂 黒色粒 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 やや薄い e.堅緻 f.碗II -b類 竜泉窯
38	62	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰色 微砂 黒色粒 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 やや薄い e.堅緻 f.碗II -b類 竜泉窯
38	63	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰色 微砂 黒色粒 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 やや厚い e.堅緻 f.碗II -b類 外底見込は暗灰色 竜泉窯
38	64	第4面・構成土(1)	青磁 碗				a.ロクロ b.暗灰色 黒色粒 精良 d.青緑色 半透明 ツヤあり e.良好 f.外面うすく連 弁文碗II-b～e 竜泉窯
38	65	第4面・構成土(1)	青磁 皿	(10.8)	(6.0)	2.5	a.ロクロ b.灰色 精良 気孔あり d.黄緑透明釉 ツヤあり うすい e.良好 f.皿I-2b 全 体に釉がけのあと底部の釉をかきとる 同安窯系
38	66	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢	(6.4)	—	—	a.ロクロ b.暗灰色 精良 気孔あり d.緑灰色 不透明 ツヤなく濁る 厚い e.良好 f.环 III-1 竜泉窯
38	67	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢				a.ロクロ b.橙色～黄褐色 微砂 精良緻密 d.灰緑色 不透明釉が霜降り様 e.やや甘い (胎土が赤褐色) f.环III-1類 竜泉窯
38	68	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢				a.ロクロ b.灰色 微砂 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 施釉厚い e.堅緻 f.环III-1類 竜泉窯
38	69	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢				a.ロクロ b.暗灰色 黒色粒 精良 気孔あり d.青緑色 半透明 ツヤあり 厚い e.良好 f.量付け露胎 环III-1 竜泉窯
38	70	第4面・構成土(1)	青磁 鉢				a.ロクロ b.暗白色 黒色粒 精良 d.青緑色 半透明 ツヤあり 厚い e.良好 f.量付け露 胎 竜泉窯
38	71	第4面・構成土(1)	青磁 香炉				a.ロクロ b.茶灰色 黄土色粒 精良 d.米色釉 半透明 ツヤあり 厚い e.良好 f.貼付珠 文 外側の釉が厚い 竜泉窯
38	72	第4面・構成土(1)	青白磁 梅瓶	径4.8	—	3.4	a.型打ち整形? b.白色 精良 d.緑色がかった不透明釉 白濁している e.良好 f.内面 にロクロ回転跡がのこる 釉のカギとったあと 橙色 内面～外面下部露胎 f.景德鎮
38	73	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿	(9.4)	—	—	a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.水色がかかる透明釉 うすい 口縁部釉を削る e.堅緻 f.皿 IX-2類
38	74	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.水色がかかる透明釉 e.堅緻 f.皿IX-1
38	75	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良 d.透明釉 うすい e.良好 f.口縁外反しやや大きめ IX-1c
38	76	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.水色がかかる透明釉 うすい 口縁部釉を削る e.堅緻 f.皿 IX類
39	77	第4面・構成土(2)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良緻密 d.灰色がかかる乳白色釉 不透明 やや厚い e.堅緻 f.IX-1類
38	78	第4面・構成土(1)	白磁 皿				a.ロクロ b.白色 精良 d.透明釉 うすい e.良好 f.内面渦文と蓮弁文の型押 器厚薄い
38	79	第4面・構成土(1)	白磁 碗				a.ロクロ b.灰白色 精良緻密 d.灰白色 透明 薄手施釉 口縁頂部露胎 f.外面に雷文と 唐草文?の模様
39	80	第4面・構成土(2)	白磁 皿				a.ロクロ b.白色 精良 d.透明釉 うすい e.良好 f.内面蓮弁の型押 器厚薄い

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
39	81	第4面・構成土(2)	白磁皿	底部片			a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.透明釉 うすい e.良好 f.皿Xb類 内面型文(草唐草文)
39	82	第4面・構成土(2)	白磁碗	胴部片			a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.透明釉 うすい e.良好 f.碗X-1bもしくはX-2b 内面型文(草唐草文)
39	83	第4面・構成土(2)	白磁皿	底部片			a.ロクロ b.灰白色 微砂 微黒色粒子 精良緻密 d.緑灰色 半透明 e.堅緻 f.皿X-3 高台〜外底露胎
39	84	第4面・構成土(2)	白磁合子	3.6	2.4	1.7	b.白色 精良堅緻 d.白色半透明 やや薄く施釉 外底部露胎 e.堅緻 f.外底真中に漆と思われる黒い凝結物質付着 修理痕か 外面蓮弁文 器形歪みあり
39	85	第4面・構成土(2)	白磁香炉	口縁部片			a.ロクロ b.白色 砂多 精良 d.灰緑色 半透明 うすい e.良好 f.内外貫入あり 外面文殊貼り付け・筒型
39	86	第4面・構成土(2)	青白磁香炉	口縁部片			a.ロクロ b.白色 黒色粒 d.緑色がかった半透明釉 e.良好 f.景德鎮・筒型
39	87	第4面・構成土(2)	青白磁器種不明	胴部片			a.型打ち整形 b.白色 黒色粒 精良 気孔あり d.緑色がかった半透明釉や厚くツヤがある e.良好 f.景德鎮
39	88	第4面・構成土(2)	褐釉香炉	底部+脚部			a.ロクロ 貼り高台 b.うすい黄橙色 微砂 白色粒 精良緻密 d.茶褐色釉 不透明 e.堅緻 f.胴部が中心円縁の模様 獣面かもしれない脚 胎土が瀬戸製品と若干印象が異なる・舶載品の可能性もあり
39	89	第4面・構成土(2)	瀬戸四耳壺	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 微砂 黒色粒 精良 d.緑黄色 e.良好
39	90	第4面・構成土(2)	瀬戸入子	(3.8)	(2.4)	1.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.微砂 白色粒 精良 d.降灰釉 灰緑色 e.良好 f.重ね焼きの跡あり
39	91	第4面・構成土(2)	常滑甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 胎芯黄土色 微砂 白色粒 精良 c.暗赤褐色 d.降灰釉 黄白色 e.焼き締まるが胎芯は甘い f.6a期
39	92	第4面・構成土(2)	常滑甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 精良 c.灰色 d.降灰釉 やや緑がかかる黒灰釉 e.堅緻 f.6a〜6b期
39	93	第4面・構成土(2)	常滑鳶口壺	胴部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 砂多 精良 c.暗褐色 e.焼き締まる f.肩に沈線がめぐる砂底
39	94	第4面・構成土(2)	常滑鳶口壺	底部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 精良 c.灰色 d.降灰釉 茶褐色 e.堅緻 f.内面に煤の塊り付着 砂底
39	95	第4面・構成土(2)	常滑鳶口壺	—	(12.0)	—	a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 黒色粒 c.黒灰色 e.焼き締まる f.内面に煤溜まる 砂底
39	96	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石粒多 ガサつく c.灰色 e.良好 f.内面磨減
39	97	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	胴部片			a.輪積み技法 外面回転ヘラ削り b.砂 白色粒 黒色粒 c.灰色 e.良好 f.内底面磨減強い 外底にタール状の付着物あり
39	98	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	胴部片			a.輪積み技法 外面回転ヘラ削り b.砂 白色粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 バサつく c.灰色 e.良好 f.内底面磨減強い
39	99	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	—	(14.0)	—	a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石粒多 ガサつく c.灰色 e.良好 f.胴部に丸味 6aか? 内面磨減
39	100	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石 c.褐色 e.焼き締まりやや弱い f.5期〜6a期
39	101	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 微砂 白色粒多 やや精良 c.暗赤褐色 d.降灰釉 黄白色 e.焼き締まる f.6a
39	102	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石 c.赤褐色 e.焼き締まる
39	103	第4面・構成土(2)	尾張型片口鉢	—	(13.0)	—	a.輪積み技法 外面回転ヘラ削り b.微砂 白色粒 黒色粒 精良 c.灰白色 e.焼き締まる f.6型式? 内面に煤付着
39	104	第4面・構成土(2)	瓦器質火鉢	銅〜底部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 瓦器質 c.暗灰色〜黒(火を受けた?) e.固く焼き締まる f.瓦に似た素地 内面下炭化 鉢型Ⅰ類 砂底 外面櫛状工具ナデ
39	105	第4面・構成土(2)	土器質火鉢	胴部片			a.輪積み技法 帯貼り付け b.砂 赤色粒 黒色粒 小石粒 土器質 c.橙色 e.良好 f.二次的に火を受けている 漆喰で塗られているようなあとが残る 外面口縁部近くに二本の凸線、底部近くに一本の凸線が廻る
39	106	第4面・構成土(2)	瀬戸内系土器	(12.3)	(6.7)	2.7	a.外底部糸切痕 高台部貼付 b.灰白色 白色粒 小石粒やや多め 良土 c.黄味灰白色 e.硬質
39	107	第4面・構成土(2)	かわらけ質円盤	径5.0	—	1.3	a.手づくね? b.微砂 雲母 海綿骨針 c.黄褐色 e.良好 f.裏面に切り印らしきものあり 中心を通る 中心部ややへこむ
39	108	第4面・構成土(2)	滑石鍋	口縁部片			c.銀灰色 f.内面磨減 鋳〜外面に加工痕あり
39	109	第4面・構成土(2)	滑石鍋	口縁部片			a.削り出し b.やや黄味がかかる白真珠光沢 f.外面に煤付着
39	110	第4面・構成土(2)	石製品砥石	(6.0)	(4.2)	(3.7)	b.凝灰岩 c.砥面-黒灰色 他-灰色 f.天草産 砥面2面 黒点があり砥面が砥汁で黒くなっている 中砥
39	111	第4面・構成土(2)	石製品砥石	(9.5)	3.3	0.8〜1.0	b.頁岩 c.灰色 f.砥面3面 鳴滝産 側面に切り出し痕 規格幅 仕上げ砥
39	112	第4面・構成土(2)	石製品砥石	(7.0)	(4.3)	0.6〜1.2	b.頁岩 c.灰色 f.砥面2面 鳴滝産 側面に切り出し痕 規格幅より幅広なので原材料搬入して加工 仕上げ砥
39	113	第4面・構成土(2)	貝製品碁石	2.0	1.5	0.3	b.貝製 c.乳白色 f.正円ではないが全体的に丸味
39	114	第4面・構成土(2)	石製品碁石	2.2	1.7	0.6	b.石英 c.白色半透明 f.正円ではないが全体的に丸味
39	115	第4面・構成土(2)	石製品碁石	径1.6	—	0.2	c.黒色
39	116	第4面・構成土(2)	石製品碁石	径1.4	—	0.2	c.黒色
40	117	第4面・構成土(3)	鉄製品釘	14.2	0.3〜0.7	0.3〜0.8	f.鍛造 断面四角形
40	118	第4面・構成土(3)	鉄製品環状金具	6.5	0.2〜0.4	0.5	f.鍵
40	119	第4面・構成土(3)	銅銭	外径23.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ0.5mm			f.開元通寶 南唐 初鑄960年 篆書
40	120	第4面・構成土(3)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.天禧通寶 北宋 初鑄1017年 真書
41	121	第4面・構成土(4)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.1mm			f.天禧通寶 北宋 初鑄1018年 真書

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
40	122	第4面・構成土(3)	銅銭	外径25.0mm 内径21.0mm 孔幅6.0~7.0mm 厚さ0.5mm			f.皇宋通寶 北宋 初鑄1038年 真書
40	123	第4面・構成土(3)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅7.0mm 厚さ1.0mm			f.至和元寶 北宋 初鑄1054年 真書
40	124	第4面・構成土(3)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.紹定通寶 南宋 初鑄1228年 背元
40	125	第4面・構成土(3)	骨製品 筭	(9.3)	1.5	0.2	
40	126	第4面・構成土(3)	ガラス	2.0	2.2	0.1	b.不透明ガラス c.ターコイズブルー
40	127	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	7.5	-1.3	f.輪高台 高台断面形は三角形を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内外面赤色漆で波・不明 文様 手描き
40	128	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	6.3	—	f.輪高台 高台形断面は四角を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で子持ち帯で二 分割した両側に州浜文 外面州浜文 手描き
40	129	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	7.2	—	f.輪高台 高台形断面は四角形を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内外面赤色漆で花文 印 判施文による漆絵だが非常に雑 印判の原体が崩れている印象
40	130	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	胴部片			f.内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で巴文 印判施文 外面文様不明
40	131	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	胴部片			f.内外面黒色系漆を髹漆 内外面赤色漆で菊花文 印判施文 内面の花卉数18弁 外面の花卉 数16弁
40	132	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	(7.6)	—	f.輪高台 高台断面形は三角形を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で情景文(波・ 草) 外面(波) 手描き
40	133	第4面・構成土(3)	木製品 漆器皿	—	(6.0)	—	f.輪高台 高台断面形は三角形を呈する 内面赤色漆を髹漆 外面黒色系漆を髹漆 内外面無 文
40	134	第4面・構成土(3)	木製品 漆器皿	底部片			f.内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で篋文 手描き 外面文様不明
40	135	第4面・構成土(3)	木製品 漆器皿	9.6	6.8	1.6	f.無高台 内外面共に黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で情景文(水・笹・花・葦・千鳥) 外面(水・ 笹・千鳥) 手描き
40	136	第4面・構成土(3)	木製品 折敷	(13.8)	(1.8)	0.1	f.紐通し孔あり
41	137	第4面・構成土(4)	木製品 箸	23.7	0.5	0.5	
41	138	第4面・構成土(4)	木製品 箸	22.2	0.8	0.5	
41	139	第4面・構成土(4)	木製品 箸	20.5	0.5	0.6	
41	140	第4面・構成土(4)	木製品 箸	20.7	0.5	0.2	
41	141	第4面・構成土(4)	木製品 箸	19.6	0.4	0.4	
41	142	第4面・構成土(4)	木製品 箸	20.0	0.7	0.5	
41	143	第4面・構成土(4)	木製品 箸	19.7	0.7	0.5	
41	144	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(19.2)	0.5	0.4	
41	145	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(15.7)	0.6	0.5	
41	146	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(15.7)	0.6	0.2	
41	147	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(15.1)	0.5	0.4	
41	148	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.9)	0.7	0.3	
41	149	第4面・構成土(4)	木製品 箸	14.6	0.6	0.3	
41	150	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.3)	0.5	0.3	
41	151	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.2)	0.5	0.3	
41	152	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.7)	0.4	0.2	
41	153	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.3)	0.7	0.4	
41	154	第4面・構成土(4)	木製品 箸	13.7	0.7	0.6	
41	155	第4面・構成土(4)	木製品 取手	14.0	3.8	2.5	f.貫通した釘穴2箇所あり 鍋蓋の取っ手か
41	156	第4面・構成土(4)	木製品 曲物	径10.6	—	0.6	f.孔?あり(欠損かも) 曲げ物底板
41	157	第4面・構成土(4)	木製品 下駄	(13.0)	(4.2)	(0.8)	f.上下不明 歯の幅3.7cm 連歯
41	158	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	24.7	5.6	0.3	f.側縁部山型 端部直線的 切り取り部は長方形に切りこまれる
41	159	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(13.9)	(4.8)	0.2~0.4	f.板目材を使用
41	160	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(8.0)	(2.3)	0.2	
41	161	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(21.5)	(5.4)	0.3	f.側縁部山型 端部直線的 切り取り部の形不明
41	162	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(6.8)	(1.9)	0.3~0.5	f.板目材を使用 厚みがあり裏目は摩耗 表面に藁や菌草痕
41	163	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(12.7)	(2.7)	0.2~0.3	f.板目材を使用

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
41	164	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(12.6)	(1.8)	0.3	f.板目材を使用 厚みがあり裏面は摩耗 表面に藁や蘭草痕
41	165	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(9.2)	(2.8)	0.2	
41	166	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	20.2	1.0	0.7	
41	167	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	16.8	1.0	0.7	
41	168	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(15.8)	0.7	0.8	
41	169	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(14.6)	1.0	0.8	
41	170	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	13.6	1.1	0.6	
41	171	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(12.6)	0.8	0.8	
41	172	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(11.4)	0.5	0.5	
41	173	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(8.5)	1.1	0.8	
41	174	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	10.8	0.6	0.5	
41	175	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	10.9	0.7	0.8	f.籌木か
41	176	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(11.5)	0.9	0.7	f.端部焼痕
41	177	第4面・構成土(4)	木製品 串状	20.7	1.1	0.7	
41	178	第4面・構成土(4)	木製品 串状	17.0	0.8	0.4	
41	179	第4面・構成土(4)	木製品 串状	16.2	1.0	0.8	
41	180	第4面・構成土(4)	木製品 串状	(15.5)	1.2	0.5	
41	181	第4面・構成土(4)	木製品 串状	(11.4)	1.2	0.6	
41	182	第4面・構成土(4)	木製品 串状	13.0	1.0	1.0	
42	183	第4面・構成土(5)	木製品 串状	(34.4)	0.8~1.1	0.7	
42	184	第4面・構成土(5)	木製品 串状	(30.5)	0.3~0.6	0.4	f.端部が炭化している
42	185	第4面・構成土(5)	木製品 串状	(22.2)	0.5~0.7	0.3~0.5	
42	186	第4面・構成土(5)	木製品 篋状	19.2	1.1	0.6	f.端部に煤付着 火付棒か?
42	187	第4面・構成土(5)	木製品 篋状	(13.3)	1.3	0.6	
42	188	第4面・構成土(5)	木製品 建材	(27.2)	4.8	2.2	f.先端部に加工痕あり
42	189	第4面・構成土(5)	木製品 建材	(12.5)	7.5	3.3	f.加工痕
42	190	第4面・構成土(5)	木製品 建材	15.3	5.3	1.4~1.9	f.建材か?縁が加工され、何かに打ちつけられた様子 斜めに打たれた釘(頭0.4先0.4~0.5cm)が1箇所残る
42	191	第4面・構成土(5)	木製品 建材	23.0	2.3	1.4~2.0	f.建材だったものを転用したものか? 角材(薄い)を対角線半分にして先端を刃物で削った様子がうかがえる 釘(長5.4幅0.7厚0.3cm)が刺さっているが用途不明
42	192	第4面・構成土(5)	木製品 建材	11.6	3.6	2.2	f.加工痕 釘が3箇所刺さっているが貫通していないため長さ不明
42	193	第4面・構成土(5)	木製品 杭	(25.5)	1.5~2.5	1.2~1.4	f.端部削り痕
42	194	第4面・構成土(5)	木製品 杭	(14.3)	0.9~2.3	1.7~2.2	f.片端削り痕
42	195	第4面・構成土(5)	木製品 杭	(15.7)	0.5~4.0	1.3~1.4	f.先端削り痕
42	196	第4面・構成土(5)	木製品 杭	31.3	1.7~2.2	1.4~2.20	f.端部削り痕 5つの釘穴がある(内2つは釘がささっているが、貫通していない。他3つは貫通している) 建材の転用か
42	197	第4面・構成土(5)	木製品 礎板	23.3	7.8	2.7	f.切断痕
42	198	第4面・構成土(5)	木製品 部材	(28.0)	3.1	2.2	f.釘穴(φ0.5cm)あり ホゾ(幅1.0深さ0.5cm)あり
43	199	第4面・構成土(6)	木製品 部材	29.8	2.3	(0.1)	f.のこぎり痕あり
43	200	第4面・構成土(6)	木製品 部材	24.6	6.3	2.0	f.刃物痕あり 鉄釘のこる 焼痕
43	201	第4面・構成土(6)	木製品 部材	12.7	3.8	0.7	
43	202	第4面・構成土(6)	木製品 端材	8.3	6.6	3.5	f.端部が削られている焼けている
43	203	第4面・構成土(6)	木製品 端材	7.8	5.6	2.3	
43	204	第4面・構成土(6)	木製品 端材	4.5	5.7	1.5	
43	205	第4面・構成土(6)	木製品 端材	2.7	5.2	3.2	

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
43	206	第4面・構成土(6)	木製品 端材	5.0	3.7	1.3	
43	207	第4面・構成土(6)	木製品 端材	7.4	4.5	2.2	
43	208	第4面・構成土(6)	木製品 端材	12.4	(3.2)	0.3	f.加工痕
43	209	第4面・構成土(6)	木製品 端材	6.1	4.0	0.3	f.斜めに切断されている
43	210	第4面・構成土(6)	木製品 刀子の柄	12.0	2.3	0.7	呑込式
43	211	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(15.7)	2.5	1.8	f.両端部削り痕
43	212	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(12.3)	1.0~2.7	1.3~1.6	f.片端削り痕
43	213	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(16.9)	4.0	0.7	f.刃物痕多い曲げ物の底か?
43	214	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	15.4	3.4	0.8	
43	215	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	9.9	6.5	0.7	f.曲物底板か
43	216	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	11.7	1.1	1.0	f.端部が削られている
43	217	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(9.4)	1.5	0.5~0.7	f.先端に木釘が残っている
43	218	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(11.5)	(5.8)	0.6	f.裏面に刃物痕あり
43	219	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	7.7	2.6	1.0	f.両側面に切り込みあり
43	220	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(11.0)	2.3	0.2	f.穿孔あり 釘孔か
43	221	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(17.7)	1.5	1.2	f.一部炭化 棒状
43	222	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(14.6)	0.5	0.5	
43	223	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(12.1)	0.6	0.4	
43	224	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(10.2)	0.5	0.4	
43	225	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	24.5	9.5	1.5	f.端材
44	226	第4面・構成土(7)	木製品 用途不明	27.1	8.7	3.2	f.刃物痕あり
44	227	第4面・構成土(7)	木製品 用途不明	21.9	5.1	0.3~0.6	f.切断痕あり 部材
44	228	第4面・構成土(7)	木製品 用途不明	7.5	(2.7)	0.5	f.端部が削られている
46	1	第5面・井戸1	かわらけ	(8.8)	6.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 c.黄灰色 e.やや甘い
46	2	第5面・井戸1	かわらけ	8.4	6.4	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	3	第5面・井戸1	かわらけ	8.8	7.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	4	第5面・井戸1	かわらけ	8.4	6.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.口唇部約1/3に油煤痕
46	5	第5面・井戸1	かわらけ	(8.8)	(6.8)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 c.黄灰色 e.やや甘い
46	6	第5面・井戸1	かわらけ	(9.4)	6.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.器形の歪み激しい
46	7	第5面・井戸1	かわらけ	8.8	6.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナテの後見込みを回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
46	8	第5面・井戸1	かわらけ	8.8	7.2	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.内外面黒色に変色
46	9	第5面・井戸1	かわらけ	8.2	6.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内面に黒色の付着物 漆か
46	10	第5面・井戸1	かわらけ	8.4	6.4	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 c.黄灰色 e.やや甘い
46	11	第5面・井戸1	かわらけ	(8.6)	(6.2)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 やや粉質 良土 c.黄灰色 e.甘い f.内底に貫通孔(0.5cm)あり 欠損した貫通孔あり
46	12	第5面・井戸1	かわらけ	(8.8)	(6.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	13	第5面・井戸1	かわらけ	13.0	8.2	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好
46	14	第5面・井戸1	かわらけ	12.6	8.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.内面黒色に変色
46	15	第5面・井戸1	かわらけ	(13.8)	9.2	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好
46	16	第5面・井戸1	かわらけ	(13.0)	9.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	17	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.0	7.3	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 海綿骨針 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
46	18	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.6	7.4	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 粗土 c.黄灰色 e.良好
46	19	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.0	7.7	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部2か所に油煤痕

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
46	20	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(9.6)	(8.0)	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
46	21	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.4	8.1	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.や や甘い
46	22	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(9.4)	(7.9)	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
46	23	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.2	8.1	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 やや粗土 c.黄 灰色 e.やや甘い
46	24	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.8	7.4	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好
46	25	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.6	7.0	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
46	26	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(9.4)	8.0	2.1	za.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや 甘い
46	27	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.6	7.8	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 見込みナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘 い
46	28	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.4	7.4	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	29	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.8	7.2	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘 い
46	30	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.2	7.7	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好
46	31	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(13.8)	11.2	2.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内底木へら状のナデ?
46	32	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.2	12.0	2.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面黒色に変色 口唇部油煤痕
46	33	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.8	11.6	2.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
46	34	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.8	9.9	3	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	35	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.0	11.0	3.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外底中心押し
46	36	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.8	11.2	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.底部にスノコ痕
46	37	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.2	11.2	3.3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い f.底部にスノコ痕
46	38	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.6	11.0	3.4	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.底部にスノコ痕
46	39	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(13.0)	(10.6)	2.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.底部にスノコ痕
46	40	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	14.0	11.5	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面1/2が黒色に変色・底部にスノコ痕
46	41	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.4	11.4	3.3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 灰色 e.やや甘い
46	42	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.2	12.1	3.3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.内 外面1/2に油煤痕
46	43	第5面・井戸1	手づくね 白かわらけ				a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 c.灰白色 e.やや甘い f.内外面黒 色に変色
46	44	第5面・井戸1	白磁 皿				a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 d.灰緑色 半透明 やや薄い e.良好 f.VIII-2
46	45	第5面・井戸1	常滑 蓋口壺				a.輪積み技法 b.黒褐色 砂粒 白色粒 d.灰緑色の降灰釉 e.良好 f.外面に沈線あり
46	46	第5面・井戸1	常滑 甕				a.輪積み技法 b.黄灰色 砂粒 白色粒 c.明茶褐色(外) 黒褐色(内) e.良好 f.押印あ り
46	47	第5面・井戸1	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 外面下部へら削り b.黄灰色 砂粒 白色粒 c.黄橙色 e.良好 f.砂底 内 面磨減
46	48	第5面・井戸1	かわらけ 加工品	径7.2	—	0.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ強い b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.円盤状に加工
46	49	第5面・井戸1	木製品 用途不明	13.9	1.6	1.0	f.木口に方形(0.5cm)の茎孔あり 錐柄か
46	50	第5面・ピット241	かわらけ	12.0	8.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙 色 e.良好
46	51	第5面・ピット241	木製品 草履芯	9.4	2.8~4.3	0.1~0.3	f.指の跡あり 板目を加工 板のまわりを削って縁を整えてある 鼻緒の一部が欠損してい る
47	1	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 や や粗土 c.黄灰色 e.良好 f.内面・外側面が黒色に変色
47	2	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	6.0	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
47	3	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナテの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂 質 やや良土 c.黄橙色 e.良好
47	4	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.4	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
47	5	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.やや甘い
47	6	第5面・溝3(1)	かわらけ	(8.0)	(5.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良 好 f.内底面に墨書 判読不能
47	7	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 や や粗土 c.黄橙色 e.やや甘い
47	8	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.4	5.2	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
47	9	第5面・溝3(1)	かわらけ	(10.6)	6.0	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 粉質 良土 c.黄 橙色 e.良好
47	10	第5面・溝3(1)	かわらけ	(13.8)	8.2	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面・内面一部が黒色に変色

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
47	11	第5面・溝3(1)	かわらけ	(12.6)	7.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
47	12	第5面・溝3(1)	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	15.0	—	a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 黒色粒 ガサつく 精良 c.灰白色 e.良好 f.6a? 内面磨減
47	13	第5面・溝3(1)	木製品 折敷	(10.7)	(1.8)	(0.1)	
47	14	第5面・溝3(1)	木製品 曲物	径2.5	—	0.2~0.3	f.小型の曲物 祭祀用か
47	15	第5面・溝3(1)	木製品 棒状	(11.8)	0.5	0.7	f.籌木か
47	16	第5面・溝3(1)	木製品 棒状	(13.5)	1.0	0.7	
47	17	第5面・溝3(1)	木製品 用途不明	(11.3)	2.0	0.2~0.3	f.細い刃物痕が多数あり 筆架か
47	18	第5面・溝3(1)	木製品 用途不明	(24.0)	10.0	1.5	f.貫通孔あり
47	19	第5面・溝3(1)	木製品 杭	(25.5)	2.8	2.0	f.片端削り痕
47	20	第5面・溝3(1)	木製品 杭	(23.5)	2.5	2.4	f.煤痕あり
47	21	第5面・溝3(1)	木製品 杭	(27.4)	5.0	1.5	f.片端削り痕
48	22	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(29.7)	3.2	1.0	f.片端削り痕
48	23	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(27.6)	3.4	3.5	f.片端削り痕
48	24	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(43.8)	2.6	2.0	f.片端削り痕
48	25	第5面・溝3(2)	木製品 杭	41.8	4.4	2.6	f.片端削り痕
48	26	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(46.4)	6.3	2.2	f.片端削り痕
48	27	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(51.5)	4.7	2.2	f.片端削り痕
48	28	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(57.4)	6.6	2.3	f.片端削り痕
49	1	第5面・ビット238	木製品 用途不明	(10.4)	0.7	0.6	
49	2	第5面・ビット238	木製品 棒状	(13.4)	0.7	0.3	
49	3	第5面・ビット250	木製品 草履芯	14.8	2.9	0.4	
49	4	第5面・ビット266	木製品 部材	16.5	(5.0)	2.5	f.礎板
50	1	第5面・ビット263	木製品 箸	(15.5)	0.6	0.4	f.全体が焼けている
50	2	第5面・ビット263	木製品 用途不明	13.3	0.7	0.4	f.全体が焼けている
50	3	第5面・ビット264	褐釉 壺	11.3	—	—	a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.灰黒色 e.硬質 f.火熱を受けたため内外面剥離痕
50	4	第5面・ビット265	木製品 串状	29.0	1.3	1.0	f.断面方形 片端削り出し
50	5	第5面・ビット281	骨製品 遊具	径1.8	—	0.5	f.駒 丁寧な造り
50	6	第5面・ビット283	木製品 棒状	(11.5)	(1.0)	0.8	
50	7	第5面・ビット291	木製品 折敷	30.2	(2.7)	0.3	
50	8	第5面・ビット292	木製品 杭	(25.8)	3.2	2.5	f.断面方形 片端削り出し
51	1	第5面・面上	かわらけ	(8.2)	(6.0)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.内外面口唇部から側面にかけて油煤痕
51	2	第5面・面上	かわらけ	7.2	5.0	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
51	3	第5面・面上	かわらけ	(7.6)	(5.0)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	4	第5面・面上	手づくねかわらけ	9.2	7.0	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
51	5	第5面・面上	手づくねかわらけ	底部片			a.手づくね 外底指頭痕あまり強くない b.微砂 雲母 粉質気味 良土 c.橙色~黄橙色 e.良好 外底面に墨書 判読不能
51	6	第5面・面上	滑石鍋 転用品	(5.0)	(5.0)	(2.2)	a.ノミ状の物で削って摘み状の凸がある f.西彼杵産
51	7	第5面・面上	鉄製品 釘	(6.0)	0.3	0.2	f.鍛造 断面四角形
51	8	第5面・面上	木製品 箸状	(19.5)	0.5	0.3	
51	9	第5面・面上	木製品 箸状	(12.6)	0.6	0.5	
51	10	第5面・面上	木製品 箸状	(11.8)	0.4	0.4	
51	11	第5面・面上	木製品 杭	(18.0)	2.4	0.5~0.7	f.端部削り痕
51	12	第5面・面上	木製品 用途不明	(13.7)	4.6	(0.9)	

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
51	13	第5面・面上	木製品 用途不明	(16.8)	1.5	1.4	f.表面が炭化している
51	14	第5面・面上	木製品 用途不明	(14.5)	0.6～0.9	0.3	
51	15	第5面・面上	木製品 用途不明	(11.2)	0.9	0.4	f.端部が炭化している
51	16	第5面・面上	木製品 用途不明	(9.7)	2.2	0.4	f.端材
51	17	第5面・面上	木製品 用途不明	(17.2)	2.3	0.2～0.4	f.片端削り痕
51	18	第5面・面上	木製品 用途不明	(21.8)	2.5	0.5	f.貫通する穴が3箇所あり 裏面欠損
51	19	第5面・構成土(1)	かわらけ	(10.9)	(7.8)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 やや粗土 c.外面:橙色 内面:淡橙色 e.良好 12世紀末から13世紀初頭
51	20	第5面・構成土(1)	かわらけ	(8.1)	(5.5)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕不明瞭 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色 粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
51	21	第5面・構成土(1)	かわらけ	8.8	6.0	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉 質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	22	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	—	—	1.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ 内底薄く黒色に変色
51	23	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.0)	7.4	1.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底強くナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	24	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.0)	(8.4)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨針 粉質気味 良土 c.橙色 e.良 好
51	25	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.1)	(8.8)	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	26	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	9.3	8.4	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙 色 e.良好 f.タール状の煤付着 風化が激しく器表剥離
51	27	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.1	8.6	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.や や甘い f.煤付着 風化が激しく器表はがれている
51	28	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.8)	(8.8)	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
51	29	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.0)	(7.7)	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	30	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.4	8.3	2.4	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	31	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.6)	(10.0)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	32	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	9.3	7.4	2.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
51	33	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.4)	(7.4)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	34	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(13.2)	(12.2)	2.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好 f.内面油煤痕
51	35	第5面・構成土(1)	青磁 碗	口縁部片			a.ロクロ b.暗灰色 白色粒混じる精良土 d.濁った緑灰色 不透明 e.良好 f.内外無文 か碗 I-1 竜泉窯
51	36	第5面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.緑黄灰色透明薄手施釉 f.同安窯系
51	37	第5面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	胴部片			a.ロクロ b.精良 c.灰色 d.緑灰釉 半透明 うすい e.良好 f.碗Ⅱ類 外面無文 竜泉窯
51	38	第5面・構成土(1)	青磁 碗	底部片			a.ロクロ b.灰色 白色粒少し混じる 精良 d.濁った緑灰釉 不透明 e.良好 f.二次的 に火を受け釉変している 碗 I-1 高台露胎一部釉ダレあり 竜泉窯
51	39	第5面・構成土(1)	白磁 口元皿	—	(6.0)	—	a.ロクロ b.精良 c.白色 d.緑灰色 半透明 うすい e.良好 f.底部露胎一部釉タレあり
51	40	第5面・構成土(1)	白磁 壺	底部片			a.輪積み技法 b.灰白色 黒色粒 精良 d.灰緑色 半透明 やや厚い e.良好 f.壺Ⅲ-2小 高台露胎・四耳壺
51	41	第5面・構成土(1)	青白磁 合子	—	—	1.5	b.灰白色 精良堅緻 d.灰白色 やや厚く施釉 内底面気泡あり 外底露胎 e.堅緻 f.身 の部分
51	42	第5面・構成土(1)	青白磁 壺	—	(9.0)	—	a.輪積み技法 b.白色 精良 d.水色釉 透明 うすい e.良好 f.やや古い13前～中 二 次的に火を受けたのか外面がはじけた様な跡がある 量付～高台内露胎 景德鎮
51	43	第5面・構成土(1)	黄釉 鉄絵盤	—	(14.0)	—	a.輪積み技法 b.砂粒 白色粒 茶褐色粒 ガサつく c.黄土色 d.内面黄釉 外面残存部無 釉 e.良好 f.泉州磁州窯
51	44	第5面・構成土(1)	褐釉 壺	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 白色粒 黒色粒 粗土 d.茶褐色 e.堅緻
51	45	第5面・構成土(1)	褐釉 壺	胴部片			a.ロクロ 耳の部分貼付 b.灰色 白色粒 黒色粒 長石 石英 粗土 d.茶褐色 e.堅緻
51	46	第5面・構成土(1)	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰色 微砂 白色粒 黒色粒 良土 c.黒褐色 e.良好 f.5期
51	47	第5面・構成土(1)	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	(17.3)	—	a.輪積み技法 外底砂目底 b.暗灰色 砂粒 白色粒 良土 c.暗赤褐色 d.内面自然降灰 e.良好 f.内面磨減
51	48	第5面・構成土(1)	瓦器碗	(10.6)	—	—	a.ロクロ 内型成形 炭素吸着 へら押し込み 内面横方向の磨き b.灰色 精良 c.黒色 e.良好
51	49	第5面・構成土(1)	かわらけ 転用品	径2.0	—	5.0	a.手づくねを円盤状に加工 b.微砂 海綿骨針 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	50	第5面・構成土(1)	平瓦	狭端部片			a.凹糸切痕のこる 凸斜格子の叩き目 離れ砂細かい b.精良 c.灰白色 d.降灰釉か自然 釉がかかる e.良好 f.鶴岡八幡宮分類のⅡ類(格子叩き目)Bに類似する
52	51	第5面・構成土(2)	木製品 棒状	12.8	0.9	0.6	
52	52	第5面・構成土(2)	木製品 礎板	24.3	10.6	2.7	
52	53	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	(16.3)	1.8	1.0	f.切断工具痕
52	54	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	19.0	0.7	0.4	

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
52	55	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	(15.0)	0.8	0.6	
52	56	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	14.0	0.7	0.5	
52	57	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	6.0	1.6	0.7	f.仕口あり 部材
54	1	第6面・ビット302	手づくねかわらけ	(7.8)	(6.6)	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	2	第6面・ビット302	手づくねかわらけ	(12.8)	(12.0)	3.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内面黒色に変色
54	3	第6面・ビット302	手づくねかわらけ	口縁部片			a.手づくね 外底指頭痕 b.微砂 雲母 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面墨書痕 判読不能
54	4	第6面・ビット302	青磁 皿	底部片			a.ロクロ b.微砂 黒色粒 精良 c.灰白色 d.灰緑色 半透明 うすい e.良好 f.皿Ⅰ・Ⅱ 内面櫛掻文 同安窯系
54	5	第6面・構成土(1)	かわらけ	(7.9)	(6.3)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
54	6	第6面・構成土(1)	かわらけ	8.6	7.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部灰色の物質が付着
54	7	第6面・構成土(1)	かわらけ	(9.0)	(6.4)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	8	第6面・構成土(1)	かわらけ	(9.0)	(7.9)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
54	9	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.0	7.8	2.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内外面に白色の物質が付着
54	10	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(8.2)	(6.4)	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.良好
54	11	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	8.6	7.0	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底強くナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部一か所打ち揃っている
54	12	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(8.8)	(6.6)	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
54	13	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	9.2	8.1	2.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
54	14	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.2)	(8.8)	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内外面に灰色の物質が付着
54	15	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	8.8	7.5	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 硬質 良土 c.橙色 e.良好
54	16	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.4)	(7.8)	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 砂質 良土 c.橙色 e.良好
54	17	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	口縁部片			a.手づくね 外底指頭痕 内底面櫛状工具による整形痕 b.微砂 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
54	18	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	底部小片			a.手づくね 外底指頭痕 内底面櫛状工具による整形痕 b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.良好
54	19	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(13.2)	11.4	2.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	20	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	12.6	10.5	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	21	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	13.2	10.9	3.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	22	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.6	8.0	3.4	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.やや内湾する・外底指頭痕をナデ消している・白かわらけ
54	23	第6面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗	胴部片			a.ロクロ b.暗灰色 精良 緻密 d.灰緑色 半透明 ややうすい 光沢あり e.堅緻 f.碗Ⅱ -b 竜泉窯
54	24	第6面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	底部片			a.ロクロ b.灰色 緻密 精良 d.緑灰色 半透明 厚い 光沢あり e.堅緻 f.碗Ⅰ・劃花文 高台内露胎 竜泉窯
54	25	第6面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	胴部片			a.ロクロ b.やや黄味がかかる灰色 緻密 精良 d.黄緑色 半透明 うすい 光沢あり e.堅緻 f.碗Ⅰ・劃花文 竜泉窯
54	26	第6面・構成土(1)	瀬戸 壺	—	(9.9)	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色微砂少量 精良土 d.淡黄緑色 内面に霜降り状に薄く施釉 外面底部はぜっている 軸垂れか e.良好 硬質 f.古瀬戸前期か 底部片
54	27	第6面・構成土(1)	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 c.灰色 e.良好 f.4期
54	28	第6面・構成土(1)	平瓦	—	—	1.7~1.9	b.砂粒 夾雑物少なめ 精良土 c.灰白色 e.軟質 f.凸面：横位糸切痕 長方形格子の叩き目か 凹面：横位糸切痕 離れ砂 細砂粒 f.鶴岡八幡宮最下層 12C末
54	29	第6面・構成土(1)	土製品 繻の羽口	径11.0	—	—	a.円柱に整形後中心に孔を入れる b.砂質 良土 ゴラつく c.黄灰色 f.鮫物が付着している 光沢あり 中心孔径3.0
54	30	第6面・構成土(1)	木製品 曲物	径(8.4)	—	(0.5)	f.底板
54	31	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	(10.0)	(2.4)	0.8	f.木ネジが埋まった状態 曲物底板か
54	32	第6面・構成土(1)	木製品 箸	21.2	0.9	0.4	
54	33	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	(23.5)	(1.7)	1.0	f.全体が焼けている 片端削り出し
54	34	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	29.7	2.4	0.5	部材か
54	35	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	32.0	1.9	1.5	f.刃物痕 切断痕
55	36	第6面・構成土(2)	木製品 部材	27.7	11.8	2.3	礎板か
55	37	第6面・構成土(2)	木製品 柱	(11.2)	(12.5)	(13.0)	f.一部焼けている 杵痕あり
57	1	第7面・溝4	かわらけ	8.4	6.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
57	2	第7面・溝4	かわらけ	(7.8)	—	—	a.ロクロ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外面に強く稜が入る

単位 (cm)

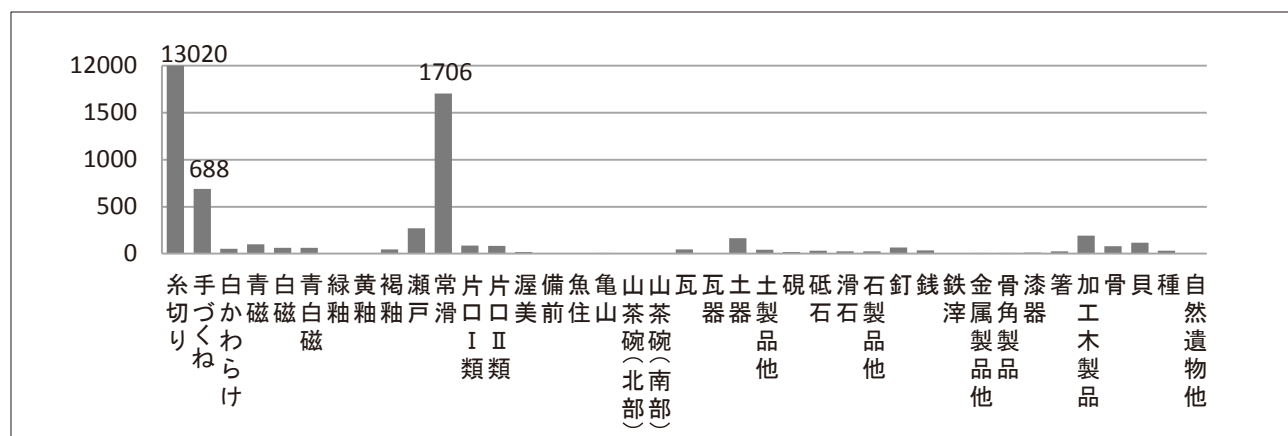
出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
57	3	第7面・溝4	かわらけ	—	—	4	a.ロクロ 底部糸切り痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	4	第7面・溝4	かわらけ	(11.9)	(8.4)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	5	第7面・溝4	手づくねかわらけ	(12.8)	(11.6)	3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	6	第7面・溝4	手づくねかわらけ	(13.4)	(10.6)	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	7	第7面・溝4	木製品 端材	5.0	10.8	2.2	
57	8	第7面・溝4	木製品 串状	26.9	0.9	0.5	
57	9	第7面・ピット303	かわらけ	9.2	6.6	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	10	第7面・面上	かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 c.赤橙色 胎芯黒色 e.良好
57	11	第7面・面上	かわらけ	(8.8)	(6.4)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
57	12	第7面・面上	かわらけ	13.0	8.2	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部・外側面油煤痕
57	13	第7面・面上	かわらけ	13.0	(8.4)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
57	14	第7面・面上	手づくねかわらけ	(9.4)	(8.2)	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
57	15	第7面・面上	手づくねかわらけ	(9.0)	(7.6)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	16	第7面・面上	手づくねかわらけ	9.0	7.8	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部1か所油煤痕
57	17	第7面・面上	手づくねかわらけ	9.0	7.6	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	18	第7面・面上	手づくねかわらけ	8.8	6.6	1.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 砂質 良土 c.赤橙色 e.良好
57	19	第7面・面上	手づくねかわらけ	9.2	7.3	1.6	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	20	第7面・面上	手づくねかわらけ	13.2	11.7	3.4	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面黒色に変色
57	21	第7面・面上	手づくねかわらけ	13.0	11.5	3.4	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
57	22	第7面・面上	手づくねかわらけ	13.4	10.8	3.2	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面一部に油煤痕
57	23	第7面・面上	手づくねかわらけ				a.手づくね 外底指頭痕 b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 e.良好 f.内外面に墨書 判読不能
57	24	第7面・面上	青磁 碗				a.ロクロ b.暗灰色 黒色粒 精良 c.深草色 うすく濁る e.良好 f.碗I類 無文
57	25	第7面・面上	木製品 下駄	21.7	10.0	1.5	f.連歯 台部中央がやや張り出し、4隅の丸い小判系 表面に鉄釘2箇所残る 貫通した孔3箇所あり
57	26	第7面・面上	木製品 用途不明	(11.3)	0.8	0.5	
57	27	第7面・面上	木製品 串状	(23.0)	0.9～2.6	0.3～0.8	f.全体が焼けている 片端削り出し
57	28	第7面・面上	木製品 用途不明	(28.5)	2.0	1.1	f.片端削り出し
58	1	表土採集	かわらけ	(8.1)	(5.0)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い f.内外面に油煤痕
58	2	表土採集	かわらけ	7.4	4.9	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面黒色に変色
58	3	表土採集	かわらけ	6.4	5.1	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
58	4	表土採集	かわらけ	(11.8)	(6.5)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ 高台量み付き露胎 b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
58	5	表土採集	青磁 鉢	—	(11.6)	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.青緑色不透明釉を厚く施釉 高台露胎 e.堅緻 f.二次焼成を受けている
58	6	表土採集	褐釉 壺				a.ロクロ b.褐灰白色 白色粒やや多く黒色粒含む 堅緻 d.外面に茶褐色の薄い施釉 e.堅緻
58	7	表土採集	褐釉 壺				b.褐灰色 白色粒 堅緻 d.暗赤褐色 不透明な釉が外部に薄く施釉、内部は斑点状に釉付着
58	8	表土採集	瀬戸 入子				a.ロクロ b.黄灰色 砂粒 良土 e.良好
58	9	表土採集	瀬戸 鉤皿				a.ロクロ b.黄灰白色 混入物少ない良土 d.淡黄灰緑色の灰釉を薄く刷毛塗り 口縁部のみやや厚く施釉 e.良好 堅緻 f.二次焼成を受け釉がはがっている
58	10	表土採集	瀬戸 折縁皿				b.灰色 小石粒 黒色微砂 やや粗土 d.淡黄灰緑色の灰釉を薄く刷毛塗り e.良好 やや軟質か? f.古瀬戸Ⅲ期?
58	11	表土採集	瀬戸 瓶子	(6.6)	—	—	a.ロクロ b.褐灰白色 白色粒・黒色粒を含む 緻密 d.鉄釉を薄く施釉 外面一部剥離 e.良好
58	12	表土採集	常滑 片口鉢I類				a.輪積み技法 b.灰色 微砂 長石 石英 c.灰色 e.良好
58	13	表土採集	男瓦	—	—	1.8～2.0	b.灰色 小石粒を含むやや粗土 c.暗灰色 e.硬質 f.凸面：糸切り痕 縦位ナデ調整 凹面：布目痕 糸切り痕 離れ砂 側縁：広い削り 側面：削り
58	14	表土採集	滑石鍋	銜径 (25.5)		1.6～1.8	f.底部分加工痕か
58	15	表土採集	鉄製品 釘	(3.6)	0.3	0.2	f.鍛造 断面四角形
58	16	表土採集	木製品 杭	38.0	1.8	0.8	f.鍛造 断面四角形

単位 (cm)

遺物出土数量比率表

		1面	2面	3面	4面	5面	6面	7面	合計(数量)	比率(%)
かわらけ	糸切り	3709	4589	2712	1231	595	64	120	13020	75.84
	手づくね	3	14	10	31	27	171	432	688	4.01
	白かわらけ	18	11	12	6	4	0	3	54	0.31
舶載陶磁器	青磁	30	15	6	20	15	9	5	100	0.58
	白磁	26	8	6	10	8	4	1	63	0.37
	青白磁	17	9	5	12	12	7	0	62	0.36
	緑釉	0	1	0	1	0	0	0	2	0.01
	黄釉	1	0	4	0	0	1	0	6	0.03
	褐釉	11	3	16	11	4	1	0	46	0.27
国産陶器	瀬戸	194	40	14	7	6	7	3	271	1.58
	常滑	1066	307	125	123	63	12	10	1706	9.94
	片口Ⅰ類	37	21	5	14	7	1	1	86	0.5
	片口Ⅱ類	42	32	8	2	1	0	0	85	0.5
	渥美	8	6	1	0	0	0	2	17	0.1
	備前	4	0	0	0	0	0	0	4	0.02
	魚住	2	1	0	0	0	0	0	3	0.02
	亀山	6	2	0	0	0	0	0	8	0.05
	山茶碗(北部)	2	0	0	0	0	0	0	2	0.01
山茶碗(南部)	3	2	0	0	0	0	0	5	0.03	
瓦	瓦	30	8	3	1	2	0	2	46	0.27
土製品	瓦器	3	1	1	0	0	1	0	6	0.03
	土器	110	29	13	9	3	0	0	164	0.96
	その他	16	11	10	3	0	1	1	42	0.24
石製品	硯	3	10	2	1	1	0	0	17	0.1
	砥石	8	15	7	0	3	0	0	33	0.19
	滑石	5	5	8	3	3	1	0	25	0.15
	その他	10	5	4	2	3	0	0	24	0.14
金属製品	釘	12	44	8	0	2	0	0	66	0.38
	銭	9	13	7	4	1	0	0	34	0.2
	鉄滓	3	0	0	0	0	0	0	3	0.02
	その他	5	4	1	0	0	0	0	10	0.06
骨角加工品	骨角製品	2	3	2	0	0	0	0	7	0.04
漆器	漆器	0	0	1	10	0	0	0	11	0.06
木製品	箸	0	0	0	18	5	0	1	24	0.14
	加工木製品	8	1	3	150	14	4	14	194	1.13
自然遺物	骨	11	6	5	4	7	11	35	79	0.46
	貝	2		1	33	61	6	16	119	0.69
	種	4	1	0	6	6	1	13	31	0.18
	その他	1	1	0	0	0	0	3	5	0.03
計		5421	5218	3000	1712	853	302	662	17168	100%



遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ
溝 1	1面	(900)	175～197	56～70	ピット10	1面	36	(26)	8
溝 2	3面	980	51～90	8～24	ピット11	1面	43	37	15
溝 3	4面	(600)	27～65	8	ピット12	1面	29	28	20
溝 4	7面	(100)	(84)	9	ピット14	1面	33	29	18
溝状土坑 1	1面	330	25～28	5～10	ピット15	1面	45	43	22
溝状土坑 2	1面	412	57～65	25～32	ピット16	1面	34	26	10
溝状土坑 3	1面	(100)	(48)	19	ピット17	1面	28	27	8
溝状土坑 4	2面	(52)	28	18	ピット18	1面	26	25	9
溝状土坑 5	4面	180	32	5	ピット19	1面	31	32	16
池状遺構	1面	(775)	250～310	(85)	ピット20	1面	45	35	6
井戸 1	5面	197	(115)	未堀	ピット21	1面	47	42	20
土坑 1	1面	100	(38)	18	ピット22	1面	45	(30)	18
土坑 2	1面	82	(48)	26	ピット23	1面	52	23	16
土坑 3	1面	(85)	(45)	18	ピット24	1面	47	38	18
土坑 4	1面	144	(67)	42	ピット25	1面	34	(29)	16
土坑 6	1面	73	64	19	ピット26	1面	42	(38)	13
土坑 7	1面	113	95	11	ピット27	1面	22	22	38
土坑 8	1面	126	115	24	ピット29	1面	48	45	16
土坑 10	1面	(85)	(38)	9	ピット30	1面	37	34	22
土坑 11	1面	(70)	72	13	ピット31	1面	47	36	14
土坑 12	1面	67	55	24	ピット32	1面	(45)	(32)	14
土坑 13	1面	79	(40)	14	ピット33	1面	35	(24)	15
土坑 14	1面	53	(38)	19	ピット34	1面	44	(28)	12
土坑 15	1面	54	(47)	10	ピット35	1面	27	24	8
土坑 16	1面	80	58	36	ピット36	1面	42	(28)	13
土坑 17	2面	247	138	10～15	ピット38	1面	32	29	27
土坑 18	2面	(76)	72	27	ピット39	1面	43	33	11
土坑 19	2面	(102)	(84)	24	ピット40	1面	28	25	14
土坑 20	2面	94	(66)	4	ピット41	1面	48	(24)	-
土坑 21	2面	83	57	16	ピット42	1面	50	44	14
土坑 22	2面	78	58	24	ピット43	1面	(32)	(18)	7
土坑 23	2面	55	(44)	12	ピット44	1面	34	30	25
土坑 24	2面	64	61	17	ピット45	1面	38	35	35
土坑 25	2面	57	(40)	28	ピット46	1面	33	23	16
土坑 26	3面	89	65	11	ピット47	1面	43	(42)	5
土坑 27	3面	(70)	(60)	9	ピット48	1面	25	(17)	21
土坑 28	3面	86	74	19	ピット49	1面	48	(30)	25
土坑 29	3面	77	71	23	ピット50	1面	38	37	27
土坑 30	3面	120	(70)	20	ピット51	1面	38	35	26
土坑 31	3面	(70)	(60)	10	ピット52	1面	65	65	12
土坑 32	3面	86	78	10	ピット53	1面	35	35	19
土坑 33	3面	140	(122)	10	ピット54	1面	42	32	30
土坑 34	4面	103	(53)	8	ピット55	1面	34	(38)	14
土坑 35	4面	102	(46)	7	ピット56	1面	39	(35)	18
土坑 36	4面	(75)	75	7	ピット57	1面	17	17	10
土坑 37	4面	68	(49)	14	ピット58	1面	22	20	12
土坑 38	4面	61	54	25	ピット59	1面	46	40	11
土坑 39	4面	(100)	(65)	11	ピット60	1面	44	39	10
土坑 40	1面	155	(70)	55	ピット61	1面	36	30	9
ピット 1	1面	(35)	26	-	ピット62	1面	32	(28)	10
ピット 2	1面	58	35	9	ピット63	1面	28	(15)	13
ピット 3	1面	34	33	15	ピット64	1面	48	(37)	18
ピット 4	1面	38	34	24	ピット65	1面	44	(32)	13
ピット 5	1面	38	28	16	ピット66	1面	38	(32)	15
ピット 6	1面	19	18	10	ピット67	1面	33	31	15
ピット 7	1面	25	23	12	ピット68	1面	48	(44)	14
ピット 8	1面	43	40	17	ピット69	1面	24	24	20
ピット 9	1面	35	33	17	ピット70	1面	39	37	38

単位 (cm)

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ
ピット 72	1面	53	41	11	ピット 141	2面	50	37	7
ピット 73	1面	42	(37)		ピット 142	2面	53	50	8
ピット 74	1面	51	44	8	ピット 143	2面	(43)	(20)	4
ピット 75	1面	52	(34)	5	ピット 144	2面	38	(15)	11
ピット 76	1面	30	23	9	ピット 145	2面	(68)	(32)	8
ピット 77	2面	49	(27)	14	ピット 146	2面	47	(30)	7
ピット 78	2面	42	33	18	ピット 147	2面	33	28	11
ピット 130	2面	46	38	16	ピット 148	2面	29	(16)	20
ピット 131	2面	47	(33)	7	ピット 149	2面	(24)	(22)	13
ピット 132	2面	30	27	13	ピット 150	2面	(30)	24	9
ピット 133	2面	37	37	17	ピット 151	2面	30	(159)	49
ピット 134	2面	48	43	7	ピット 152	2面	(27)	24	10
ピット 135	2面	37	(32)	11	ピット 153	3面	33	30	8
ピット 136	2面	32	(15)	10	ピット 154	2面	(34)	(22)	4
ピット 137	2面	48	(37)	13	ピット 155	2面	64	(30)	19
ピット 138	2面	33	33	12	ピット 156	2面	40	(29)	22
ピット 139	2面	33	32	16	ピット 157	2面	30	(17)	20
ピット 89	2面	43	(38)	-	ピット 158	2面	-	-	-
ピット 91	2面	38	28	16	ピット 159	2面	(43)	33	17
ピット 92	2面	35	35	24	ピット 160	3面	40	35	11
ピット 93	2面	35	32	22	ピット 161	3面	43	(28)	15
ピット 94	2面	35	30	9	ピット 162	3面	54	(45)	24
ピット 95	2面	30	(15)	16	ピット 163	3面	39	(28)	18
ピット 96	2面	45	38	10	ピット 164	3面	34	34	14
ピット 97	2面	32	25	13	ピット 165	3面	45	45	7
ピット 98	2面	35	28	16	ピット 166	3面	26	23	20
ピット 99	2面	54	46	20	ピット 168	3面	62	58	18
ピット 100	2面	36	32	13	ピット 169	3面	21	(15)	-
ピット 101	2面	23	20	12	ピット 170	3面	45	44	8
ピット 102	2面	46	(27)	10	ピット 171	3面	58	(32)	10
ピット 103	2面	36	34	19	ピット 172	3面	40	38	17
ピット 104	2面	45	36	5	ピット 173	3面	38	34	15
ピット 105	2面	40	(27)	13	ピット 174	3面	41	40	16
ピット 106	2面	(37)	30	19	ピット 175	3面	45	44	36
ピット 107	2面	45	(28)	10	ピット 176	3面	(38)	(20)	38
ピット 108	2面	58	45	7	ピット 177	3面	(45)	35	25
ピット 109	2面	31	(17)	7	ピット 178	3面	39	32	20
ピット 110	2面	50	43	6	ピット 179	3面	41	38	27
ピット 111	2面	46	(23)	-	ピット 180	3面	41	37	20
ピット 112	2面	38	(32)	14	ピット 181	3面	30	(17)	-
ピット 113	2面	48	35	12	ピット 182	3面	75	50	18
ピット 114	2面	42	(23)	5	ピット 183	3面	41	36	15
ピット 115	2面	45	42	13	ピット 184	3面	47	(17)	11
ピット 116	2面	37	26	8	ピット 185	3面	58	48	24
ピット 117	2面	47	32	7	ピット 186	3面	(32)	40	-
ピット 118	2面	(48)	34	12	ピット 188	3面	54	(33)	17
ピット 119	2面	46	(22)	9	ピット 189	3面	(40)	(35)	11
ピット 120	2面	42	32	12	ピット 190	3面	40	25	24
ピット 121	2面	(38)	(19)	6	ピット 191	3面	46	(18)	-
ピット 122	2面	44	40	26	ピット 192	3面	32	30	13
ピット 123	2面	33	28	11	ピット 193	3面	34	30	12
ピット 124	2面	47	41	11	ピット 194	3面	33	33	21
ピット 125	2面	35	34	9	ピット 195	3面	33	30	15
ピット 126	2面	32	23	6	ピット 196	3面	42	40	9
ピット 127	2面	49	40	14	ピット 197	3面	54	(23)	5
ピット 128	2面	(52)	(14)	19	ピット 198	3面	62	47	32
ピット 129	2面	39	29	14	ピット 199	3面	38	32	14
ピット 140	2面	(39)	34	16	ピット 200	3面	(22)	30	7

単位 (cm)

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ
ピット201	4面	65	54	11	ピット261	5面	32	31	20
ピット202	4面	65	52	18	ピット262	5面	32	30	27
ピット203	4面	37	31	15	ピット263	5面	(57)	(26)	27
ピット204	4面	32	28	12	ピット264	5面	54	40	23
ピット205	4面	29	(24)	12	ピット265	5面	38	(22)	21
ピット206	4面	55	39	12	ピット266	5面	33	32	21
ピット207	4面	40	39	20	ピット267	5面	64	(60)	18
ピット208	4面	37	(18)	19	ピット269	5面	22	21	12
ピット209	4面	35	28	10	ピット270	4面	(35)	28	7
ピット210	4面	37	27	15	ピット271	5面	(23)	(20)	11
ピット211	4面	27	(21)	22	ピット272	5面	30	28	23
ピット212	4面	40	29	14	ピット273	5面	38	(28)	22
ピット213	4面	54	54	14	ピット274	5面	30	23	18
ピット214	4面	45	45	19	ピット275	4面	28	21	5
ピット215	4面	42	29	12	ピット276	5面	28	26	11
ピット216	4面	68	59	9	ピット277	5面	45	37	30
ピット217	4面	48	45	14	ピット278	5面	45	31	26
ピット218	4面	55	(46)	8	ピット279	5面	38	(25)	19
ピット219	4面	42	39	9	ピット280	5面	28	21	27
ピット220	4面	32	(13)	17	ピット281	5面	38	33	33
ピット221	4面	30	(27)	15	ピット282	5面	28	19	22
ピット223	4面	39	38	16	ピット283	5面	43	35	24
ピット224	4面	42	38	12	ピット284	5面	35	30	22
ピット225	4面	62	(52)	7	ピット285	5面	33	(24)	30
ピット226	4面	29	20	17	ピット286	5面	28	25	23
ピット227	4面	39	(24)	10	ピット287	5面	33	33	29
ピット228	4面	63	55	18	ピット288	5面	22	21	13
ピット229	4面	45	42	16	ピット289	5面	30	28	40
ピット230	4面	37	(33)	15	ピット290	5面	32	28	16
ピット231	4面	38	37	11	ピット291	5面	32	32	26
ピット232	4面	49	44	13	ピット292	5面	51	44	30
ピット233	4面	58	50	14	ピット294	5面	34	30	18
ピット234	4面	43	38	10	ピット296	5面	29	(13)	22
ピット235	4面	50	41	30	ピット297	5面	32	29	16
ピット236	4面	32	31	8	ピット298	5面	32	28	14
ピット237	4面	35	27	20	ピット299	5面	(30)	28	9
ピット238	5面	51	47	32	ピット300	5面	39	33	7
ピット239	4面	36	34	4	ピット301	5面	45	45	10
ピット241	5面	45	44	33	ピット302	6面	63	47	33
ピット242	5面	31	30	40	ピット303	7面	41	(33)	23
ピット243	5面	44	38	33	ピット304	7面	(34)	32	24
ピット244	5面	35	30	8	ピット305	7面	22	18	21
ピット245	4面	35	34	3					
ピット246	5面	36	(33)	25					
ピット247	4面	60	(30)	-					
ピット248	4面	36	(28)	-					
ピット249	5面	40	(21)	40					
ピット250	5面	35	28	26					
ピット251	5面	37	29	15					
ピット252	5面	40	32	11					
ピット253	5面	27	26	30					
ピット254	5面	35	(27)	30					
ピット255	5面	30	30	16					
ピット256	5面	32	28	18					
ピット257	5面	32	30	32					
ピット258	5面	38	31	35					
ピット259	5面	56	41	48					
ピット260	5面	49	(34)	37					

単位 (cm)



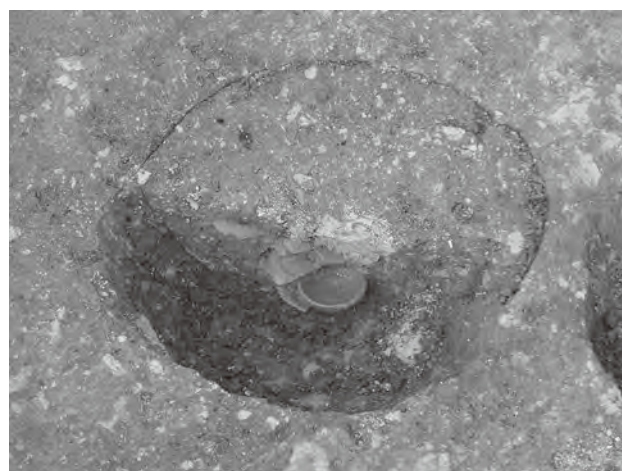
1面全景（北から）



1面全景（南から）



1面土坑 6（南から）



1面土坑 8（南から）



2面全景（南から）



2面全景（北から）



2面ピット 71（北から）



2面かわらけ質小壺出土状況

図版2



2面土坑 17 (南西から)



2面土坑 17 (南東から)



3面全景 (南から)



3面全景 (北から)



3面溝 2 と南方向遠景 (北から)



本調査地点から隣接現場を望む (北から)



調査地点からの南方向遠景 (北から)



4面全景（北から）



4面全景（南から）



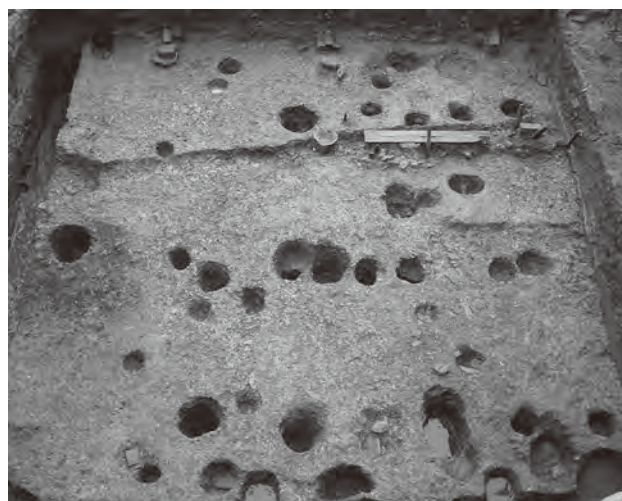
4面切石列（北から）



4面切石列（南から）



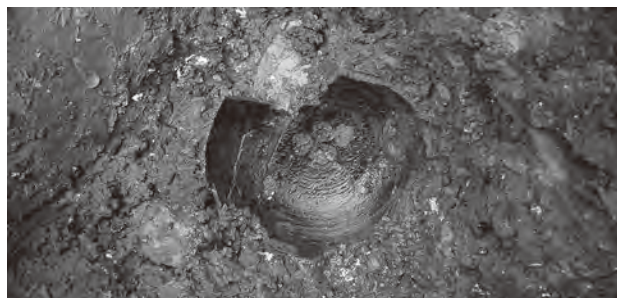
5面全景（北から）



5面全景（南から）



5面溝3部材（西から）



5面漆器出土状況



5面溝3部材裏面（手前に三条の痕あり）



5面溝3部材裏面の三条の痕



6面ピット302 頂部が焼けた柱（南東から）



7面溝4（北東から）



7面溝4（南西から）



6面全景（北から）



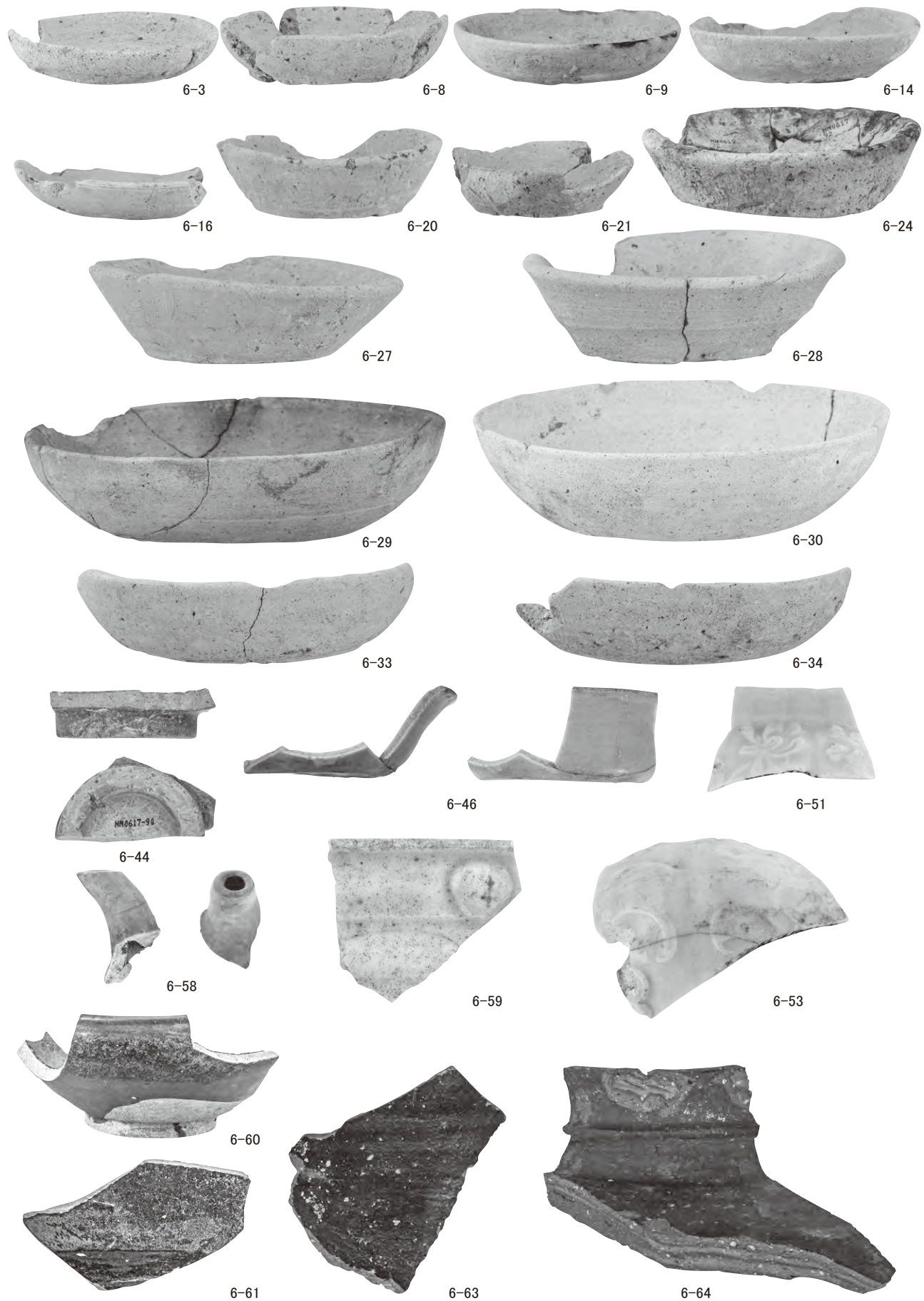
6面全景（南から）



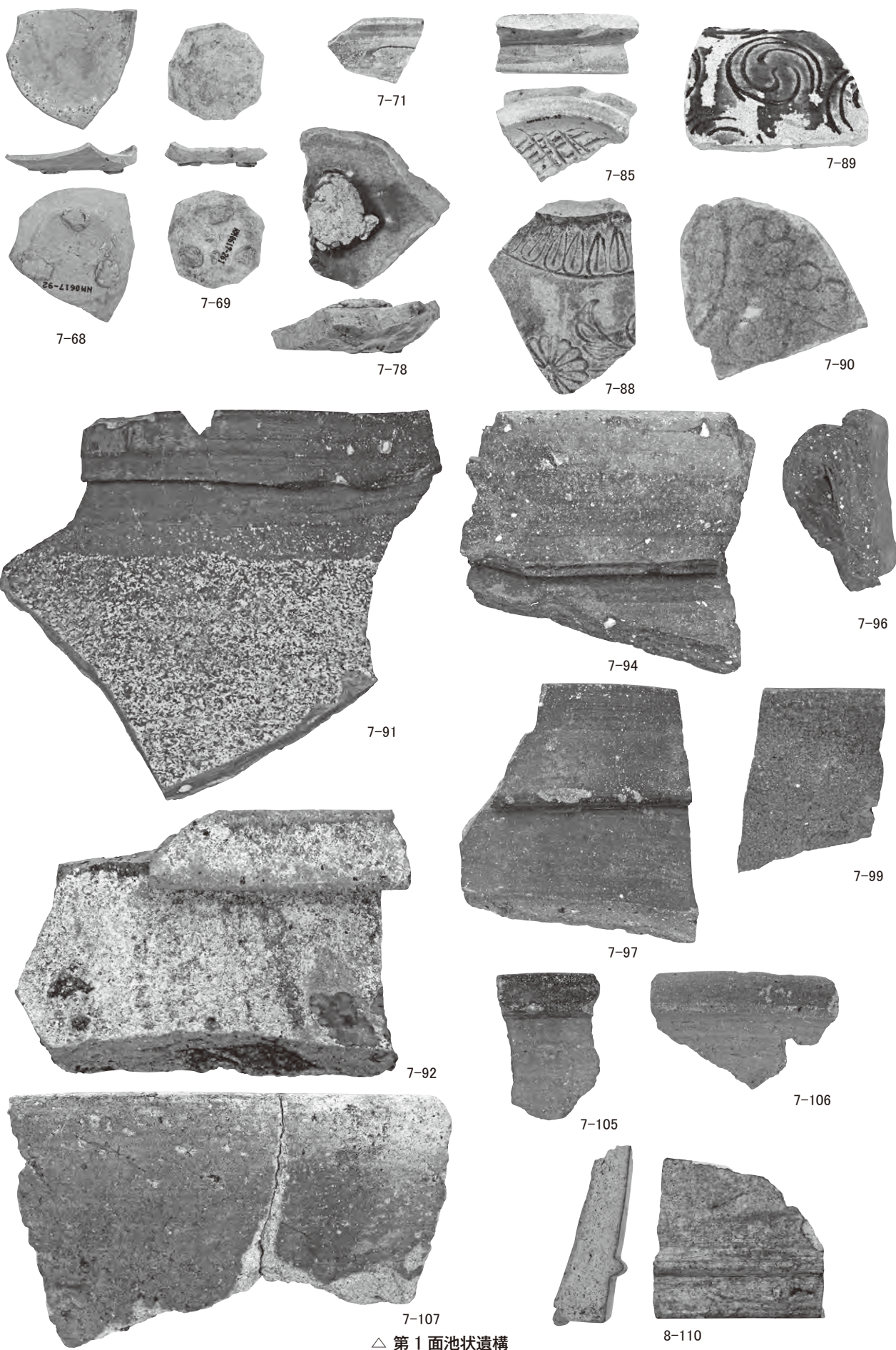
7面全景（北から）

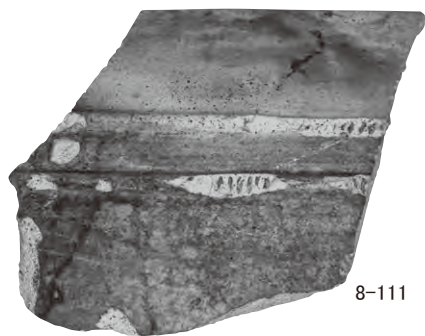


7面全景（南から）



△ 第1面池状遺構





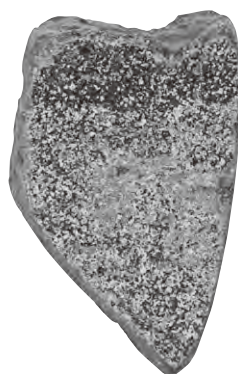
8-111



8-112



8-122



8-120



8-124



8-125



8-126



8-127



8-129



9-136



9-130

9-131

9-132

9-133

9-139



10-165

10-170

△ 第 1 面池状遺構



10-166



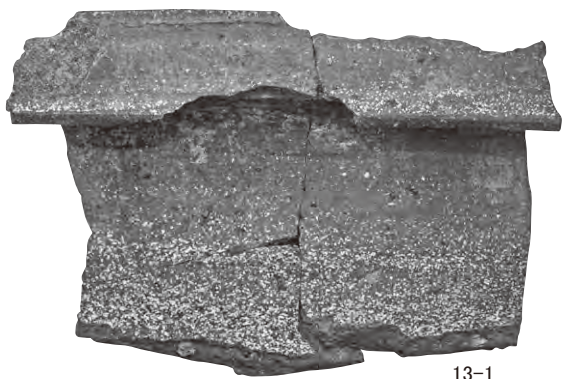
10-176



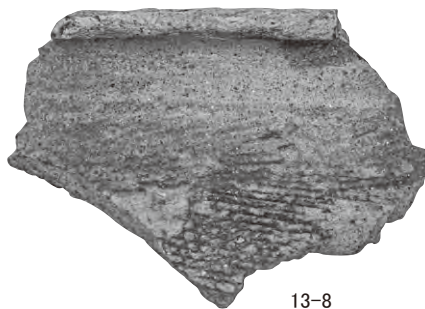
10-177



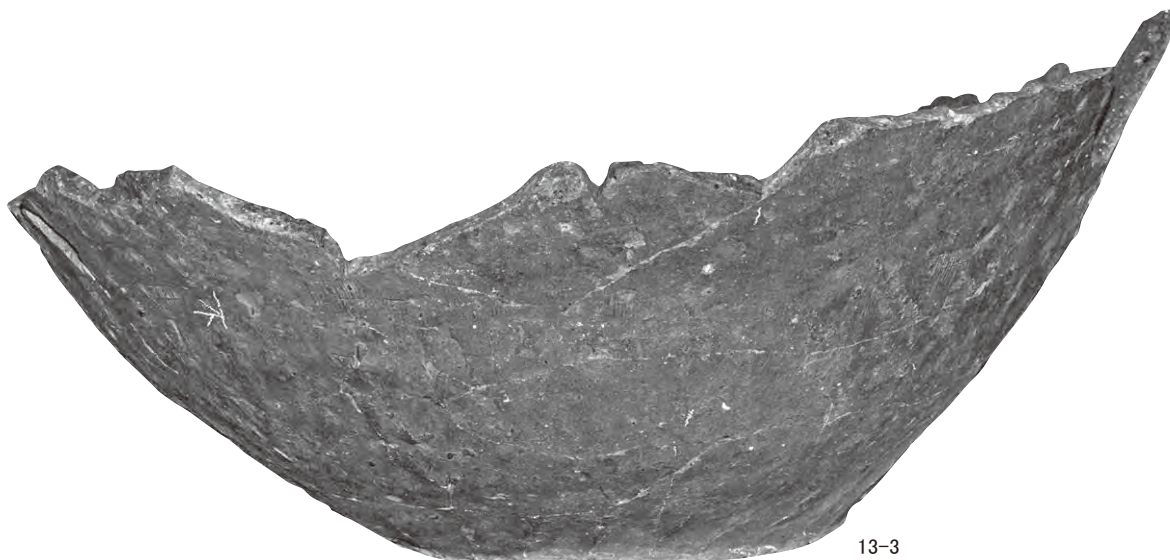
图版 10



13-1



13-8



13-3

△ 土坑 6



14-2

△ 土坑 40



16-1

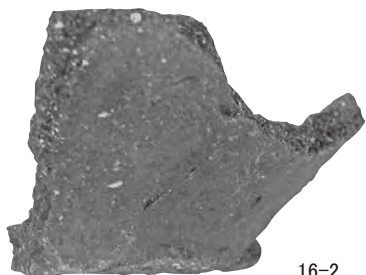


16-4



16-7

△ 土坑 15



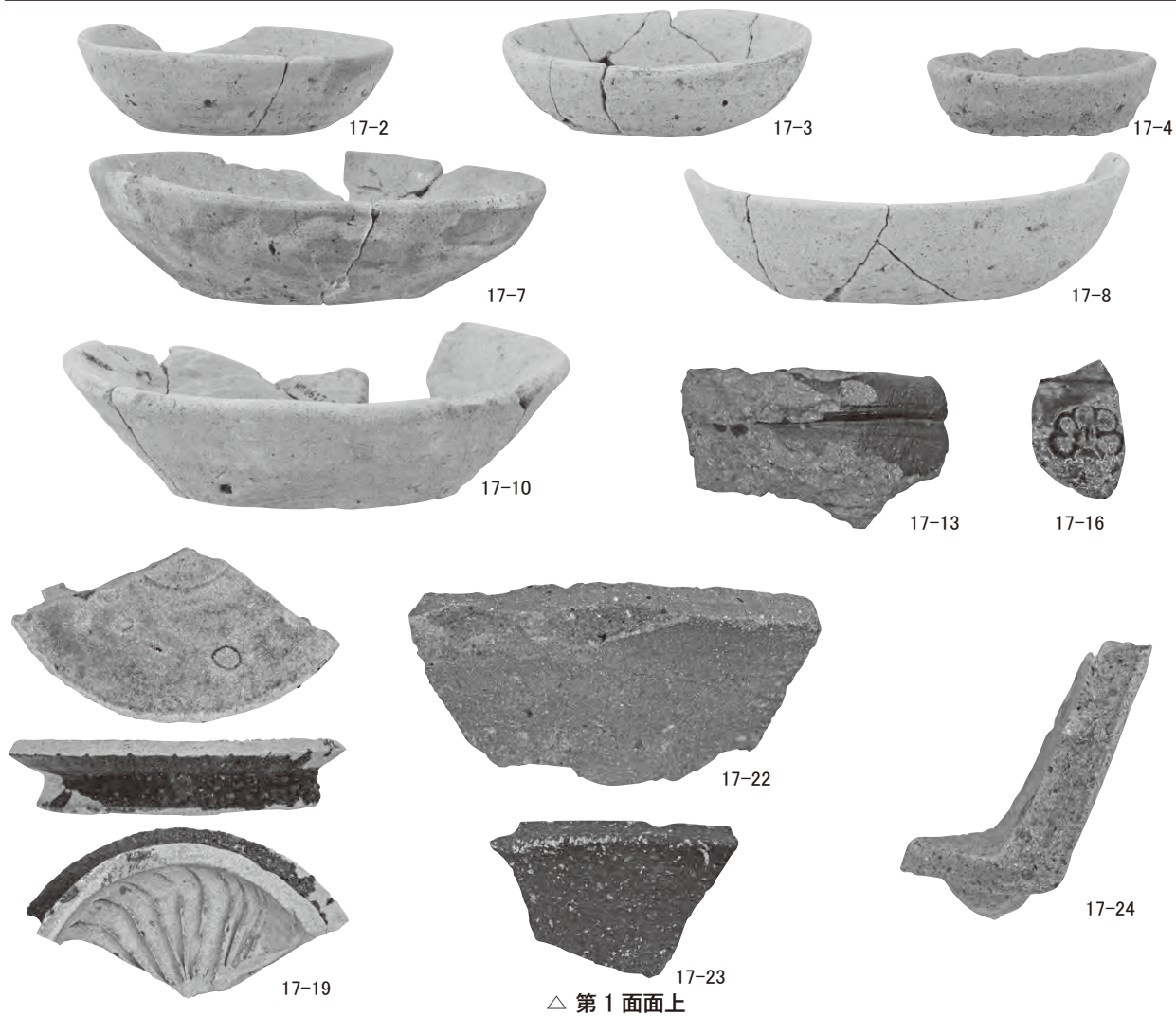
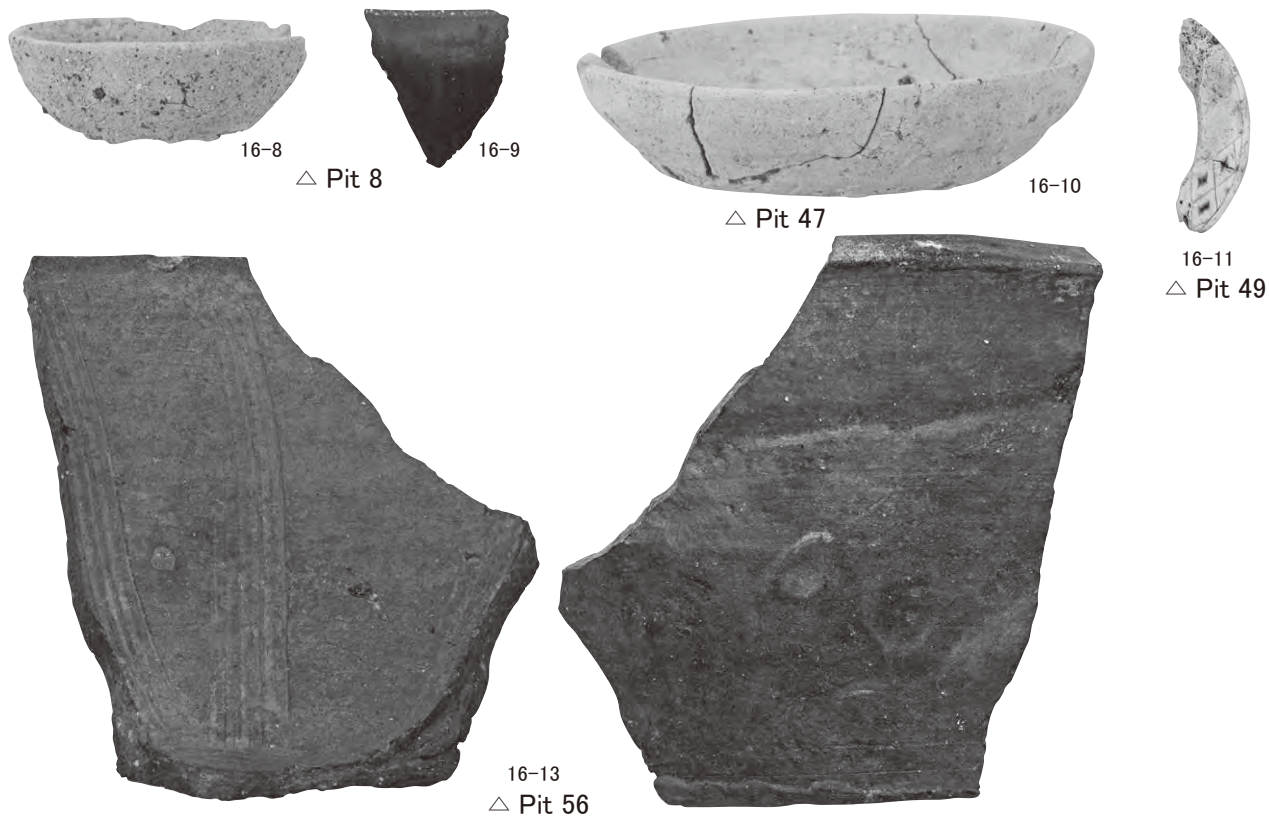
16-2

△ 沟状土坑 2



16-6

△ 土坑 12





17-26

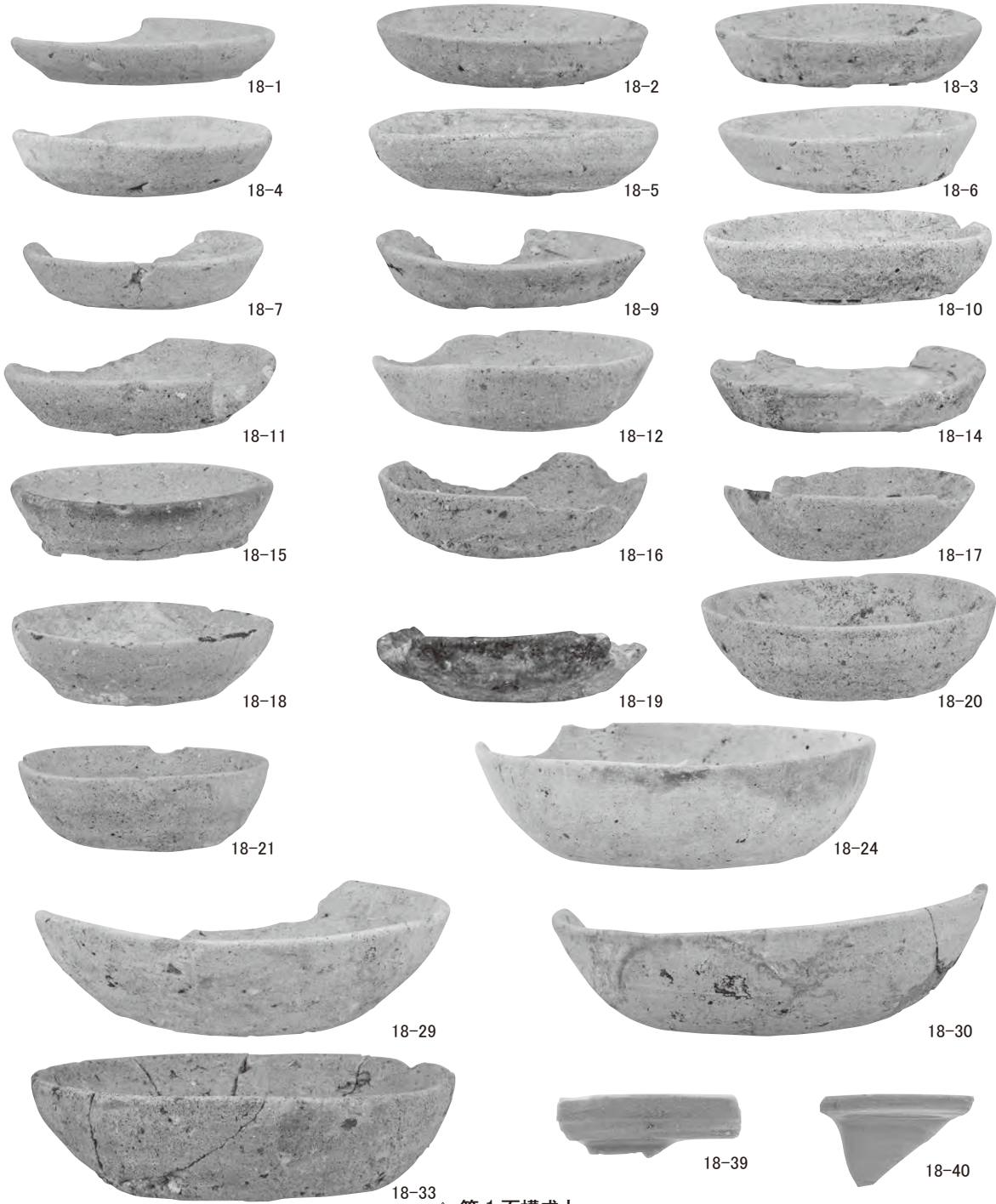
17-28

17-29

17-30

17-31

△ 第 1 面面上



18-1

18-2

18-3

18-4

18-5

18-6

18-7

18-9

18-10

18-11

18-12

18-14

18-15

18-16

18-17

18-18

18-19

18-20

18-21

18-24

18-29

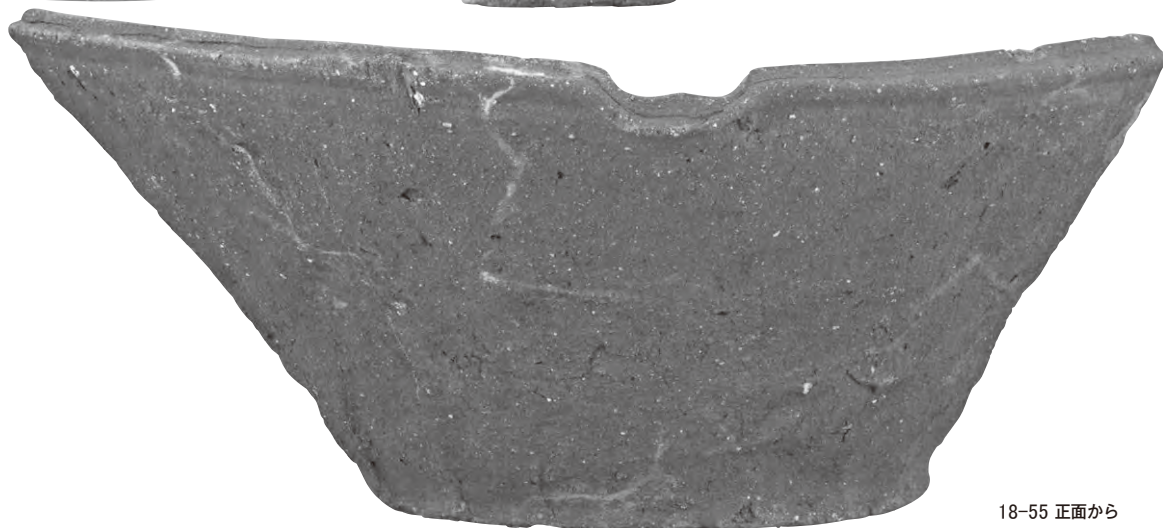
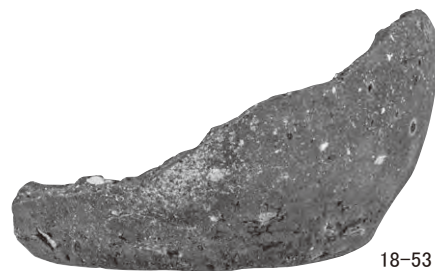
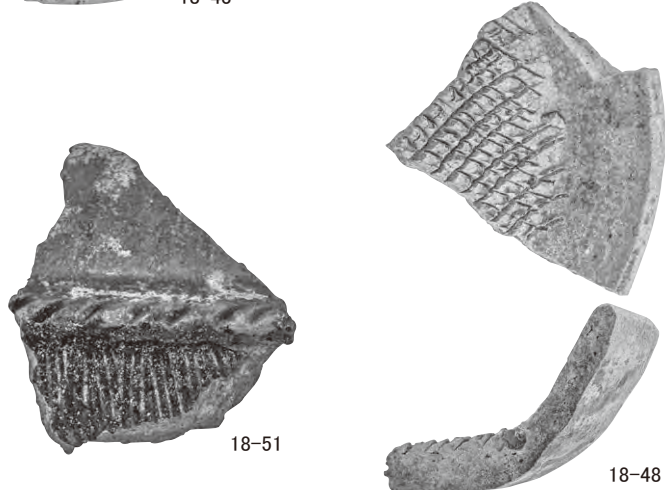
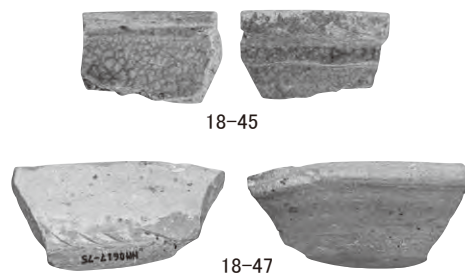
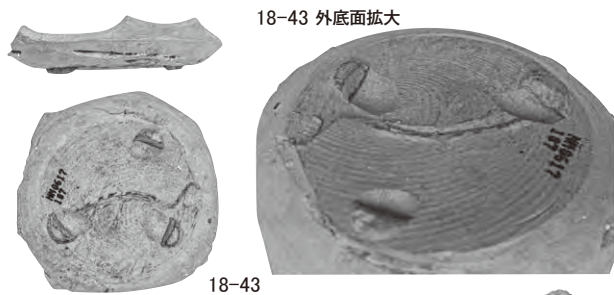
18-30

18-33

18-39

18-40

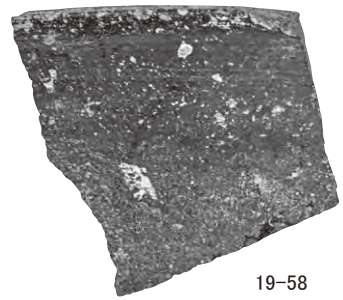
△ 第 1 面構成土



△ 第1面構成土



19-56



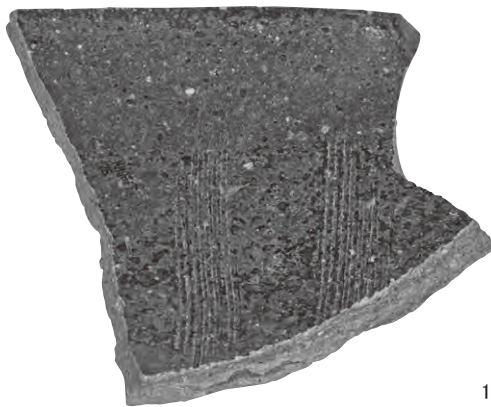
19-58



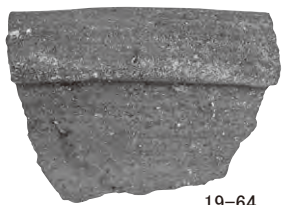
19-59



19-57



19-63



19-64



19-69



19-72



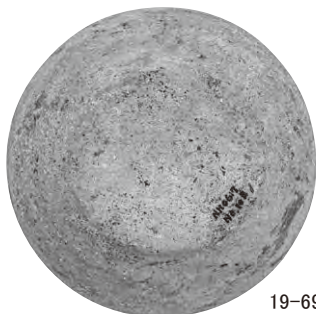
19-73



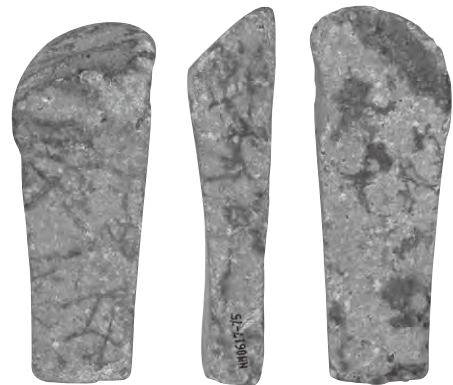
19-68



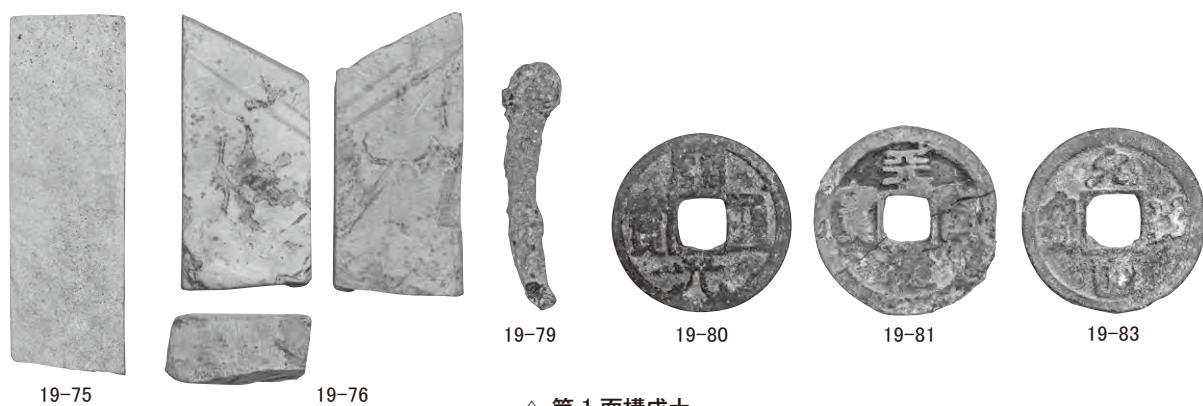
19-70



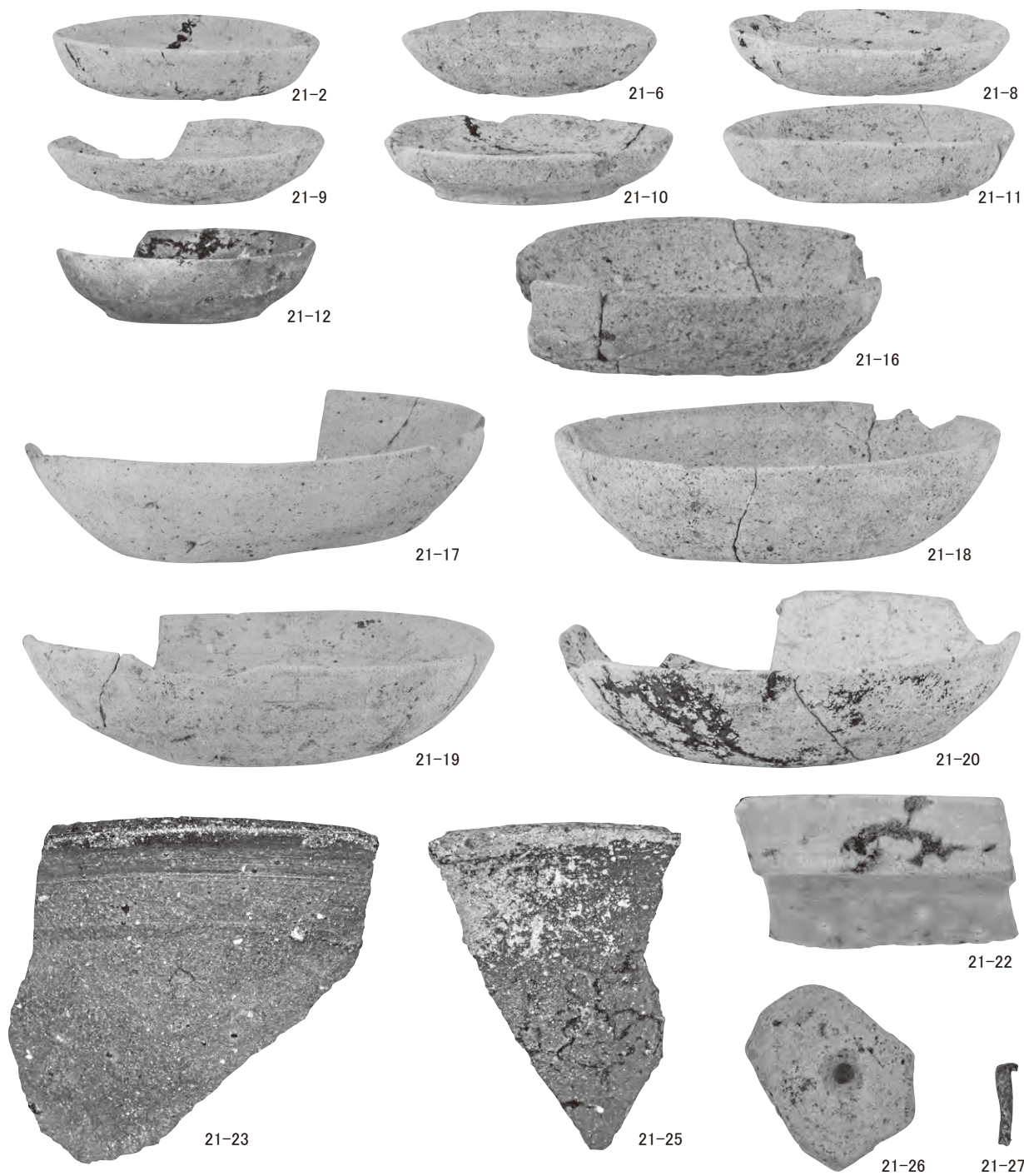
△ 第 1 面構成土



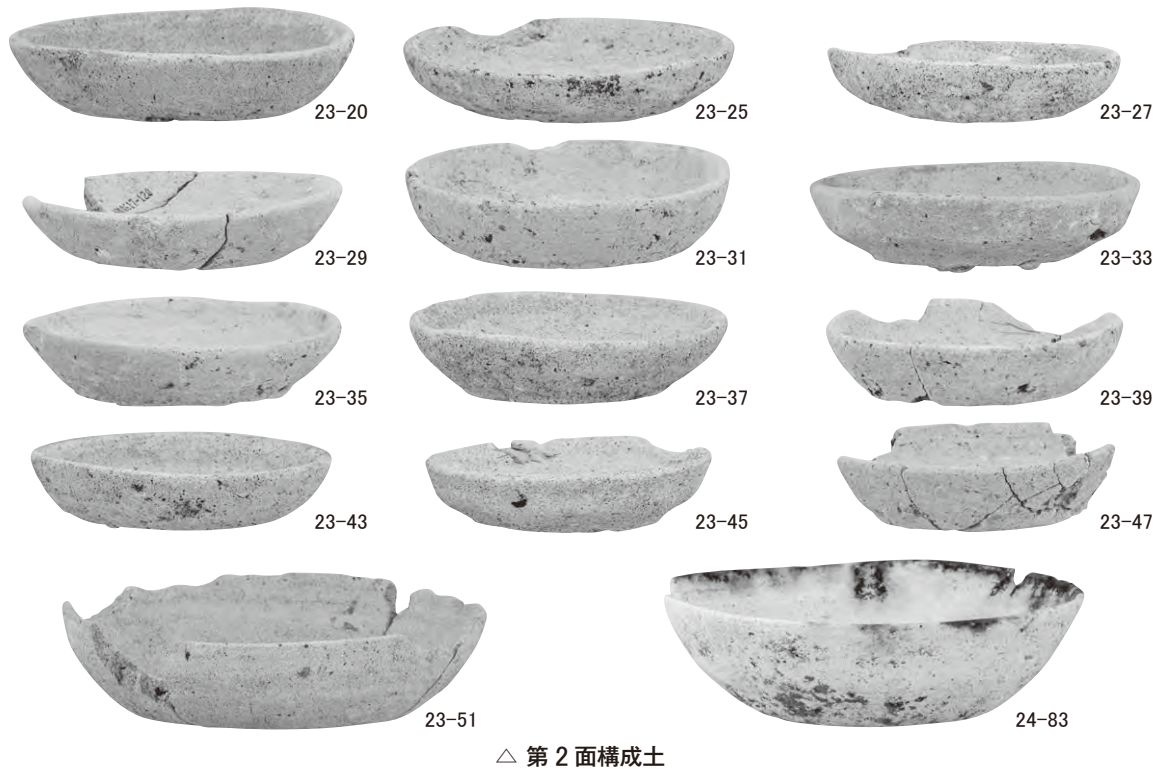
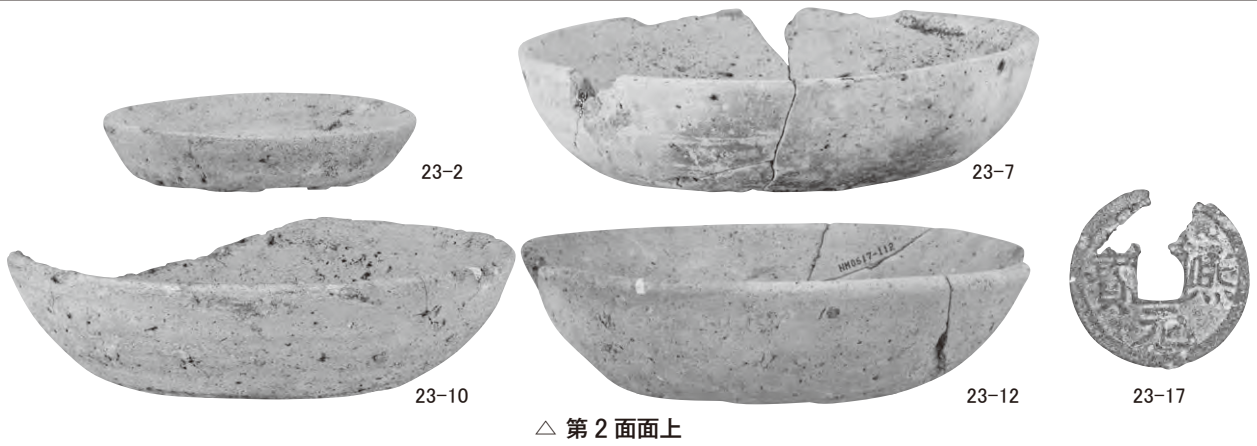
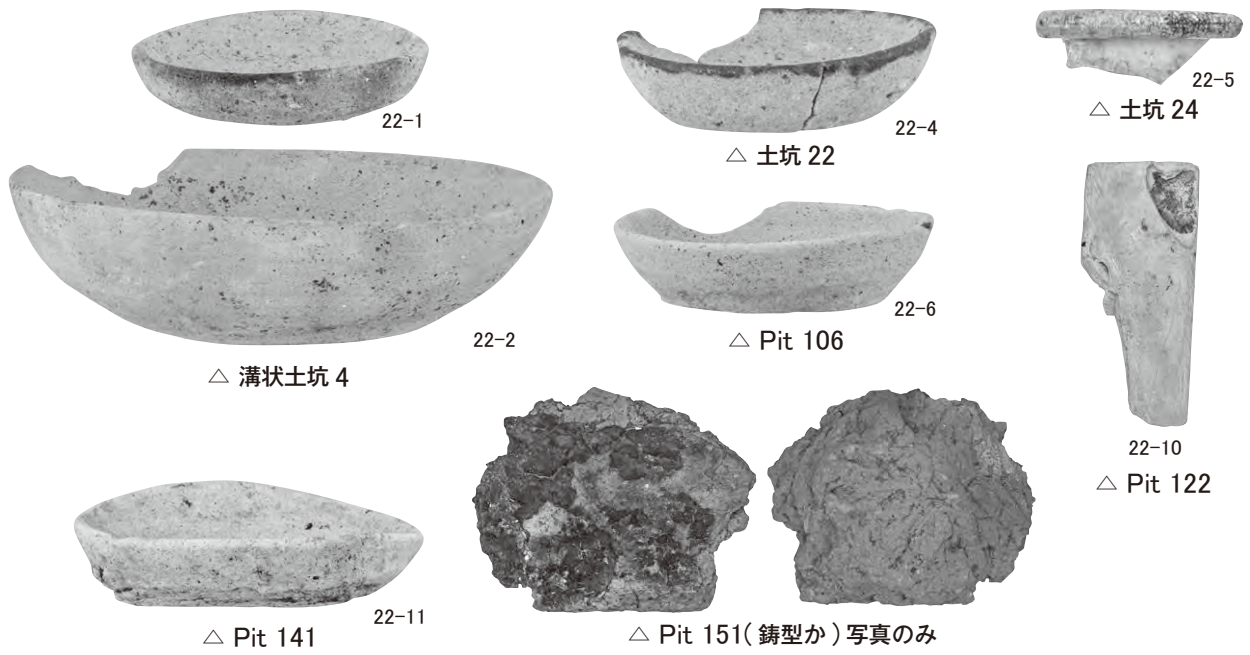
19-74



△ 第 1 面構成土



△ 第 2 面土坑 17





23-57



23-58



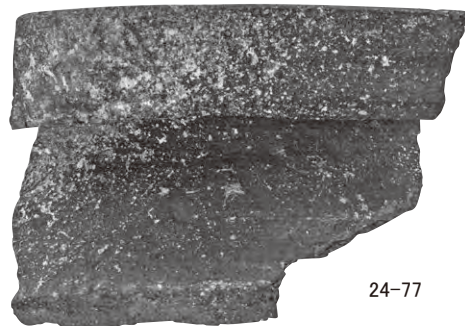
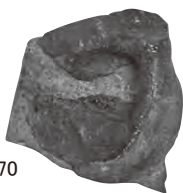
23-59



24-68



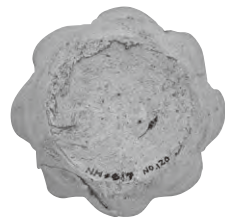
24-70



24-77



24-82

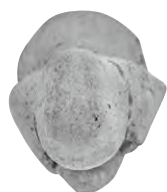
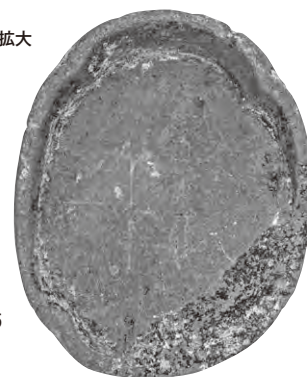


24-73

内面拡大



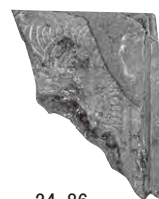
24-85



24-84



△ 第2面構成土



24-86



24-88



26-4



26-10



26-11



26-12

△ 第3面かわらけ集中出土



26-15



26-16



26-18

△ 第3面 かわらけ集中出土



27-1



27-2



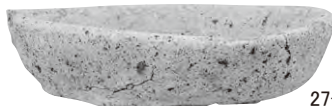
27-3

△ 土坑 26



27-5

△ 土坑 29



27-7

△ 土坑 30



27-8



27-11

△ 土坑 31



28-18



28-19



28-20



28-23

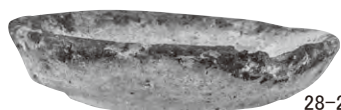


28-24

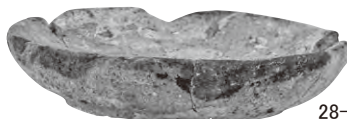


28-25

△ 土坑 32 ▼ 土坑 33



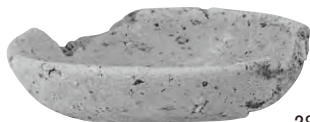
28-27



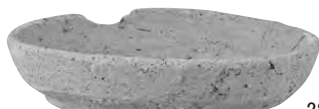
28-28



28-29



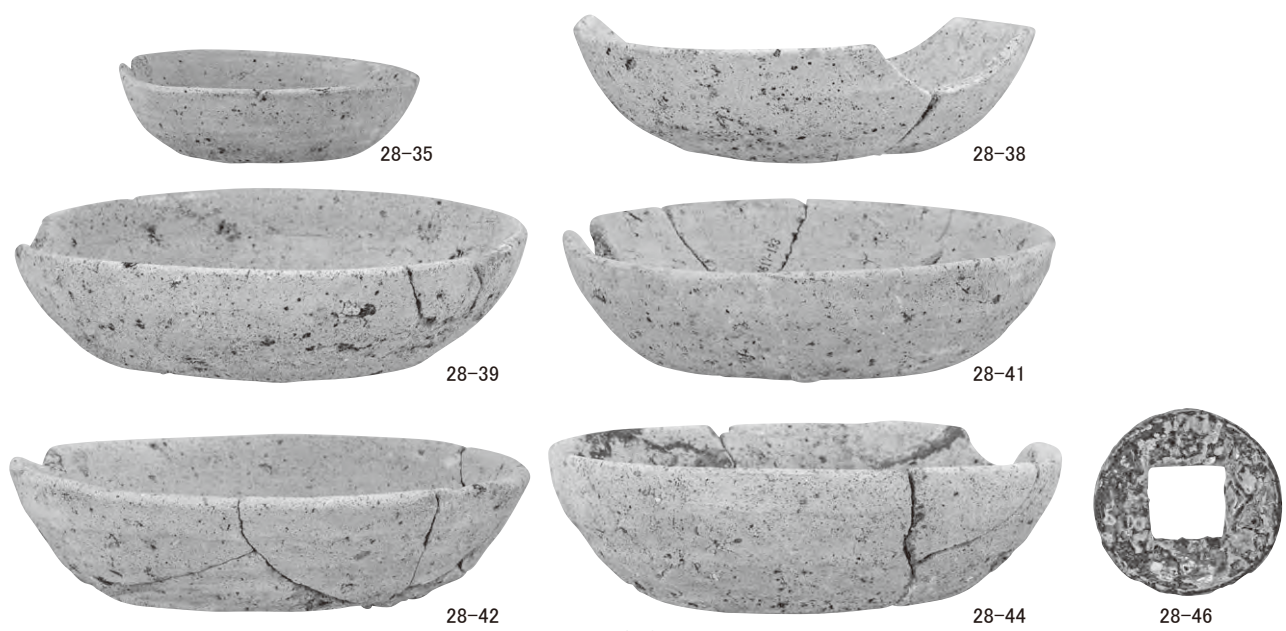
28-31



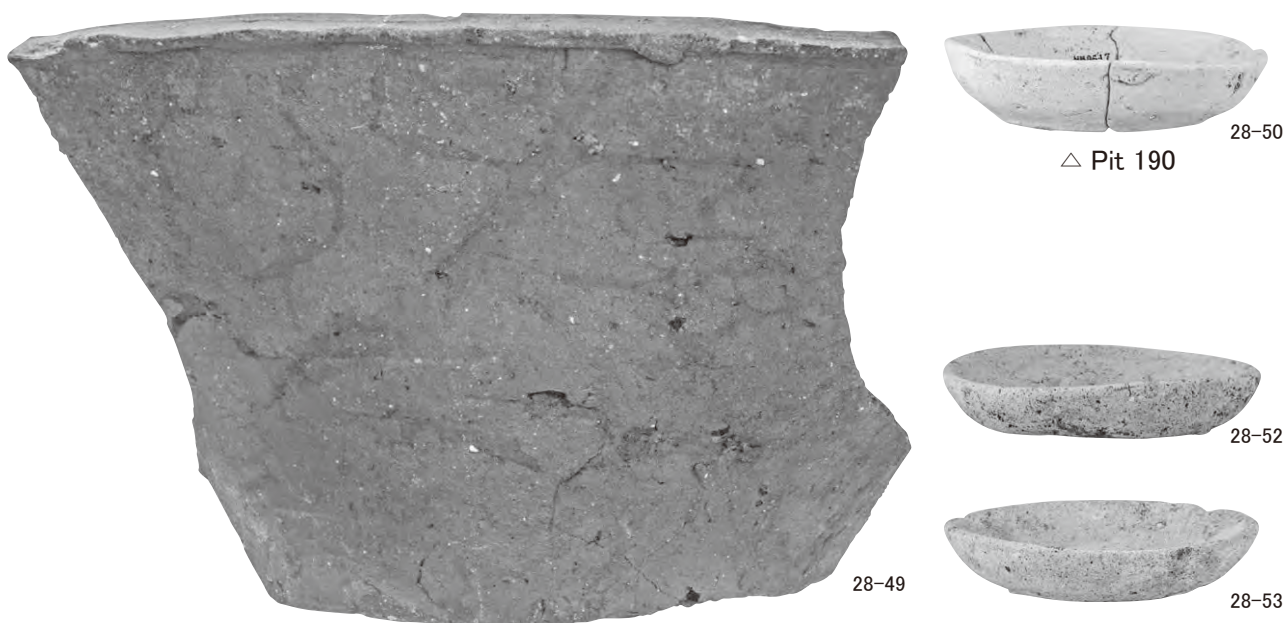
28-32



28-34



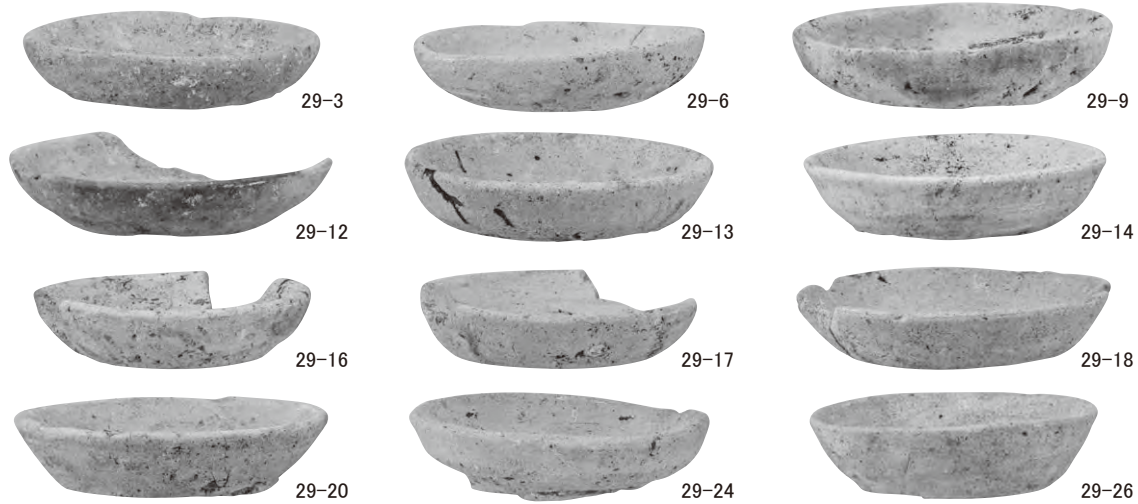
△ 土坑 33



△ Pit 190

△ Pit 185

△ Pit 198



△ 第 3 面面上



29-28



29-30



29-31



29-36



29-37



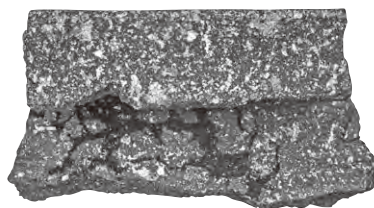
29-38



29-40



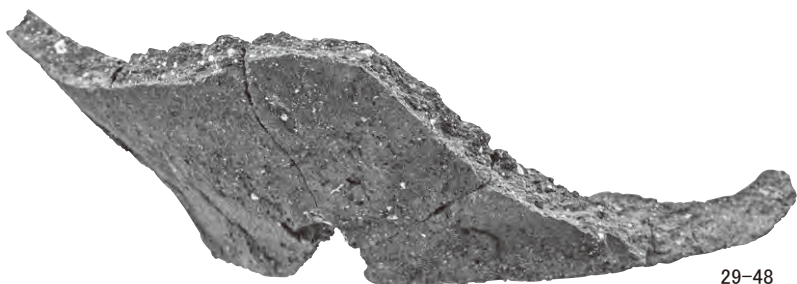
29-43



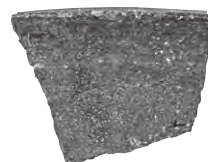
29-45



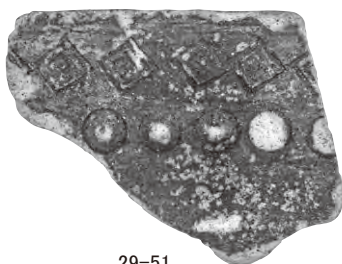
29-46



29-48



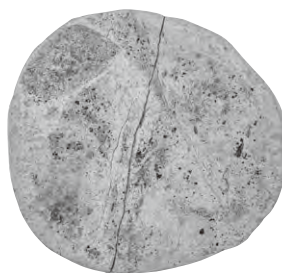
29-49



29-51



29-52



29-53



29-54



29-56



29-57



△ 第3面面上



29-59

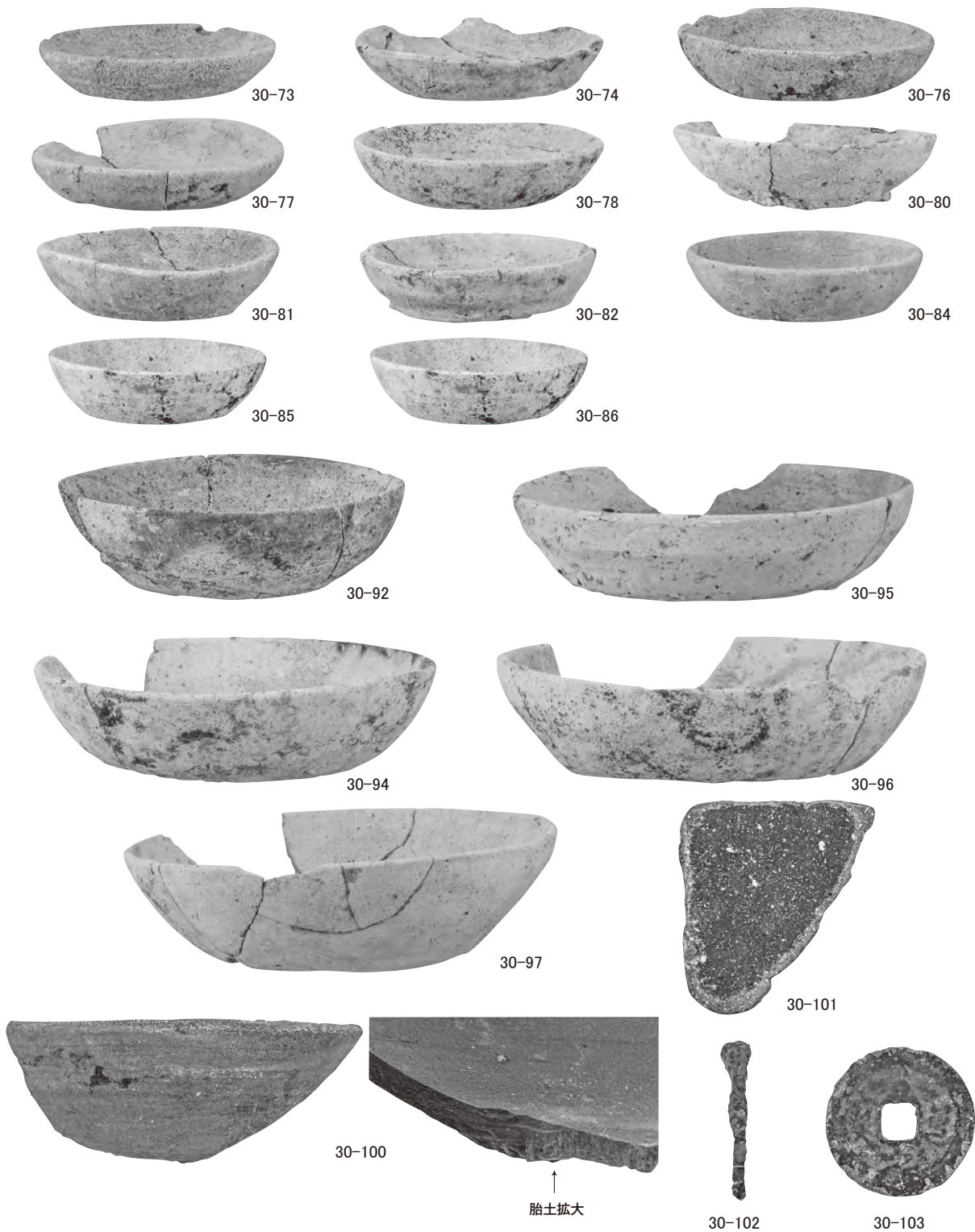


30-64



30-66





△ 炭化物範圍



△ 第3面構成土



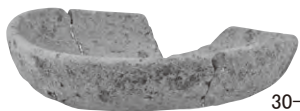
30-126



30-127



30-132



30-133



30-135



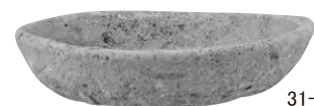
30-138



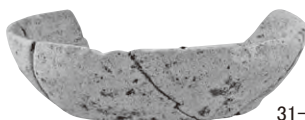
30-140



30-143



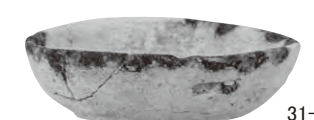
31-147



31-150



31-152



31-155



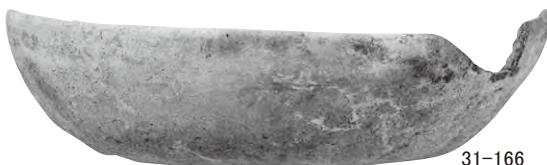
31-156



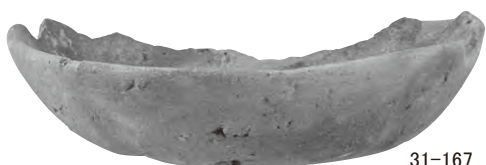
31-163



31-164



31-166



31-167



31-172



31-175



31-178



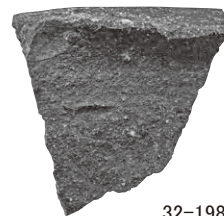
31-186



31-189



31-191



32-198



31-187



31-190



31-193

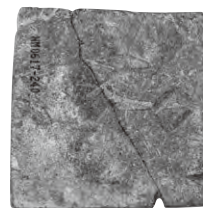


32-201

△ 第3面構成土



32-204



32-206



32-207



32-210



32-211



32-215



32-216



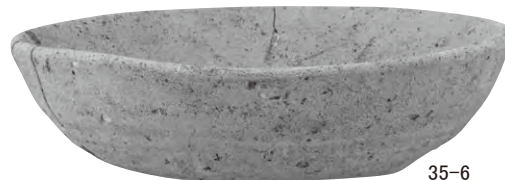
32-217

△ 第3面構成土



35-3

△ 土坑 36



35-6

△ Pit 201



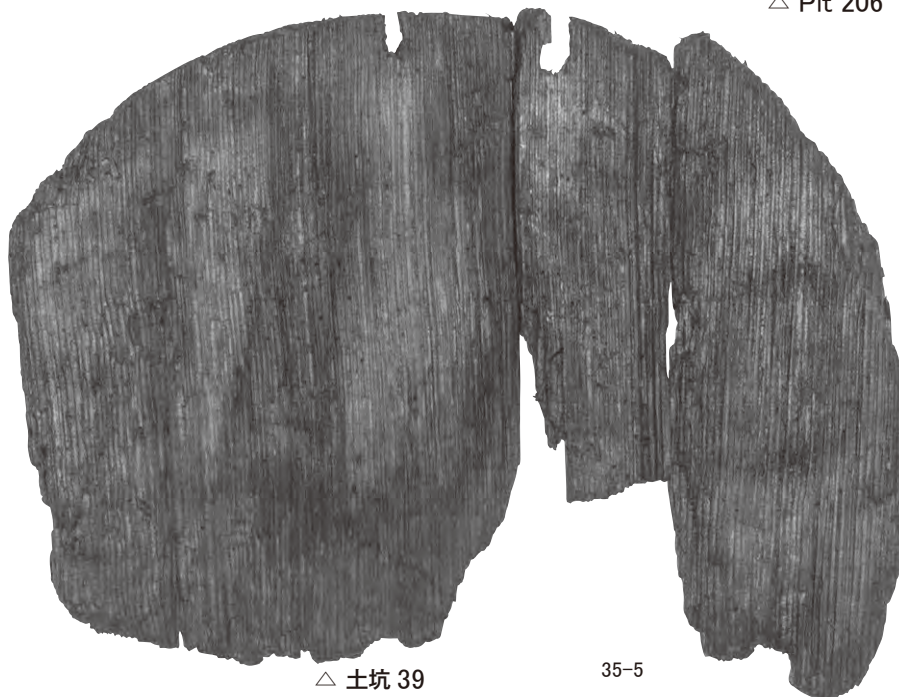
35-7

△ Pit 206



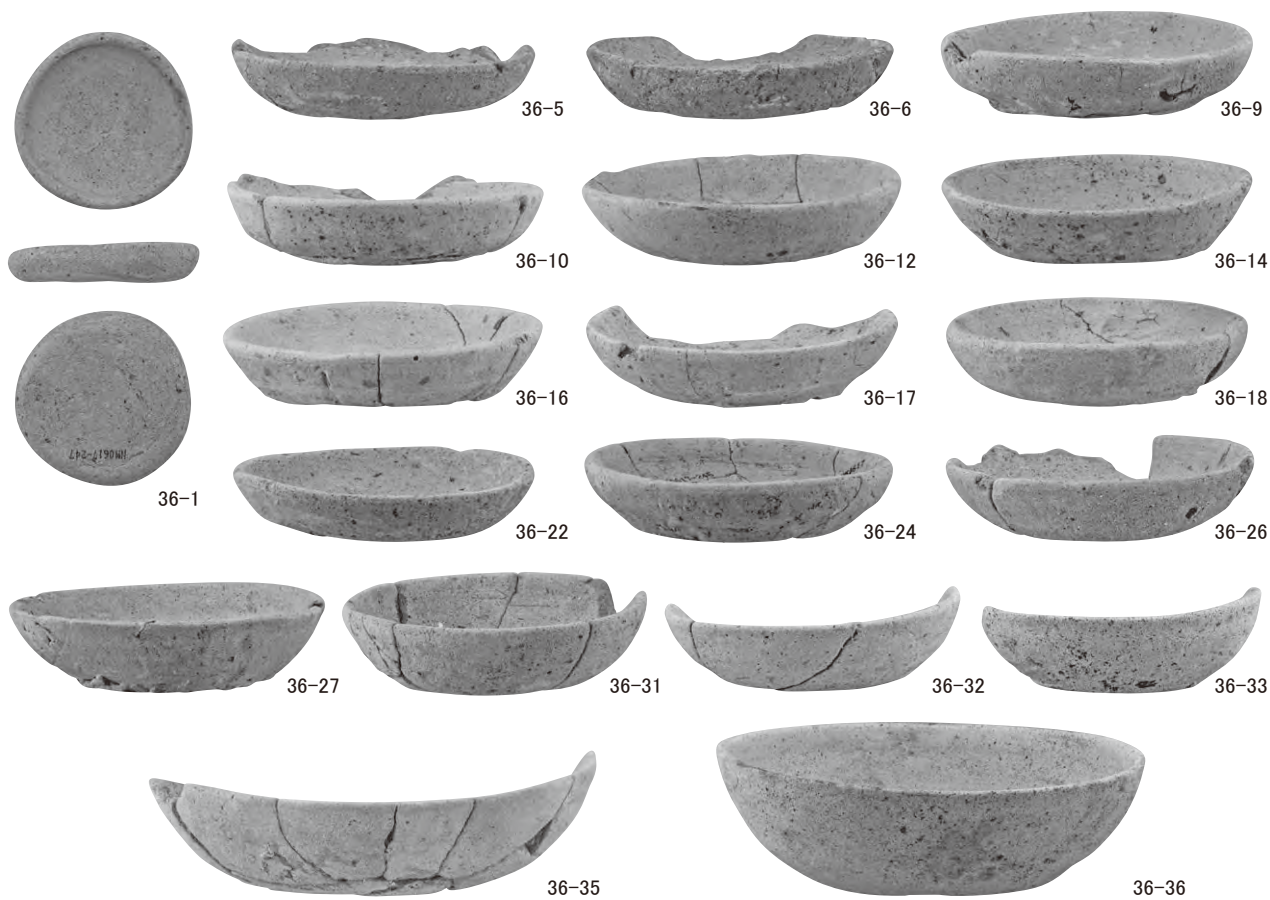
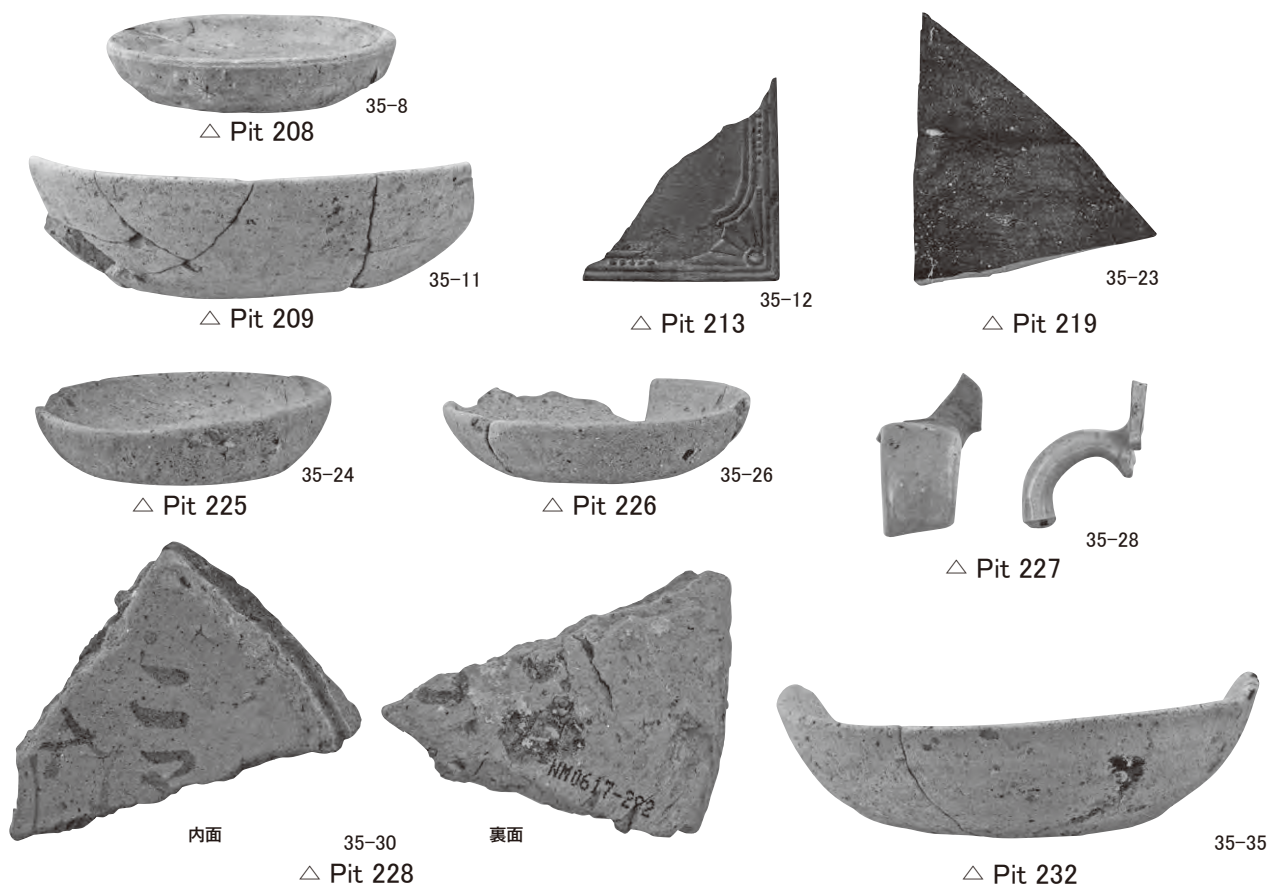
35-1

△ 土坑 34



35-5

△ 土坑 39



△ 第4面面上



36-39



36-41



36-43



36-46



36-47



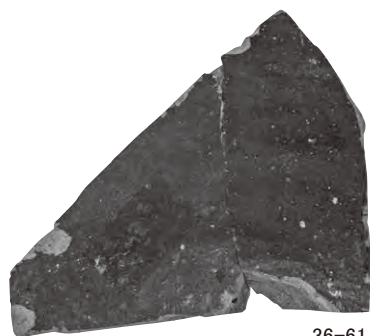
36-50



36-56



36-57



36-61

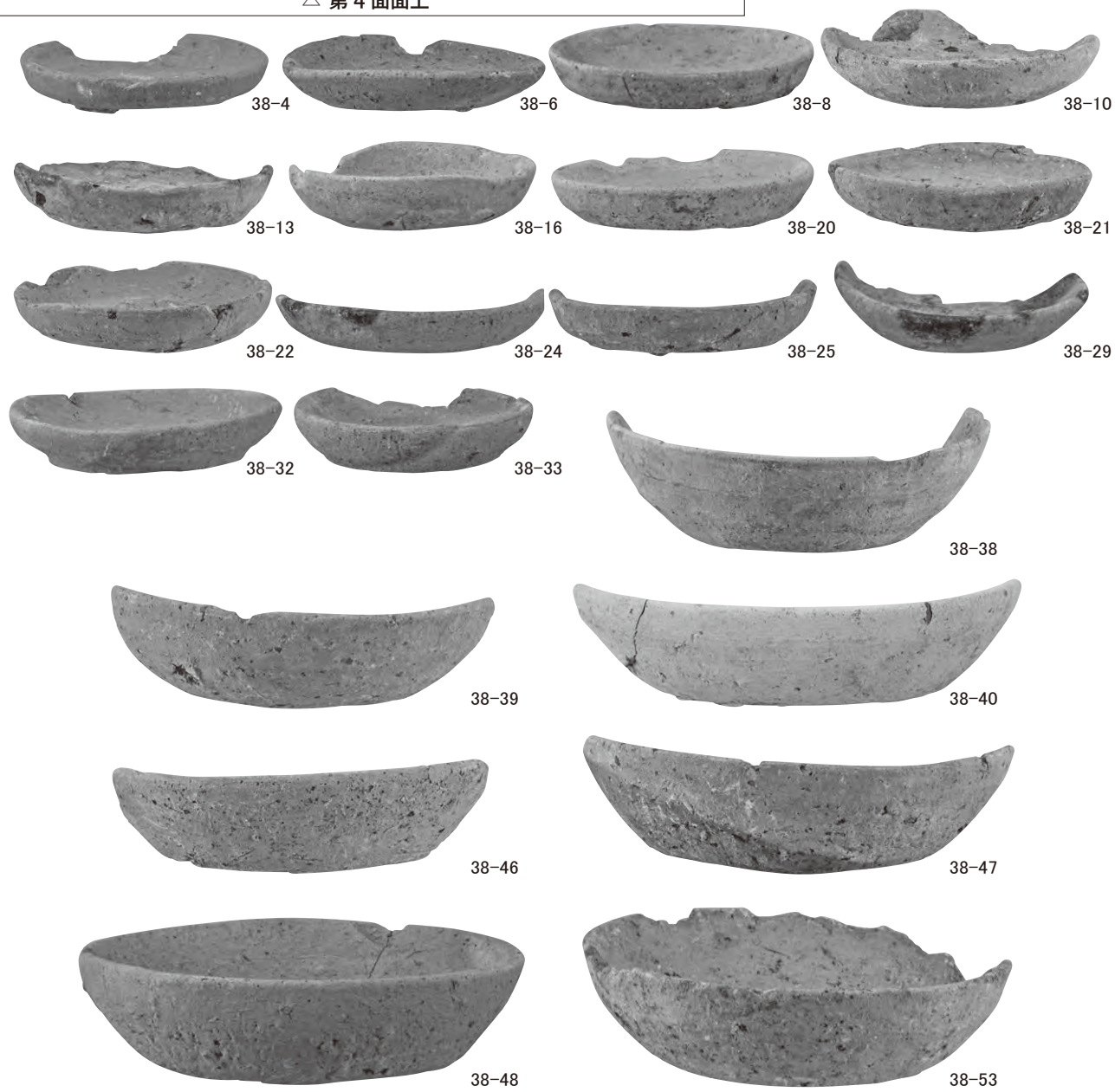
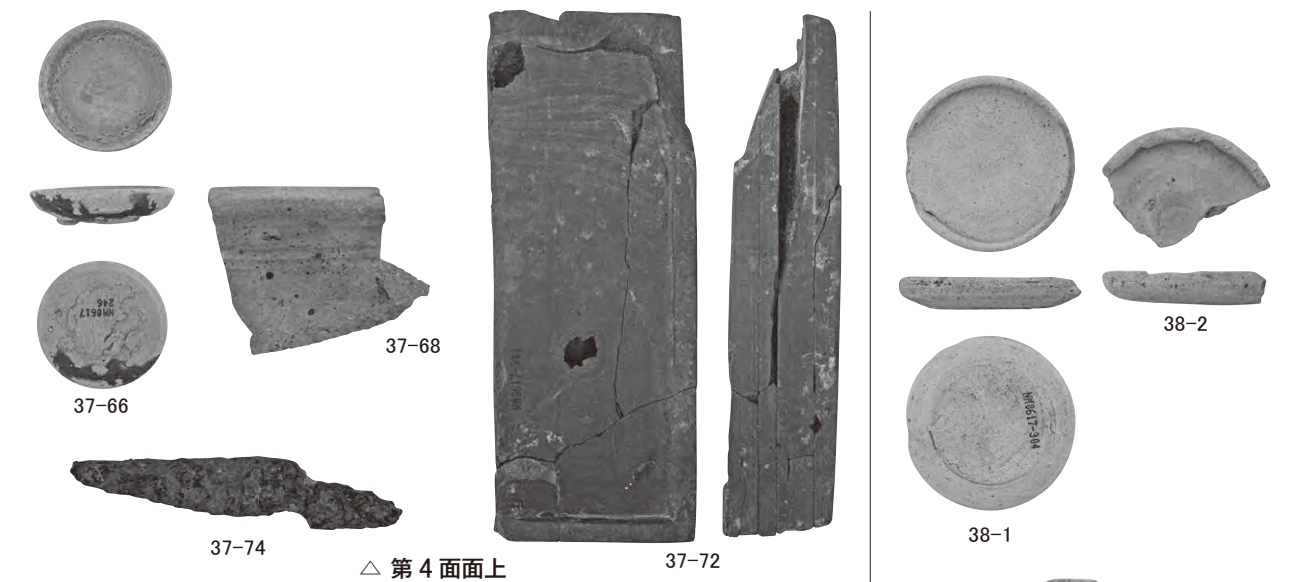


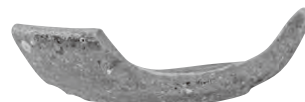
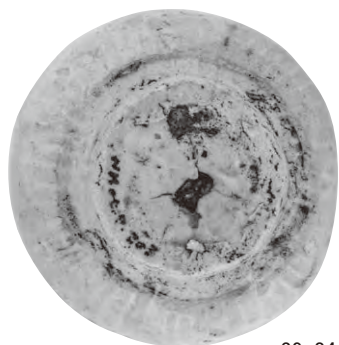
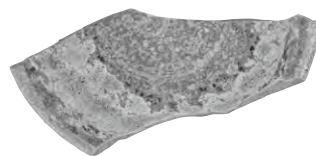
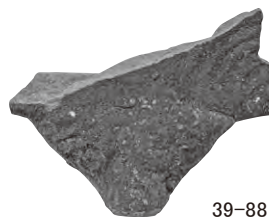
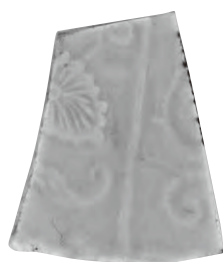
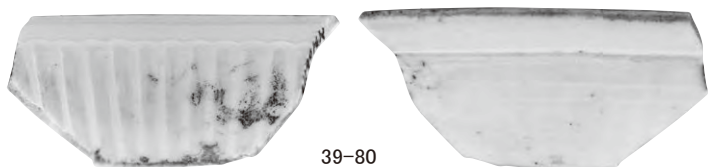
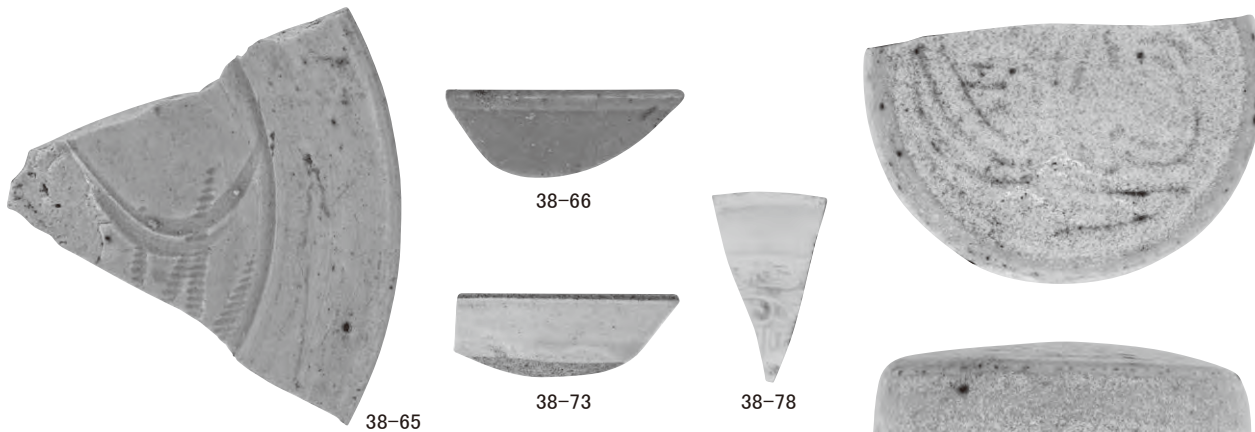
36-62



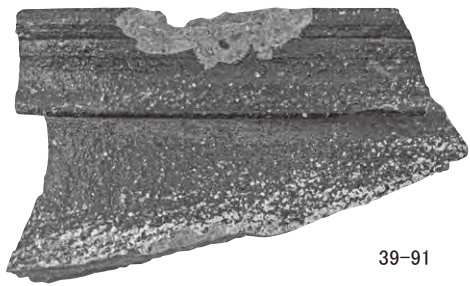
37-64

△ 第 4 面面上

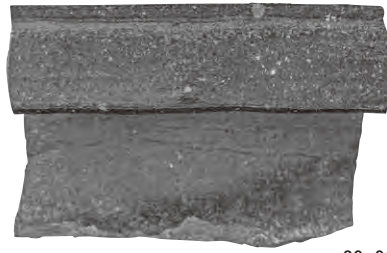




△ 第4面構成土



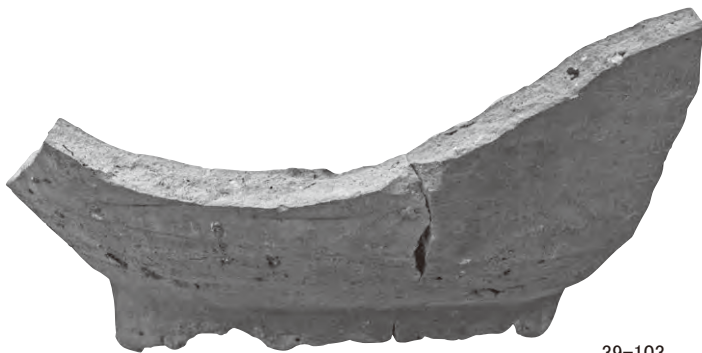
39-91



39-92



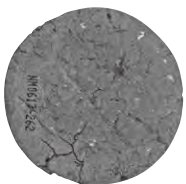
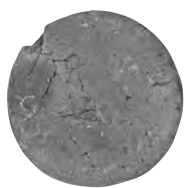
39-99



39-103



39-104



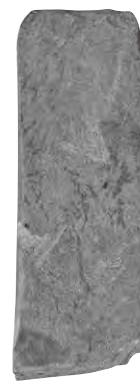
39-107



39-109



39-110



39-111



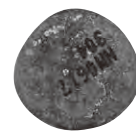
39-112



39-113



39-114



39-115

△ 第4面構成土



40-118



40-120



40-123



40-122



40-124



40-125

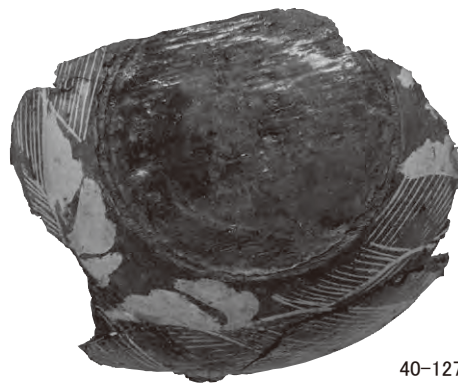
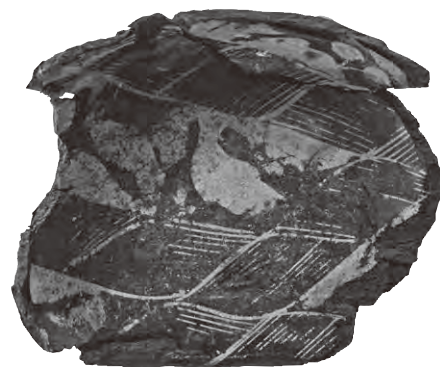


40-126

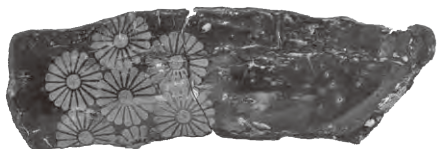
40-117



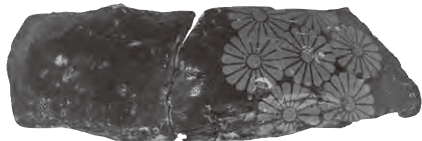
40-129



40-127



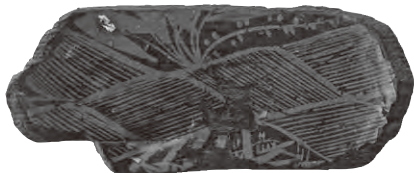
40-131



40-128



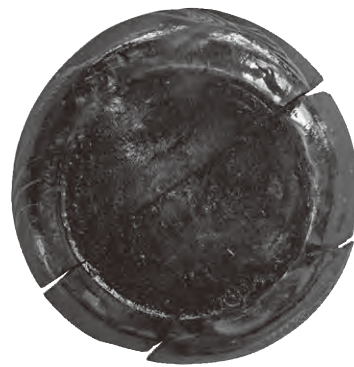
40-134



40-132



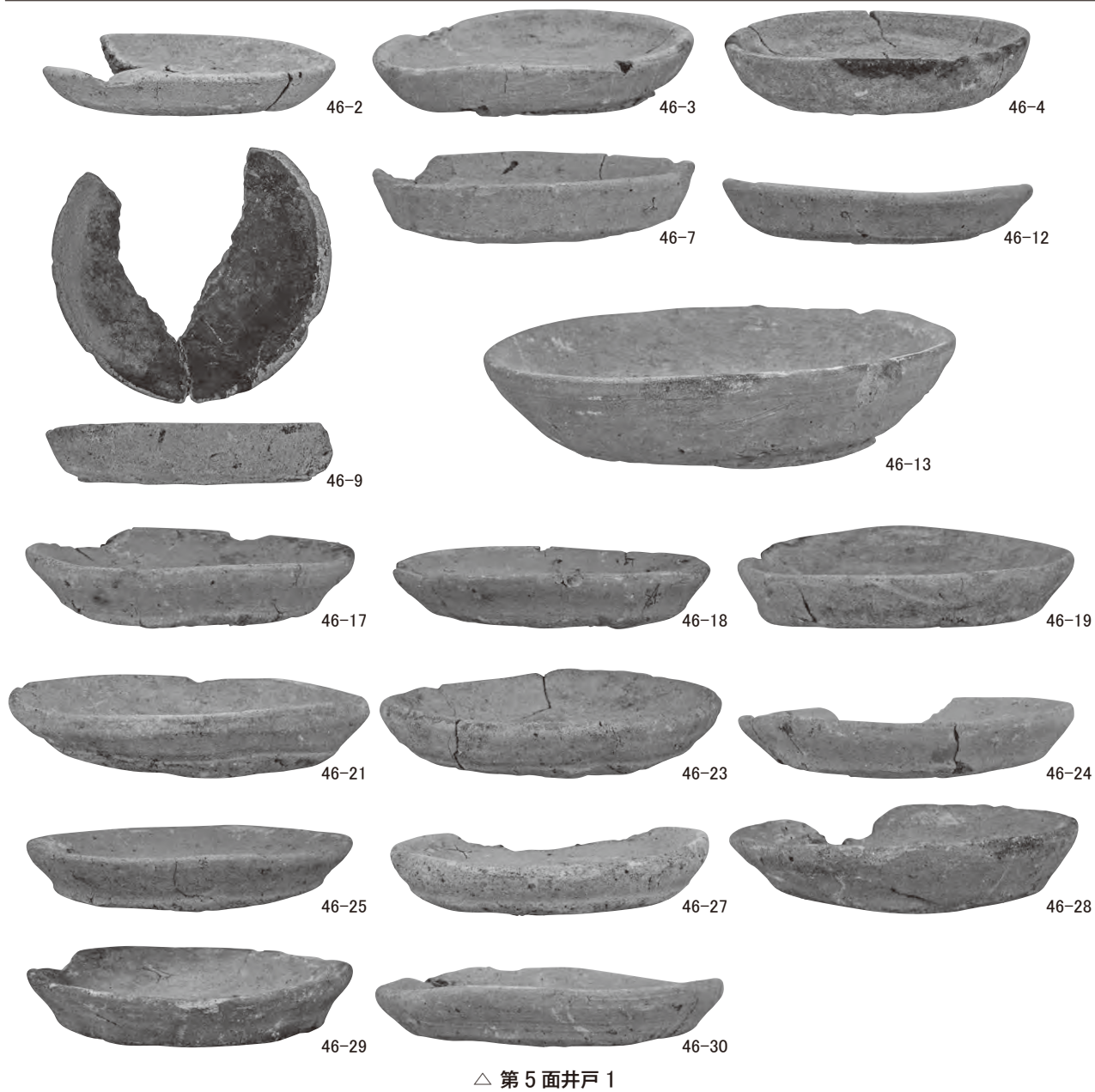
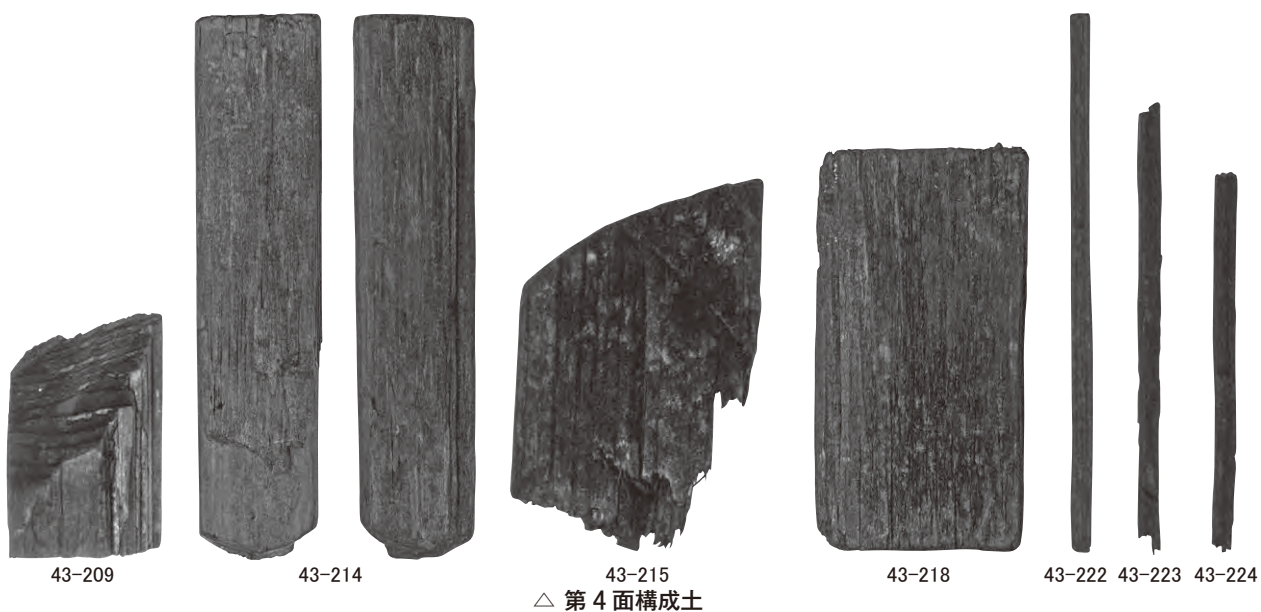
△ 第4面構成土



40-135



△ 第4面構成土





47-12



47-14



47-17



47-18



47-19



47-20



47-21



48-22

△ 第5面溝3



48-24



48-25

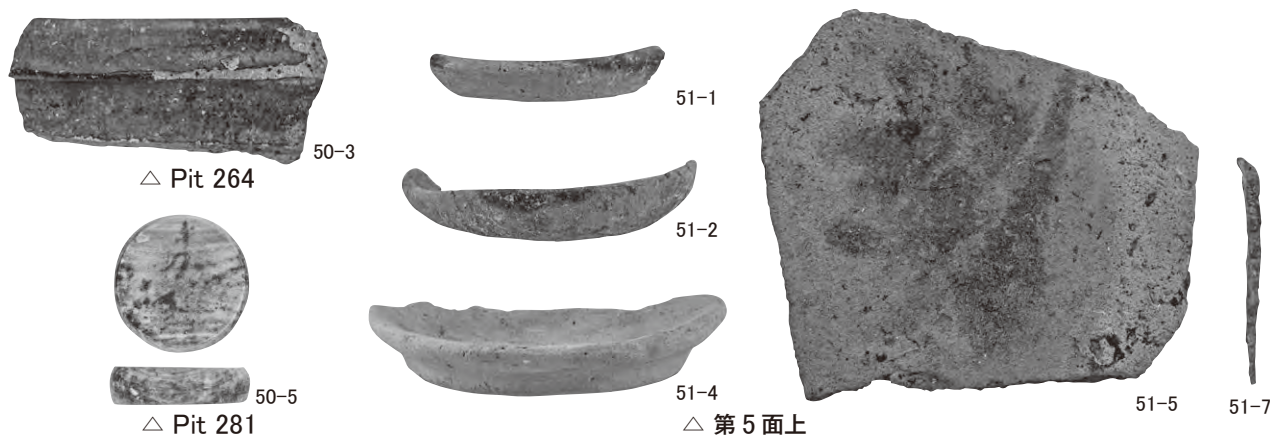


48-26

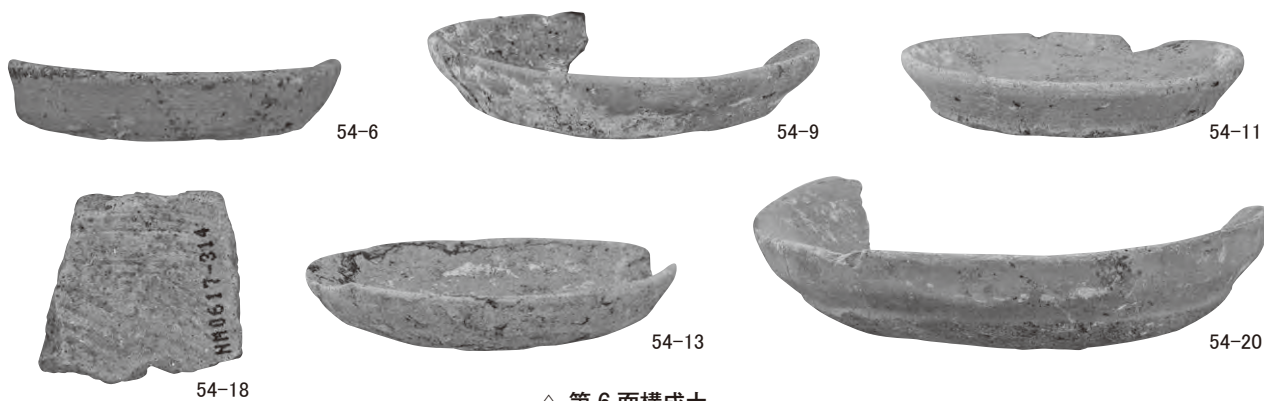
△ 第5面溝3



48-27



△ 第5面構成土



△ 第6面構成土



54-21



54-22



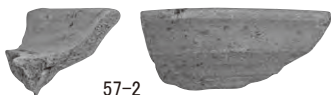
54-29

△ 第6面構成土

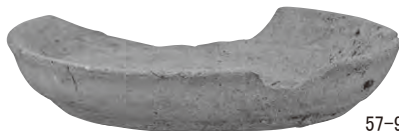


57-1

△ 溝4

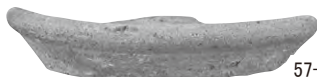


57-2



57-9

△ Pit 303



57-10



57-12



57-17



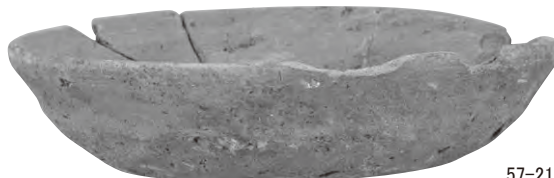
57-18



57-19



57-20



57-21

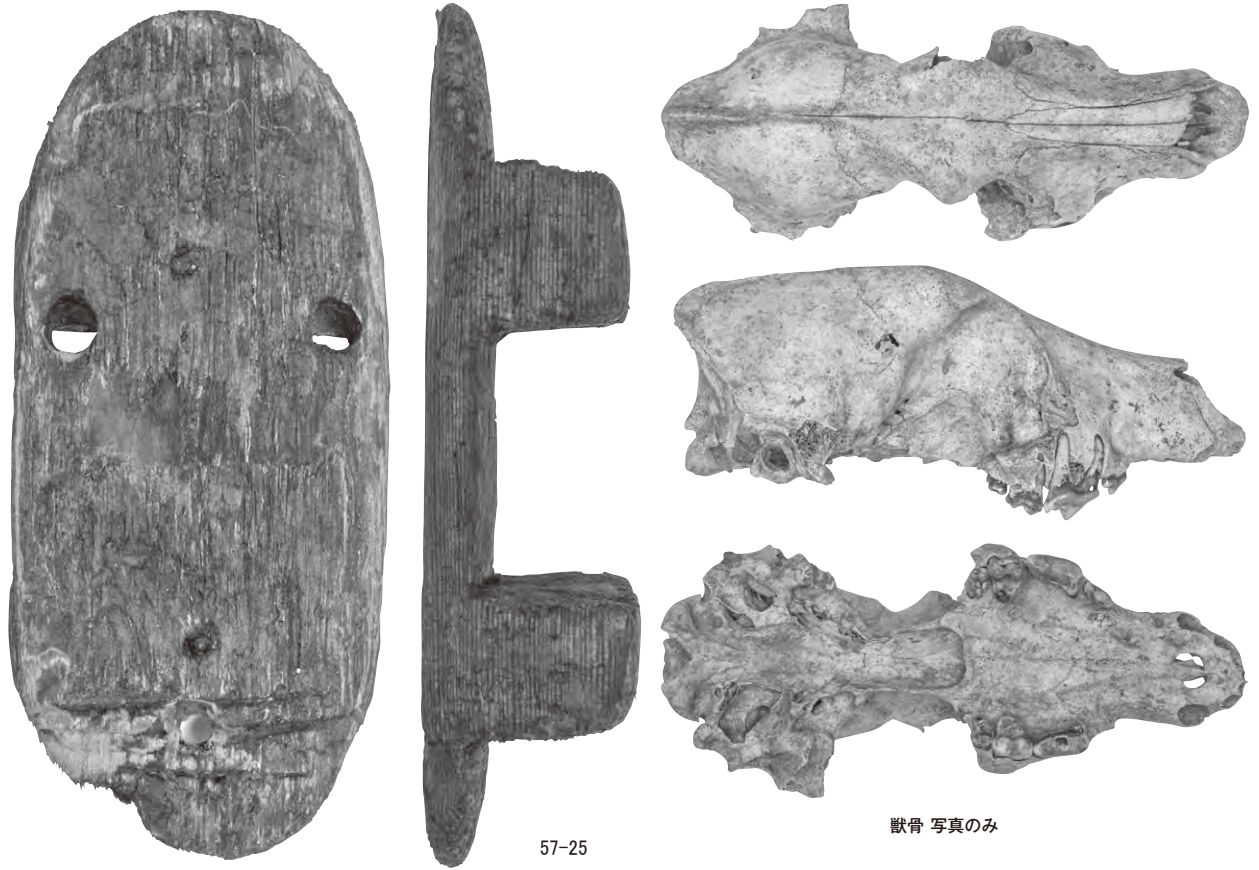


57-22



57-23

△ 第7面面上



57-25

獣骨 写真のみ

△ 第7面面上



58-2



58-3



58-7



58-8

△ 表土採集

報告書抄録

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかざいきんきゅうちょうさほうこくしょ							
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書							
副書名	平成27年度発掘調査報告							
巻次	32 (第1分冊)							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	伊丹まどか・松吉大樹/伊丹まどか・古田土俊一・松吉大樹							
編集機関	鎌倉市教育委員会							
所在地	〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号							
発行年月日	西暦2016年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
にしみかどいせき 西御門遺跡	神奈川県鎌倉市 西御門一丁目 11番14	14204	325	35° 19' 33"	139° 34' 36"	20061017 ～ 20070126	43.00	個人専用 住宅 (杭基礎)
にしみかどいせき 西御門遺跡	神奈川県鎌倉市 西御門一丁目 681番1	14204	325	35° 19' 33"	139° 33' 35"	20061023 ～ 20070125	153.00	個人専用 住宅 (杭基礎)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
にしみかどいせき 西御門遺跡	城館跡	中世	溝、土坑、ピット	かわらけ、国産陶器、 舶載陶磁器、木製品、 金属製品、石製品	13世紀前半から15世紀 の生活面を検出。 破碎泥岩の地業造成が 繰り返された。
にしみかどいせき 西御門遺跡	城館跡	中世	掘立柱建物、礎石 建物、池状遺構、 溝、土坑、井戸	かわらけ、国産陶器、 舶載陶磁器、木製品、 金属製品、石製品	13世紀前半から16世紀 の土地利用を確認。土 製人形と墨書かわらけ が出土。

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 32

平成 27 年度発掘調査報告

(第 1 分冊)

発行日 平成 28 年 3 月 31 日

編集・発行 鎌倉市教育委員会

印刷 芝浦エンジニアリング株式会社

